

1. 調査の目的

「越前おおの型食・農業・農村ビジョン」(以下、ビジョン)の改訂にあたり、ビジョンの方向性を検討する資料とするため、認定農業者(個人、会社法人、集落営農組織)を対象に、担い手の活動状況や今後の経営の方針についてアンケート調査を行った。

2. アンケート対象

認定農業者 69経営体が対象(令和3年2月現在)

【個人・会社法人】個人 — 個人または一世帯からなる個人経営体

会社法人 — 有限会社や合同会社など

【集落営農】 集落営農組織 — 集落の複数世帯からなる経営体(農事組合法人)

3. アンケート調査結果の概要

調査方法 郵送配布、郵送回収

調査期間 令和3年2月22日～【個人・会社法人】3月8日【集落営農】3月22日

回収内訳

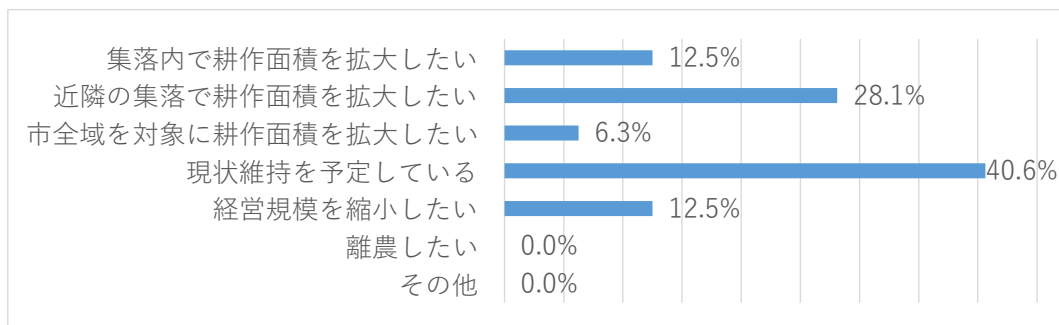
	配布数	回収数	回収率
個人・会社法人	48部	32部	66.7%
集落営農	21部	18部	85.7%

4. アンケート調査結果のまとめ

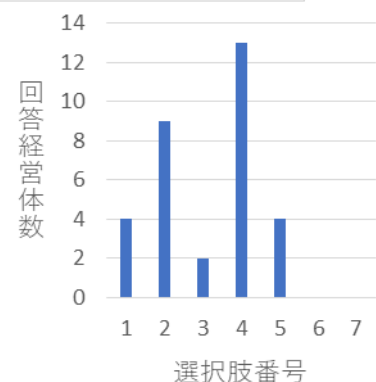
経営の現状および将来展望

○今後(概ね5年以内)の経営規模についてお伺いします。経営規模の拡大または縮小についてどのように考えていますか。(1つ)

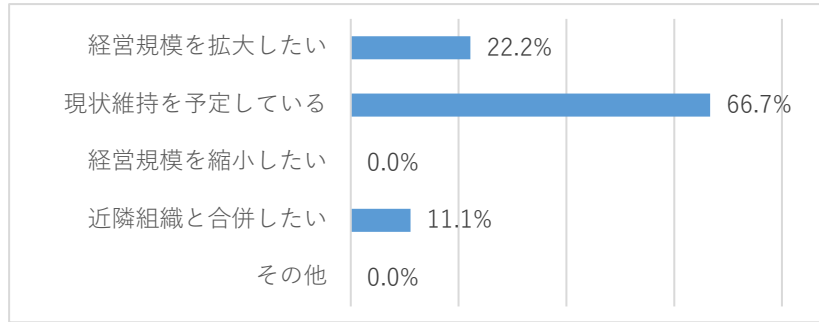
【個人・会社法人】



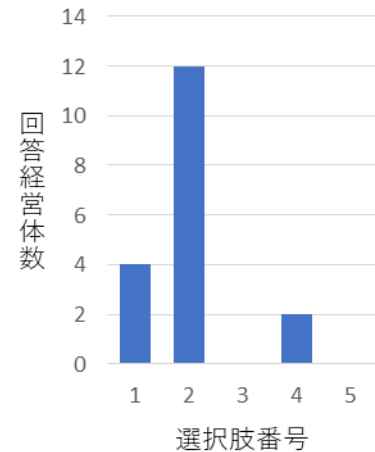
選択肢	総数	32
1 集落内で耕作面積を拡大したい	4	
2 近隣の集落で耕作面積を拡大したい	9	
3 市全域を対象に耕作面積を拡大したい	2	
4 現状維持を予定している	13	
5 経営規模を縮小したい	4	
6 離農したい	0	
7 その他	0	



【集落営農】



選択肢	総数	18
1 経営規模を拡大したい	4	
2 現状維持を予定している	12	
3 経営規模を縮小したい	0	
4 近隣組織と合併したい	2	
5 その他	0	

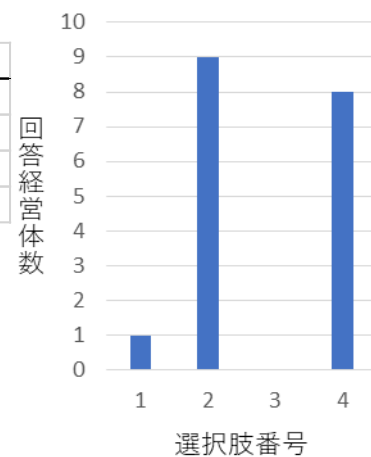


【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、「現状維持を予定している」との回答が最も多い。ついで「経営規模を拡大したい」「集落内、近隣の集落で拡大したい」との回答が多い。より利益が生み出せるような経営規模に拡大したいので、近隣でなら引き受けることができる。しかし、担い手のいない地域での集積は、難しいことがうかがえる。

○今後（概ね5年以内）近隣集落から農地の委託希望があったら引き受けますか。（1つ）

【集落営農のみ】

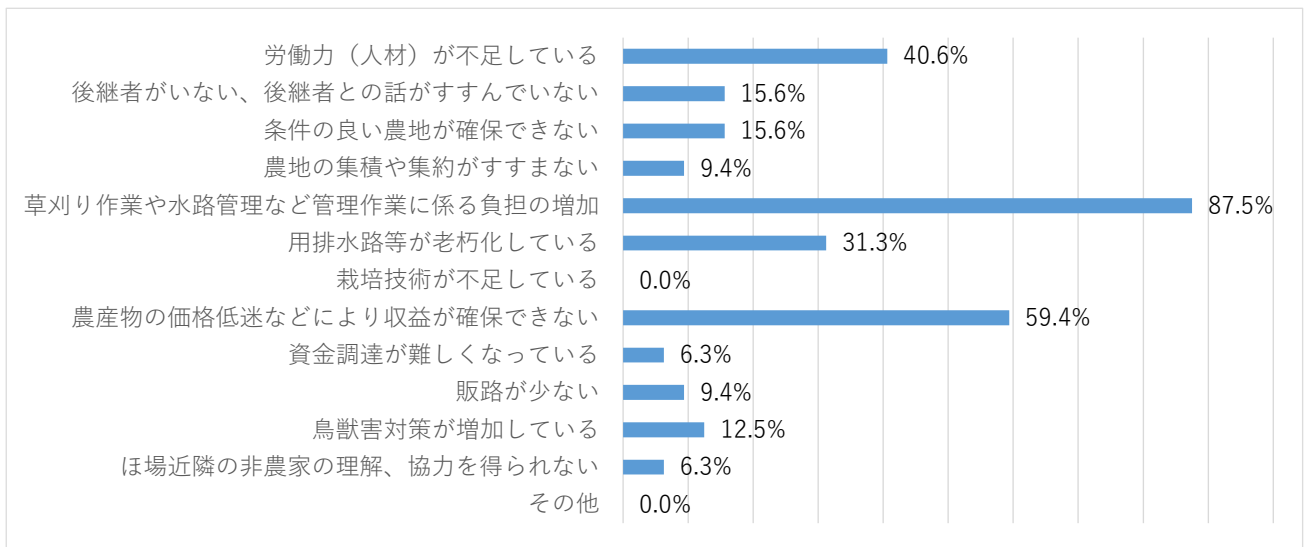
選択肢	総数	18
1 面積、ほ場条件に関わらず引き受ける	1	
2 条件が良ければ引き受ける	9	
3 ある程度まとまった面積であれば引き受ける	0	
4 引き受けない	8	



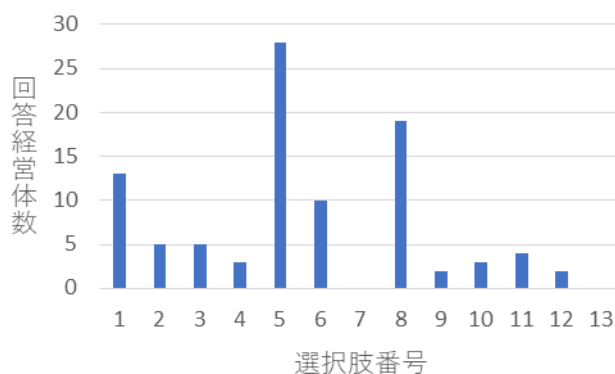
「引き受けない」との回答が半数あるが、「条件が良ければ引き受ける」の回答が多く、より利益が生み出せるような経営規模に拡大したいので、近隣でなら引き受けることができる。しかし、近隣集落を超えた集積の難しさがうかがえる。

○今後（概ね5年以内）の農業経営の課題、不安は何ですか。（3つまで）

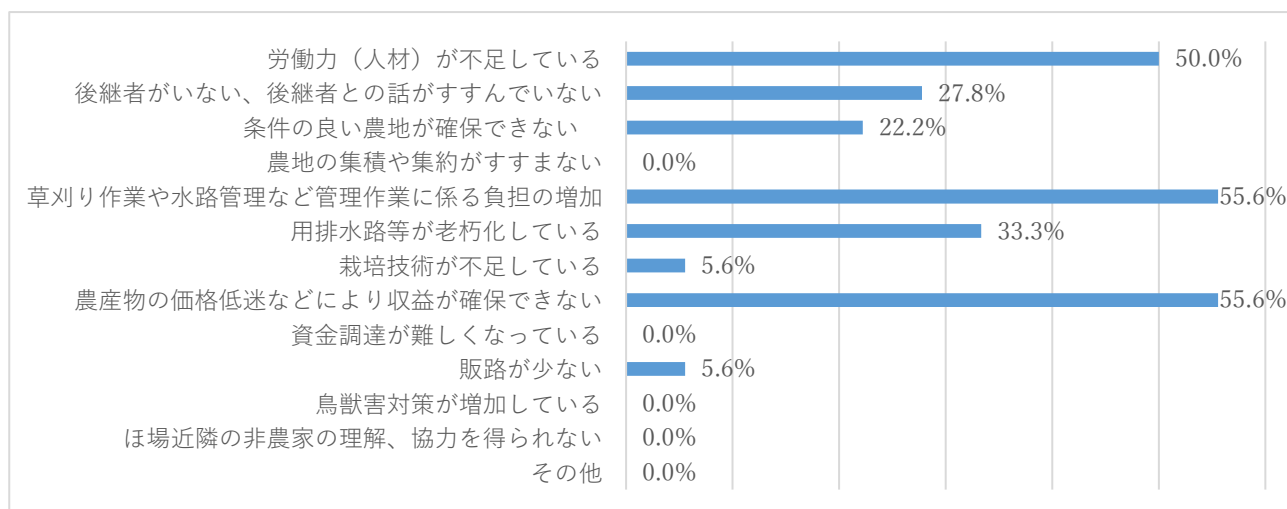
【個人・会社法人】



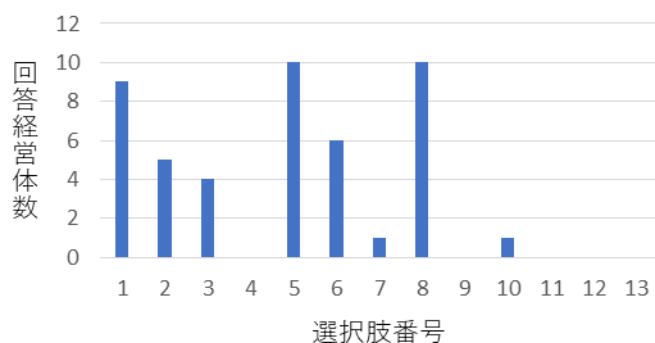
選択肢	総数	94
1 労働力（人材）が不足している	13	
2 後継者がいない、後継者との話がすすんでいない	5	
3 条件の良い農地が確保できない	5	
4 農地の集積や集約がすすまない	3	
5 草刈り作業や水路管理など管理作業に係る負担の増加	28	
6 用排水路等が老朽化している	10	
7 栽培技術が不足している	0	
8 農産物の価格低迷や生産コストの増加などにより収益が確保できない	19	
9 資金調達が難しくなっている	2	
10 販路が少ない	3	
11 鳥獣害対策が増加している	4	
12 ほ場近隣の非農家の理解、協力を得られない	2	
13 その他	0	



【集落営農】



選択肢	総数	46
1 労働力（人材）が不足している	9	
2 後継者がいない、後継者との話がすすんでいない	5	
3 条件の良い農地が確保できない	4	
4 農地の集積や集約がすすまない	0	
5 草刈り作業や水路管理など管理作業に係る負担の増加	10	
6 用排水路等が老朽化している	6	
7 栽培技術が不足している	1	
8 農産物の価格低迷や生産コストの増加などにより収益が確保できない	10	
9 資金調達が難しくなっている	0	
10 販路が少ない	1	
11 鳥獣害対策が増加している	0	
12 ほ場近隣の非農家の理解、協力を得られない	0	
13 その他	0	



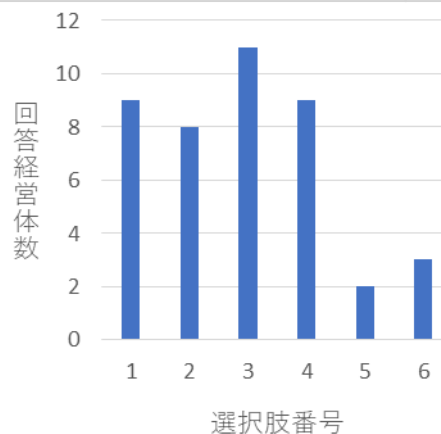
【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、「草刈り作業や水路管理など管理作業に係る負担の増加」の回答が一番多い。ついで、「労働力（人材）が不足している」との回答も多かった。【集落営農】は、「農地の集積や集約がすすまない」と回答した経営体はなかった。

また、ともに「農産物の価格低迷や生産コストの増加などにより収益が確保できない」の回答も高く所得が上がってこないことを課題として大きくとらえている。

○今後（概ね5年以内）の栽培作物についてお伺いします。どのような作物の栽培を考えていますか。
あてはまるもの全てに○をつけてください。

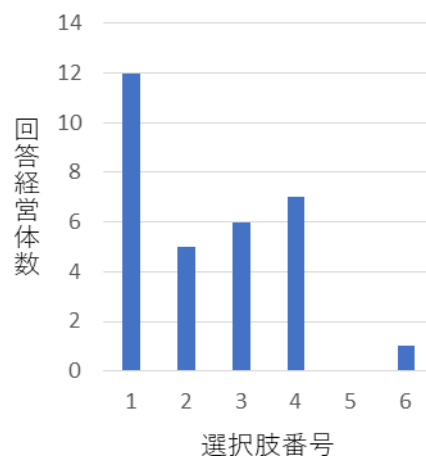
【個人・会社法人】

選択肢		総数	42
1	現状のまま		9
2	飼料用米や加工用米などの非主食用米の割合を増やしていきたい		8
3	麦やソバ、大豆など畑作物の割合を増やしていきたい		11
4	稲作だけでなく、里芋やネギといった市の特産物などの園芸作物の栽培にも力をいれていきたい		9
5	市内で栽培されていない新しい野菜や果物の栽培を増やしていきたい		2
6	その他		3



【集落営農】

選択肢		総数	31
1	現状のまま		12
2	飼料用米や加工用米などの非主食用米の割合を増やしていきたい		5
3	麦やソバ、大豆など畑作物の割合を増やしていきたい		6
4	稲作だけでなく、里芋やネギといった市の特産物などの園芸作物の栽培にも力をいれていきたい		7
5	市内で栽培されていない新しい野菜や果物の栽培を増やしていきたい		0
6	その他		1



【個人・会社法人】は現状のままと答えた経営体が21%だが、「経営規模について」の設問では、「現状維持」と答えた経営体が41%であった。両者の差の約20%の経営体は、概ね5年以内に栽培作物を変えていかななくては現状を維持していくことができないと考えていることがうかがえる。

【集落営農】も「現状のまま」と答えた経営体が39%あったが、前に記述のあった、「経営規模について」の設問では、「現状維持」と答えた経営体が67%であった。両者の差の約30%の経営体は、概ね

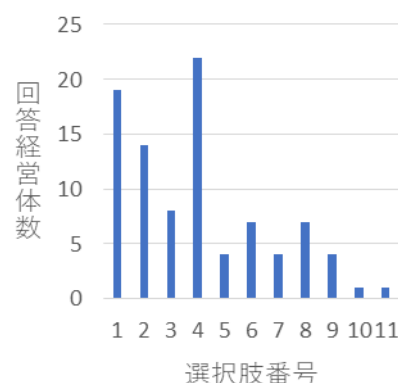
5年以内に栽培作物を変えていかなくては現状を維持していくことができないと考えていることがうかがえる。

雇用の形態を維持するため、通年雇用が見込まれる里芋栽培に切り替えることや、麦やソバ、大豆など畑作物の栽培へ切替えると、大規模担い手に委託をすることが期待できる。また、作業量、作業機械を稲作栽培と変えずに、飼料用米や加工用米などの非主食用米の割合を増やす。といったことが想定される。

○今後（概ね5年以内）伸ばしていきたい方向について、あてはまる番号全てに○をつけてください。

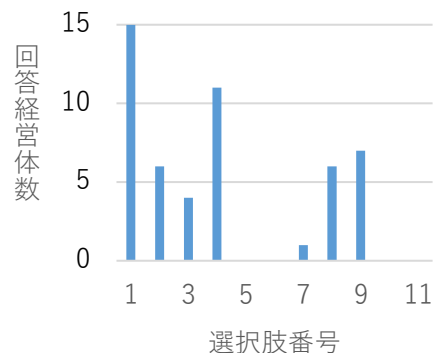
【個人・会社法人】

選択肢	総数	91
1	農作物の単収（収穫量）の向上	19
2	農作物の品質の向上・ブランド化	14
3	経営規模の拡大	8
4	資材費や労務費など生産コストの削減	22
5	農商工連携など異業種との連携	4
6	有機・環境保全型農業の実践	7
7	野菜や花きなどの園芸作物の導入、拡大	4
8	自動操縦農機や自動給排水栓などスマート農業の導入	7
9	G A Pの実践	4
10	農作物の加工販売に取り組む6次産業化	1
11	その他	1



【集落営農】

選択肢	総数	50
1	農作物の単収（収穫量）の向上	15
2	農作物の品質の向上・ブランド化	6
3	経営規模の拡大	4
4	資材費や労務費など生産コストの削減	11
5	農商工連携など異業種との連携	0
6	有機・環境保全型農業の実践	0
7	野菜や花きなどの園芸作物の少量多品目栽培の実践	1
8	自動走行農機や自動給排水栓などスマート農業の導入	6
9	G A Pの実践 ※認証を取得しないものも含む	7
10	農作物の加工販売に取り組む6次産業化	0
11	その他	0

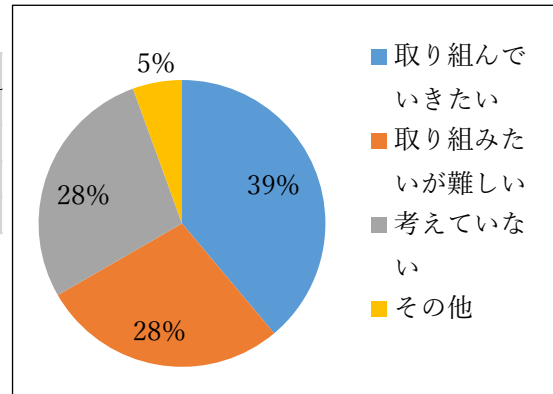


【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、「農作物の単収（収穫量）の向上」「資材費や労務費など生産コストの削減」と答えた経営体が多い。収穫量を増やし生産コストを削減することで、経営強化を目指している経営体が多い。

○集落営農組織の広域化についてどのようにお考えですか。（1つ）

【集落営農のみ】

選択肢		総数	18
1	取り組んでいきたい		7
2	取り組みたいが難しい		5
3	考えていない		5
4	その他		1

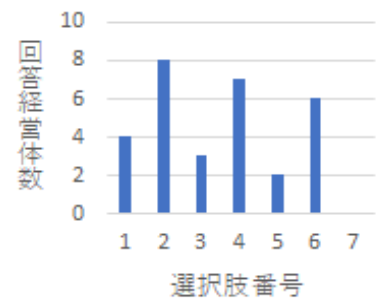


すでに、広域化組合が設立された地区もあるため「取り組んでいきたい」が一番多く、「取り組みたいが難しい」と答える経営体も28%あることから、広域化へ意欲があることがうかがえる。

○複数の担い手が耕作を行う集落があった場合、担い手全員で意見をまとめ、預かる農地を交換し、担い手ごとに農地の集約化をすすめることのお考え方について。（1つ）

【個人・会社法人のみ】

選択肢		総数	30
1	農業経営の効率化を図るために積極的に取り組んでいきたい		4
2	集落内で農地の利用の調整が出来れば取り組んでいきたい		8
3	集落の要望があれば取り組んでいきたい		3
4	農地所有者との関係（付き合い）もあり農地所有者の意向に任せたい		7
5	以前、取り組もうとしたが調整が大変であり断念した		2
6	考えていない		6
7	その他		0



耕作の効率化を図る目的で、農地の調整が必要と考える経営体が約50%ある。

○集落営農組織の広域化について考え方や課題などがあればお聞きかせください。

【集落営農のみ】

担い手不足、継承困難
 経営に関する考え方の相違
 広域化組合設立準備中
 集落営農組織の自己完結型は、個人農家と同じ
 圃場の立地条件、労働力の提供に格差があるように思う。
 次世代の後継者が農業を専従とするか不安である。興味を持つ仕組みづくりが必要ではないか。
 大区画圃場について、計画をと思っており、国、県、市の協力、補助金で進めていきたい。

○農業（農作業を含む）に参画する方に女性や若年層（40代まで）の方はいますか。

【個人・会社法人のみ】

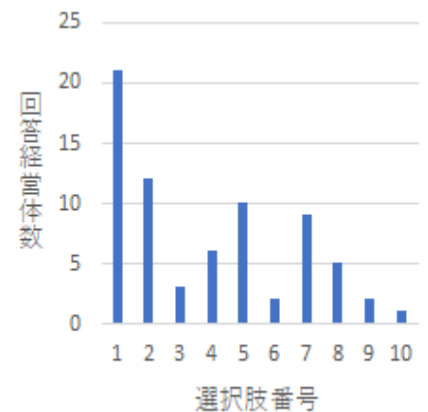
選択肢	総数	26	女性の属性			若年層の属性		
選択肢	総数	10	選択肢	総数	10	選択肢	総数	10
1	いる	14	1	配偶者	2	1	配偶者	0
2	いない	12	2	親族	5	2	親族	3
			3	知人	2	3	知人	5
			4	その他	1	4	その他	2

女性は親族との回答が一番多く、若年層は知人が一番多い。家族経営の農家などの小規模農家では配偶者の参画がみられるが、認定農業者だと少ない。

○今後、省力化や経営の効率化に向けて、スマート農業（自動操縦や自動給水システムなど）の普及がすすんでいきますが、スマート農業に対する課題、不安はありますか（3つまで）

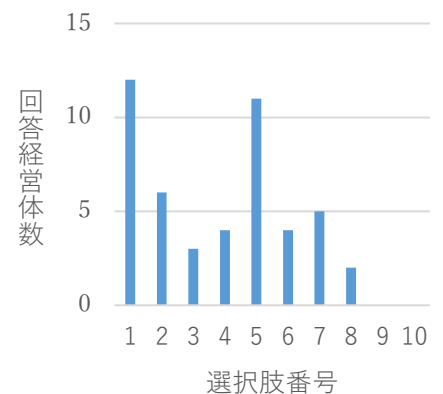
【個人・会社法人】

選択肢	総数	71
1	導入する際の初期設備の費用が高い	21
2	毎年（毎月）係る維持費（ランニングコスト）が高い	12
3	故障などのトラブルが多い	3
4	費用の割には性能が悪い	6
5	基盤整備（ほ場、水利施設など）が不十分	10
6	パソコンや通信設備など環境の整備が不十分	2
7	機械や設備を使いこなすことができない	9
8	どのような効果が見込めるか分からない	5
9	特になし	2
10	その他	1



【集落営農】

選択肢	総数	47
1	導入する際の初期設備の費用が高い	12
2	毎年（毎月）係る維持費（ランニングコスト）が高い	6
3	故障などのトラブルが多い	3
4	費用の割には性能が悪い	4
5	基盤整備（ほ場、水利施設など）が不十分	11
6	パソコンや通信設備など環境の整備が不十分	4
7	機械や設備を使いこなすことができない	5
8	どのような効果が見込めるか分からない	2
9	特になし	0
10	その他	0



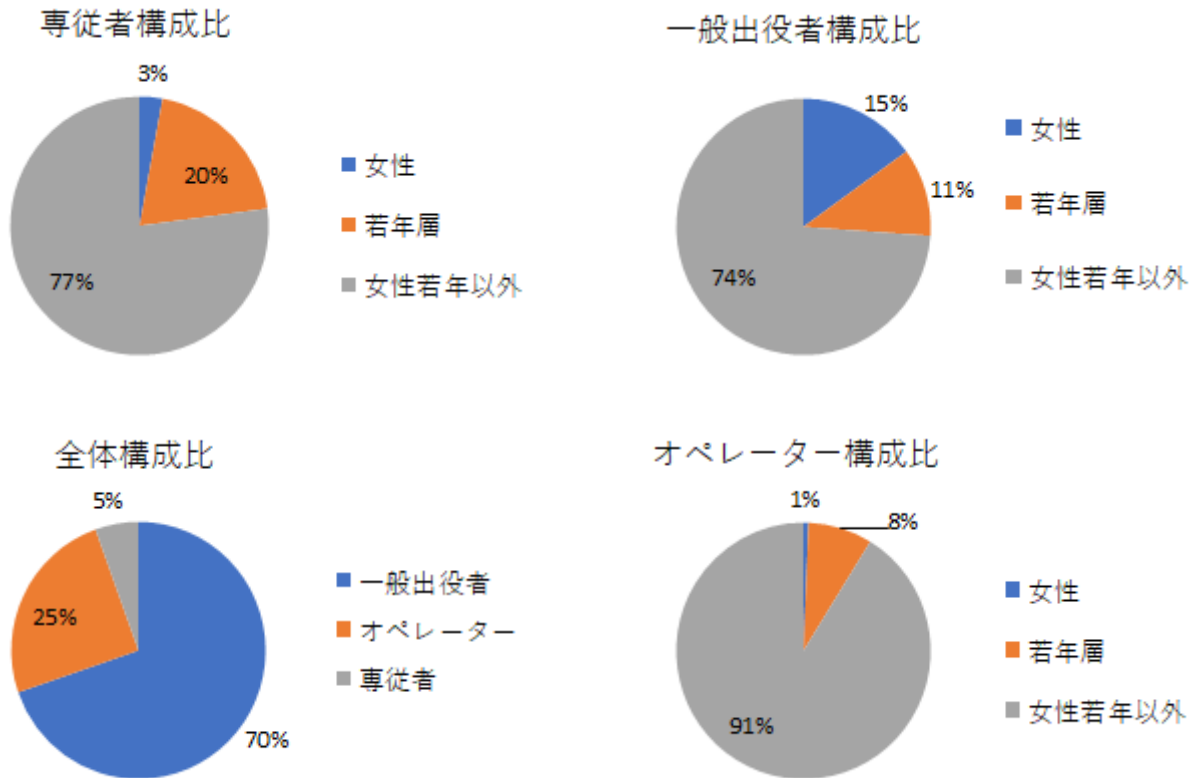
【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、「導入する際の初期設備の費用が高い」との回答が一番多い。

【集落営農】は、集落を基盤としているためか「基盤整備（ほ場、水利施設など）が不十分」との回答も多い。

後継者 ※主たる経営者が60歳以上のみが回答

○労働力の現状を教えてください。

【集落営農のみ】



労働力の中心は、男性で50代以上である。

組合員別	項目	報告数（人）			構成比率（%）※1	
		全体人数	うち女性	うち若年層	うち女性	うち若年層
組合員別	一般出役者	448	67	50	15.5	12.2
	オペレーター	160	1	13	0.3	8.9
	専従者	35	1	7	※2	
組合員以外	一般出役者	5	4	0	※3	
	オペレーター	3	0	0		

※1…組織毎の構成比率を平均化させた数値。

※2…専従者については、18 団体中 7 団体のみ構成員となっており、そのうち女性や若年層の構成が認できたのは 2 団体のみであったため、構成比率の算出は控えた。

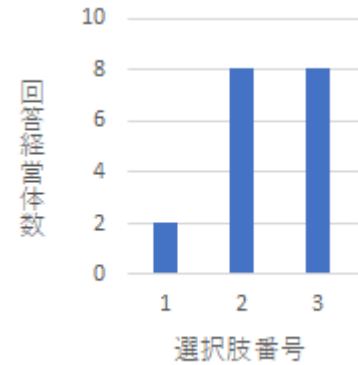
※3…組合員以外の構成を確認できたのは 18 団体中 3 団体のみであったため、構成比率の算出は控えた。

一般出役者	: オペレーター以外で1回でも作業に参加している人
オペレーター	: 主に機械作業に従事している人
専従者	: 年間を通して業務に従事している人
若年層	: 40代までの世代

○今後（概ね5年以内）専従者を雇用する予定がありますか（1つ）

【集落営農のみ】

選択肢		総数	18
1	雇用を予定しており人材を確保している		2
2	雇用したいが人材は確保できていない		8
3	専従者は必要ない		8

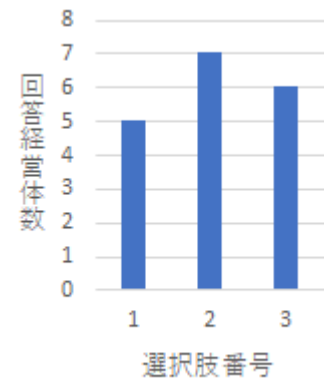


「専従者は必要ない」「雇用したいが人材が確保できていない」を答えた経営体が同数だった。

○現在の組合長（代表者）は法人設立後、何代目か。

【集落営農のみ】

選択肢		総数	18
1	初代		5
2	二代目		7
3	三代目～		6

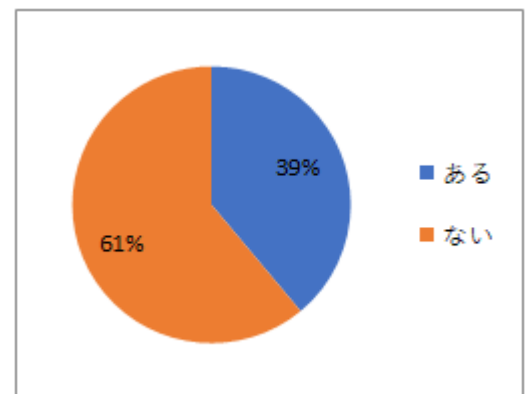


集落営農が多く立ち上げられた時期から約10年たつが、初代の経営体が28%ある。

○組合長や役員交代に関する取り決めはありますか（1つ） ※定年制や年数制など

【集落営農のみ】

選択肢		総数	18
1	ある		7
2	ない		11

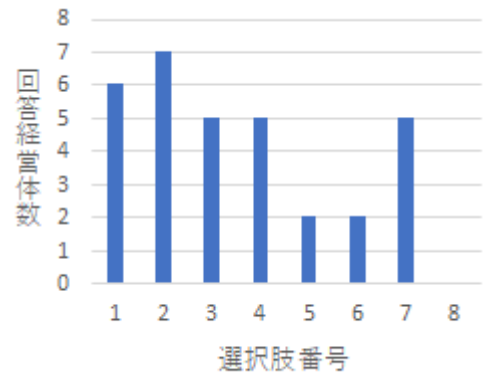


取り決めがないと答えた経営体が61%ある。

○次世代の人材は確保できていますか。確保できている人材の番号全てに○をつけてください。

【集落営農のみ】

選択肢		総数	32
1	組合長候補	6	
2	オペレーター	7	
3	総務（事務）担当者	5	
4	経理担当者	5	
5	草刈り・水管理	2	
6	施設・設備管理者	2	
7	確保できていない	5	
8	その他の人材があれば	0	



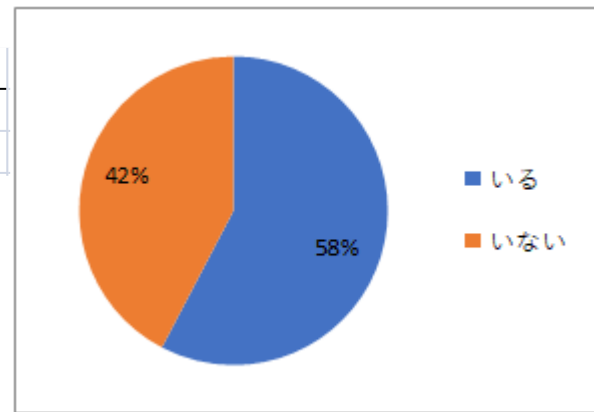
次世代の人材が確保できていないと 5 経営体が答えた。

○農業経営の後継者、後継者と経営の継承について話し合いの有無。

【個人・会社法人のみ】

農業経営の後継者はいますか。

選択肢		総数	26
1	いる	15	
2	いない	11	



後継者と経営の継承について話し合いをしていますか。

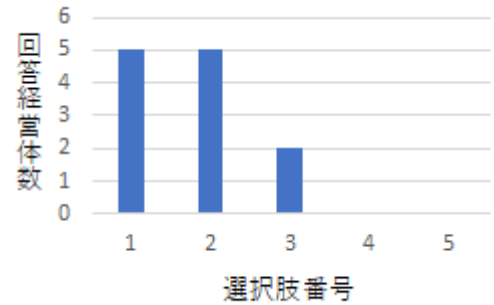
選択肢		総数	15
1	すでに話をすすめており経営継承に問題はない	4	
2	後継者は了承しているが具体的な話はすすんでいない	5	
3	後継者の了承は得ていないが継承してくれると考えている。	6	
4	その他	0	

26 経営体のうち 15 経営体がいると答えた。15 経営体のうち 11 経営体は、まだ具体的に交代する様子はないが、4 経営体が具体的に交代する話が進んでおり、近いうちに交代する可能性がある。

○将来、農業経営をどのように考えていますか。

【個人・会社法人のみ】

選択肢		総数	12
1	他の担い手や地主と調整しながら農業経営を縮小していき離農したい。	5	
2	新規就農者を受入れ、後継者として育成したい。	5	
3	希望する農業者（第3者）がいれば引き継ぎたい。	2	
4	どうすれば良いかわからない	0	

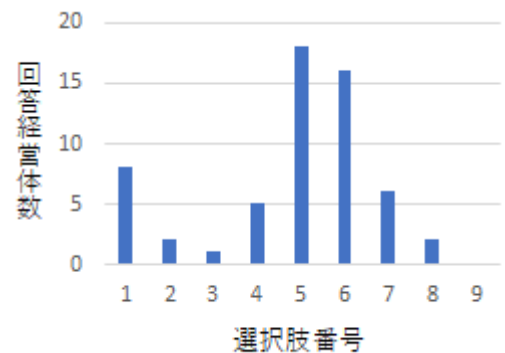


「他の担い手や地主と調整しながら農業経営を縮小していき離農したい」と「新規就農者を受入れ、後継者として育成したい」と回答した経営体が同数いた。

○スムーズな事業承継に必要な支援

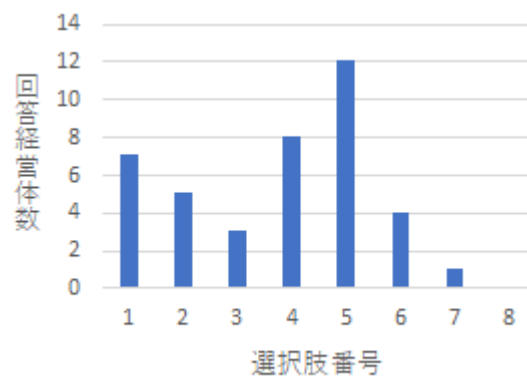
【個人・会社法人】

選択肢		総数	58
1	市や県、JAなどによる相談窓口の設置による個別相談	8	
2	事業承継のアドバイスや必要な手続きをサポートする専門家の派遣	2	
3	事業承継に関する研修会を定期的に開催する	1	
4	後継者に対する栽培技術研修や経営サポートなどの支援体制の構築	5	
5	後継者の生活安定の為に所得を保証する支援	18	
6	事業継承する際に農機具や施設などの導入に対する支援	16	
7	新規就農者の積極的な確保	6	
8	後継者の結婚相談などの支援	2	
9	その他	0	



【集落営農】

選択肢		総数	40
1	市や県、JAなどによる相談窓口の設置による個別相談	7	
2	事業承継のアドバイスや必要な手続きをサポートする専門家の派遣	5	
3	事業承継に関する研修会を定期的を開催する	3	
4	栽培技術研修や経営サポートなどの支援体制の構築	8	
5	農機具や施設などの導入に対する支援	12	
6	新規就農者の積極的な確保	4	
7	後継者の結婚相談などの支援	1	
8	その他	0	



【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、「事業継承する際に農機具や施設などの導入に対する支援」と回答した経営体が多かった。【個人・会社法人】は、ほかに「後継者の生活安定のための所得を保証する支援」を選ぶ経営体が多かった。農業を次世代も続けていくためには、所得の保証とハードへの支援が必要である。

販路

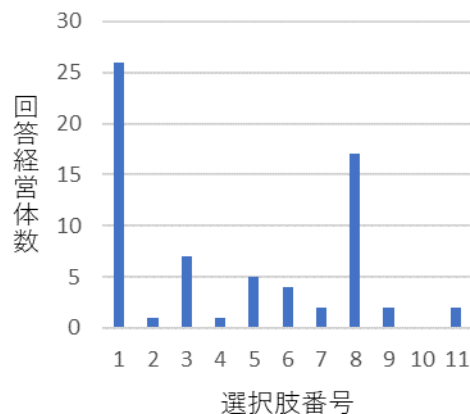
○現在、栽培した農産物および加工農産物はどのようにして販売していますか。

主食用米

【集落営農】

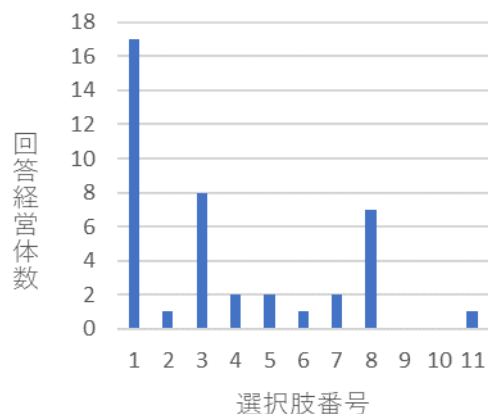
【個人・会社法人】

選択肢		総数	67
1	J A		26
2	直売所		1
3	卸売業者		7
4	小売業者（市内）		1
5	小売業者（市外）		5
6	飲食店（外食）（市内）		4
7	飲食店（外食）（市外）		2
8	消費者（直接販売）		17
9	消費者（インターネット販売）		2
10	消費者（その他）		0
11	その他		2



【集落営農】

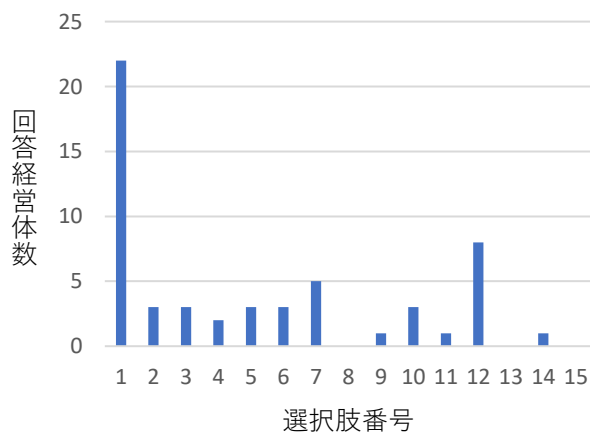
選択肢		総数	41
1	J A		17
2	直売所		1
3	卸売業者		8
4	小売業者（市内）		2
5	小売業者（市外）		2
6	飲食店（外食）（市内）		1
7	飲食店（外食）（市外）		2
8	消費者（直接販売）		7
9	消費者（インターネット販売）		0
10	消費者（その他）		0
11	その他		1



米以外の農産物

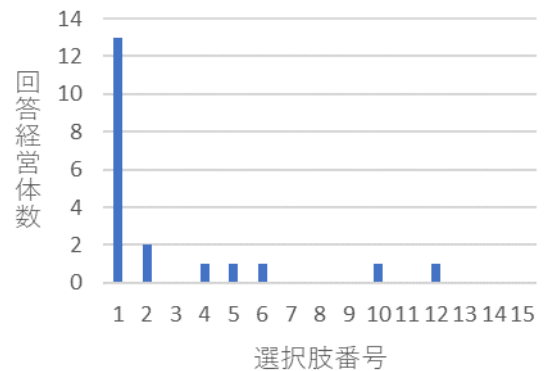
【個人・会社法人】

選択肢		総数	55
1	J A		22
2	直売所		3
3	市場		3
4	卸売業者（市内）		2
5	卸売業者（市外）		3
6	小売業者（市内）		3
7	小売業者（市外）		5
8	飲食店（外食）（市内）		0
9	飲食店（外食）（市外）		1
10	食品製造業者（市内）		3
11	食品製造業者（市外）		1
12	消費者（直接販売）		8
13	消費者（インターネット販売）		0
14	消費者（その他）		1
15	その他		0



【集落営農】

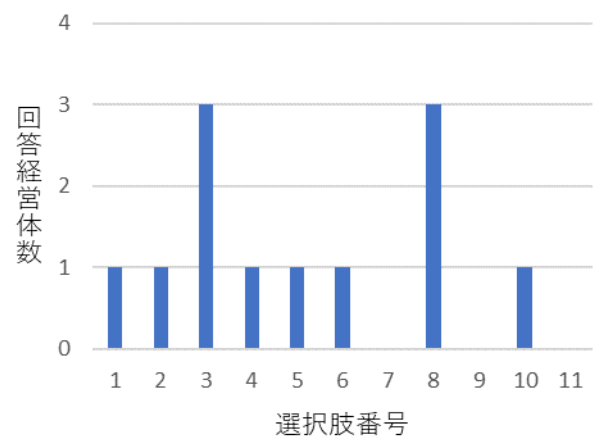
選択肢	総数	20
1	J A	13
2	直売所	2
3	市場	0
4	卸売業者（市内）	1
5	卸売業者（市外）	1
6	小売業者（市内）	1
7	小売業者（市外）	0
8	飲食店（外食）（市内）	0
9	飲食店（外食）（市外）	0
10	食品製造業者（市内）	1
11	食品製造業者（市外）	0
12	消費者（直接販売）	1
13	消費者（インターネット販売）	0
14	消費者（その他）	0
15	その他	0



加工農産物

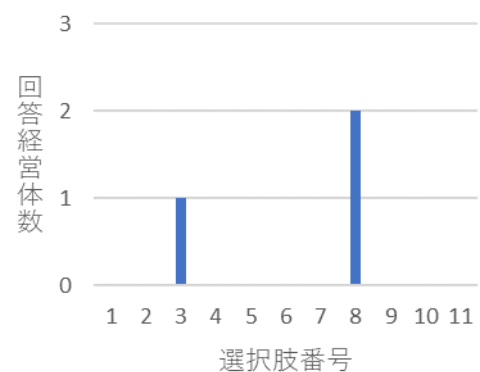
【個人・会社法人】

選択肢	総数	12
1	卸売業者（市内）	1
2	卸売業者（市外）	1
3	小売業者（市内）	3
4	小売業者（市外）	1
5	飲食店（外食）（市内）	1
6	飲食店（外食）（市外）	1
7	直売所	0
8	消費者（直接販売）	3
9	消費者（インターネット販売）	0
10	消費者（その他）	1
11	その他	0



【集落営農】

選択肢	総数	3
1	卸売業者（市内）	0
2	卸売業者（市外）	0
3	小売業者（市内）	1
4	小売業者（市外）	0
5	飲食店（外食）（市内）	0
6	飲食店（外食）（市外）	0
7	直売所	0
8	消費者（直接販売）	2
9	消費者（インターネット販売）	0
10	消費者（その他）	0
11	その他	0

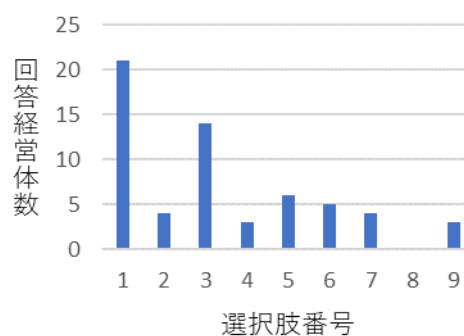


【個人・会社法人】【集落営農】ともに、「主食用米」「米以外の農産物」は、J Aへの系統出荷が一番多い。【個人・会社法人】は、ほかに「消費者への直接販売」も多い。「加工農産物」は、扱っている経営体が少ない。

○今後の販売方法についてお伺いします。農産物や加工農産物についてどのように販売していきたいとお考えですか。あてはまるもの全てに○をつけてください

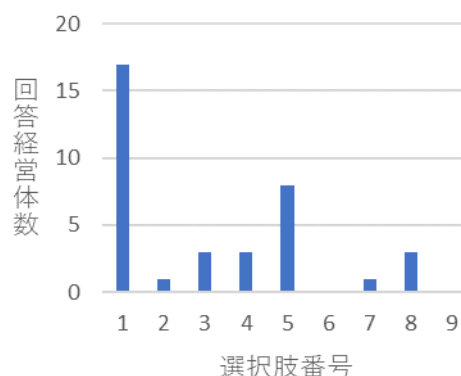
【個人・会社法人】

選択肢		総数	60
1	J A への出荷（系統出荷）を中心に販売したい		21
2	市場への出荷を中心に販売したい		4
3	小売業者や飲食店などと直接取引を中心に販売したい		14
4	中食や加工業者など製造事業者販売したい		3
5	企業との契約栽培に取り組みたい		6
6	インターネットやインターネット販売業者を活用し個人との直接取引を増やしたい		5
7	直売所での販売を増やしたい		4
8	輸出に取り組みたい		0
9	その他		3



【集落営農】

選択肢		総数	36
1	J A への出荷（系統出荷）を中心に販売したい		17
2	市場への出荷を中心に販売したい		1
3	小売業者や飲食店などと直接取引を中心に販売したい		3
4	中食や加工業者など製造事業者販売したい		3
5	企業との契約栽培に取り組みたい		8
6	インターネットやインターネット販売業者を活用し個人との直接取引を増やしたい		0
7	直売所での販売を増やしたい。		1
8	輸出に取り組みたい。		3
9	その他		0

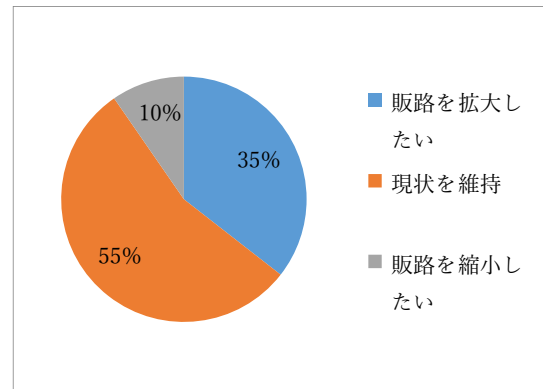


【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、【主食用米】【米以外の農産物】は、J A への系統出荷を希望する経営体が一番多い。

○今後（概ね5年以内）販路を拡大したいとお考えですか。

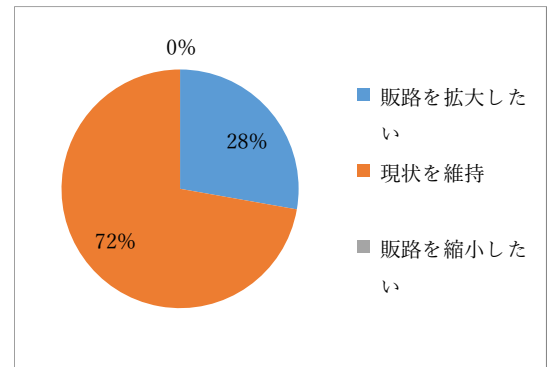
【個人・会社法人】

選択肢		総数	31
1	販路を拡大したい		11
2	現状を維持		17
3	販路を縮小したい		3



【集落営農】

選択肢		総数	18
1	販路を拡大したい		5
2	現状を維持		13
3	販路を縮小したい		0

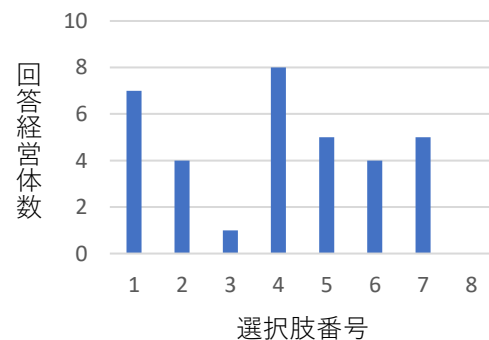


【個人・会社法人】は、販路の拡大を求める経営体が35%あり、【集落営農】は販路の拡大を求める経営体が約30%あった。

○販路を拡大する上で課題はありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください

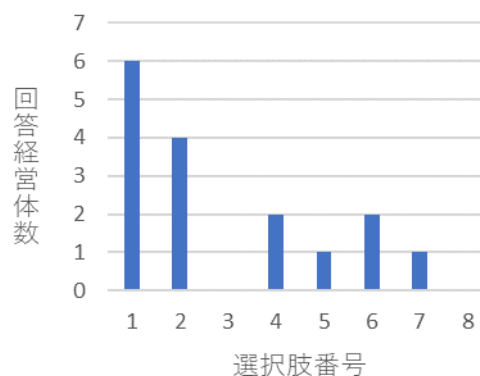
【個人・会社法人】

選択肢		総数	34
1	組織内に営業が出来る人材がない		7
2	どのような所に営業をすれば良いか分からない		4
3	小売・飲食店と直接取引できるだけの収量がない		1
4	納入量・納入時期について、取引業者の要望を満たせるかどうか不安である		8
5	営業や輸送に係る経費を負担できない		5
6	農産物を売り込むだけのセールスポイントがない		4
7	付加価値よりも価格の安さを求める消費者が多い		5
8	その他		0



【集落営農】

選択肢		総数	16
1	組織内に営業が出来る人材がない	6	
2	どのような所に営業をすれば良いか分からない	4	
3	小売・飲食店と直接取引できるだけの収量がない	0	
4	納入量・納入時期について、取引業者の要望を満たせるかどうか不安である	2	
5	営業や輸送に係る経費を負担できない	1	
6	農産物を売り込むだけのセールスポイントがない	2	
7	付加価値よりも価格の安さを求める消費者が多い	1	
8	その他	0	



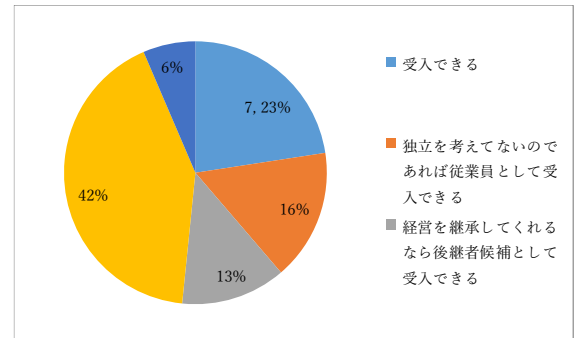
【個人・会社法人】は、「納入量・納入時期について、取引業者の要望を満たせるかどうか不安である」を選ぶ経営体が多く、拡大したいが要望に応えることができないのではないかとジレンマが感じられる。【集落営農】は、「組織内に営業できる人材がない」「どのような所に営業すれば良いかわからない。」を選ぶ経営体が多かった。方法がわからないから、前述の拡大の希望に対する設問で現状維持を選ぶ事業体もあったかと思われる。

地域農業の活性化

○新規就農希望者がいた場合、研修先として受入(雇用) できますか。(1つ)

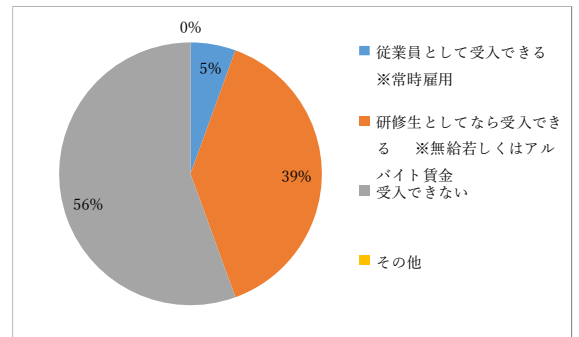
【個人・会社法人】

選択肢		総数	31
1	受入できる	7	
2	独立を考えてないのであれば従業員として受入できる	5	
3	経営を継承してくれるなら後継者候補として受入できる	4	
4	受入できない	13	
5	その他	2	



【集落営農】

選択肢		総数	18
1	従業員として受入できる ※常時雇用	1	
2	研修生としてなら受入できる ※無給若しくはアルバイト賃金	7	
3	受入できない	10	
4	その他	0	



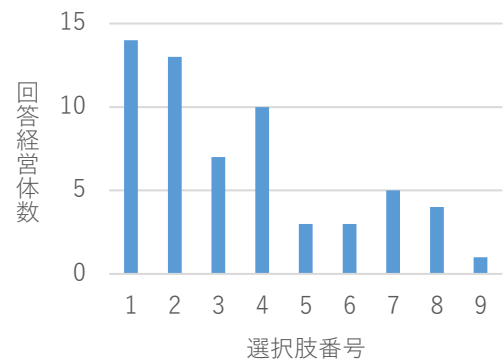
【個人・会社法人】は、「受け入れできる。」「条件付きで受け入れできる。」をあわせると 16 経営体ある。

【集落営農】は、8 経営体は受け入れできると答えている。

○担い手の育成、確保に向けて必要なことは何ですか。(3つまで)

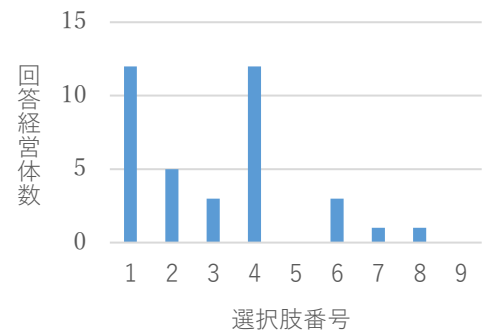
【個人・会社法人】

選択肢		総数	60
1	農業後継者やUターン者への支援	14	
2	非農家や移住者などの新規就農者の積極的な確保	13	
3	農業技術向上や経営スキル向上などの研修制度の充実	7	
4	定年後に就農しやすくするための支援や環境などの整備	10	
5	農業と農家レストランや農業と農家民宿など新たな兼業スタイルの推進	3	
6	農業者の結婚支援	3	
7	企業的な経営を目指し個人農家の法人化をすすめる	5	
8	法人などの企業の新規参入の促進	4	
9	その他	1	



【集落営農】

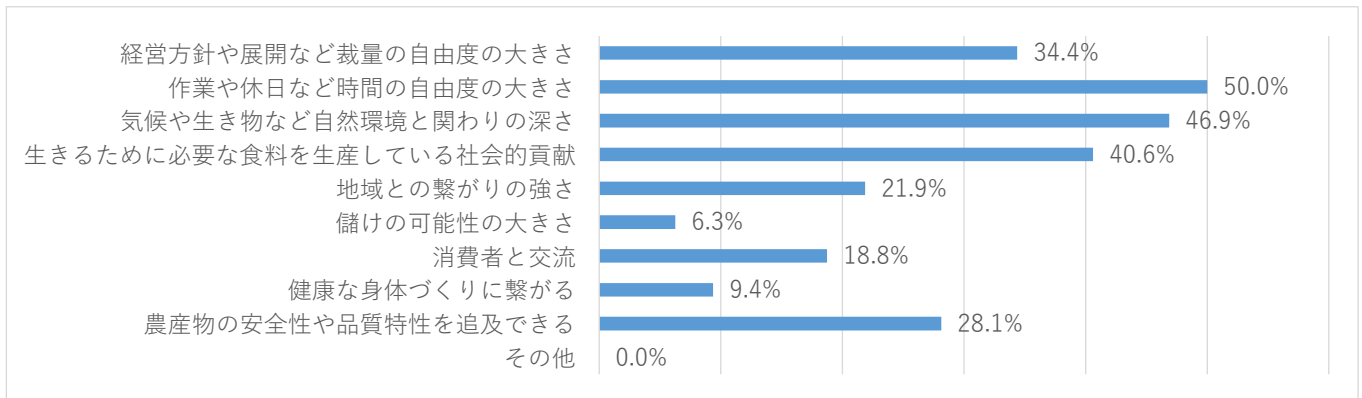
選択肢		総数	37
1	農業後継者やUターン者への支援	12	
2	非農家や移住者などの新規就農者の積極的な確保	5	
3	農業技術向上や経営スキル向上などの研修制度の充実	3	
4	定年後に就農しやすくするための支援や環境などの整備	12	
5	農業と農家レストランや農業と農家民宿など新たな兼業スタイルの推進	0	
6	農業者の結婚支援	3	
7	企業的な経営を目指し個人農家の法人化をすすめる	1	
8	法人などの企業の新規参入の促進	1	
9	その他	0	



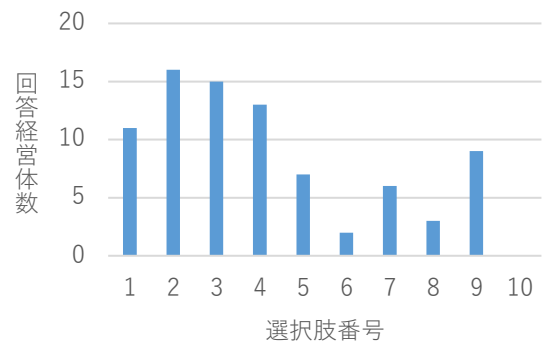
【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、「農業後継者やUターン者への支援」、「定年後に就農しやすくするための支援や環境などの整備」と答えた経営体が多い。【個人・会社法人】は、「非農家や移住者などの新規就農者の積極的な確保」と答えた経営体も多い。

○あなたが伝えたい（感じている）農業の魅力は何ですか。（3つまで）

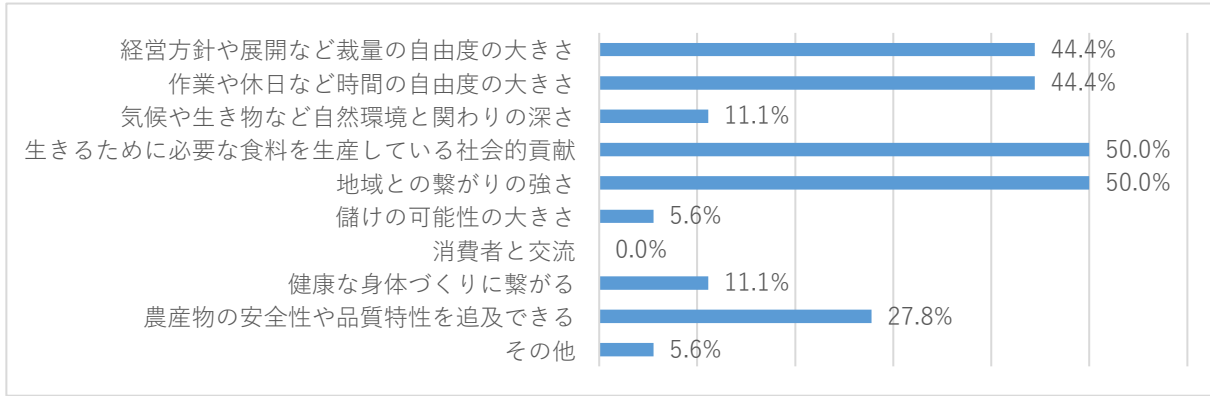
【個人・会社法人】



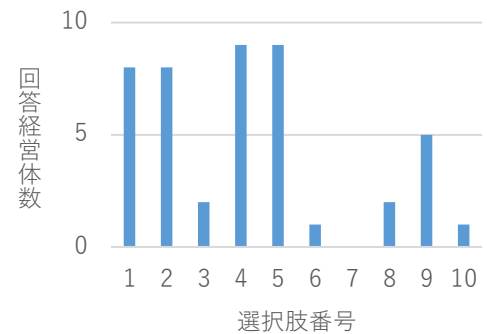
選択肢		総数	82
1	経営方針や展開など裁量の自由度の大きさ	11	
2	作業や休日など時間の自由度の大きさ	16	
3	気候や生き物など自然環境と関わりの深さ	15	
4	生きるために必要な食料を生産している社会的貢献	13	
5	地域との繋がり	7	
6	儲けの可能性の大きさ	2	
7	消費者と交流	6	
8	健康な身体づくりに繋がる	3	
9	農産物の安全性や品質特性を迫及できる	9	
10	その他	0	



【集落営農】



選択肢	内容	総数	45
1	経営方針や展開など裁量の自由度の大きさ	8	
2	作業や休日など時間の自由度の大きさ	8	
3	気候や生き物など自然環境と関わりの深さ	2	
4	生きるために必要な食料を生産している社会的貢献	9	
5	地域との繋がり	9	
6	儲けの可能性の大きさ	1	
7	消費者と交流	0	
8	健康な身体づくりに繋がる	2	
9	農産物の安全性や品質特性を追及できる	5	
10	その他	1	



【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、「経営方針や展開など裁量の自由度の大きさ」、「作業や休日など時間の自由度の大きさ」、「生きる為に必要な食料を生産している社会的貢献」を上げる経営体が多かった。時間などの自由度が利点と感じている。また、社会的な貢献度を上げる経営体が多く、社会全体に対する責任がうかがえる。

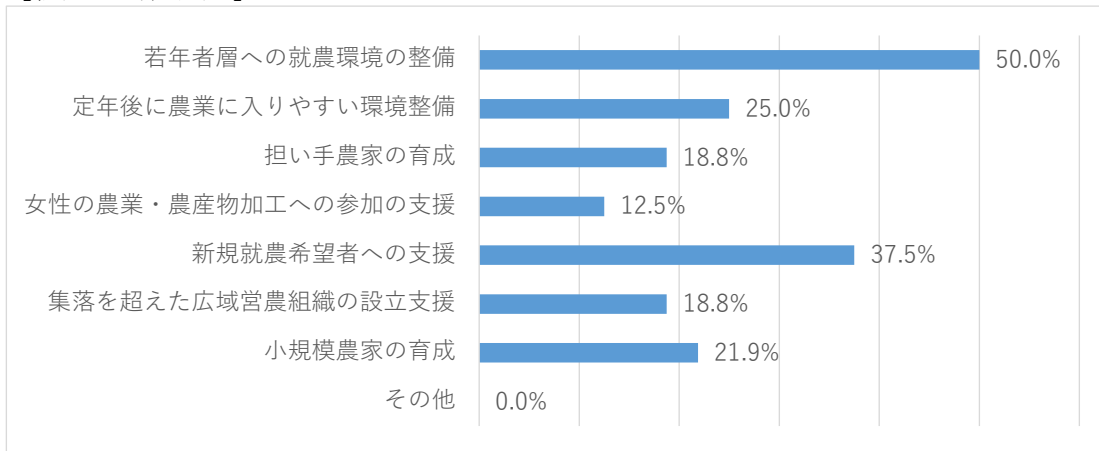
【集落営農】は、集落で結成されているためか、地域との繋がり

の強さをあげる経営体が多かった。「儲けの可能性の大きさ」を上げる経営体は少なく、農業の経営の難しさがうかがえる。

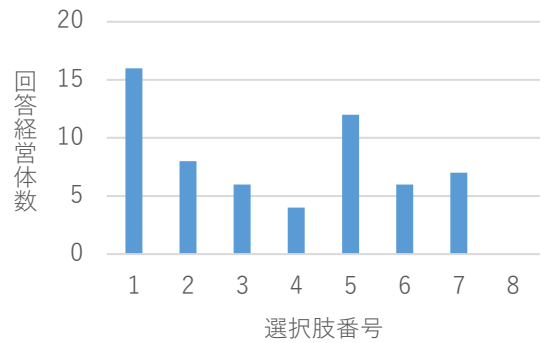
○地域の農業を活性化していく為には、どのような対策が必要だとお考えですか。最も重要だと思うものをそれぞれ選んでください。（2つまで）

担い手農家、後継者育成

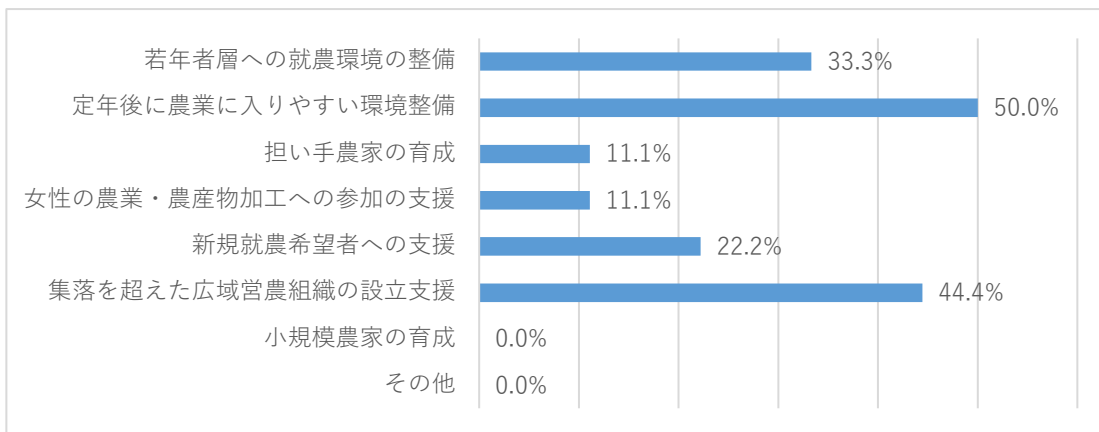
【個人・会社法人】



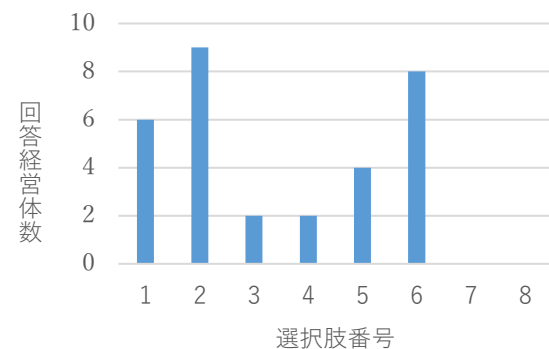
選択肢	内容	総数	59
1	若年者層への就農環境の整備	16	
2	定年後に農業に入りやすい環境整備	8	
3	担い手農家の育成	6	
4	女性の農業・農産物加工への参加の支援	4	
5	新規就農希望者への支援	12	
6	集落を超えた広域営農組織の設立支援	6	
7	小規模農家の育成	7	
8	その他	0	



【集落営農】



選択肢	内容	総数	31
1	若年者層への就農環境の整備	6	
2	定年後に農業に入りやすい環境整備	9	
3	担い手農家の育成	2	
4	女性の農業・農産物加工への参加の支援	2	
5	新規就農希望者への支援	4	
6	集落を超えた広域営農組織の設立支援	8	
7	小規模農家の育成	0	
8	その他	0	

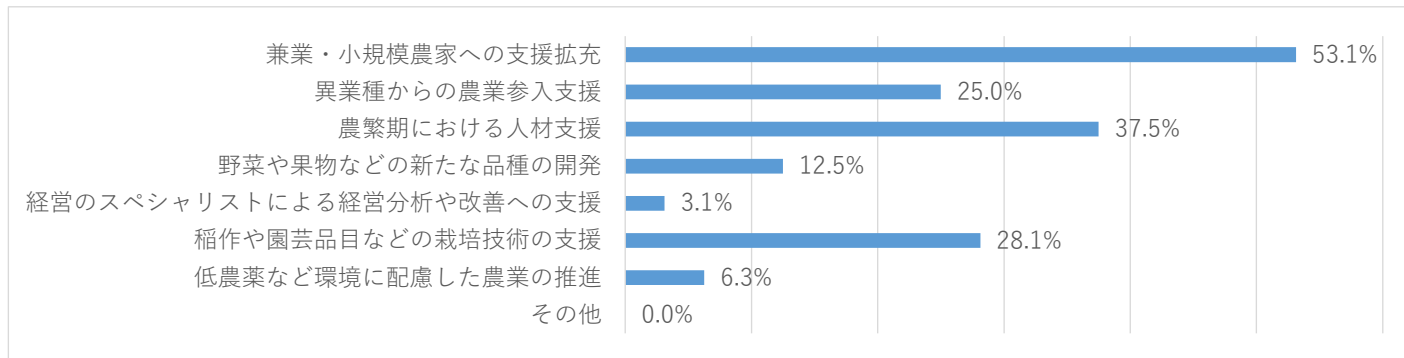


【個人・会社法人】は、若年層や新規就農者に対する支援と答える経営体が多かった。

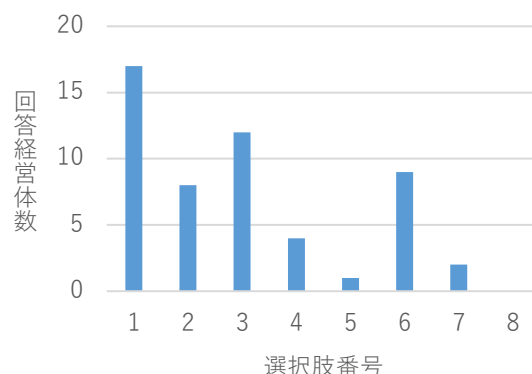
【集落営農】は、集落で結成されているので、定年後の人材を期待する「定年後に農業に入りやすい環境整備」の回答が一番多かった。ついで「集落を超えた広域営農組織の設立支援」を上げる経営体が多く、集落を超えた広域営農組織の設立もあり、採算が取れるようなエリアへの統合を期待していることがうかがえる。

営農支援

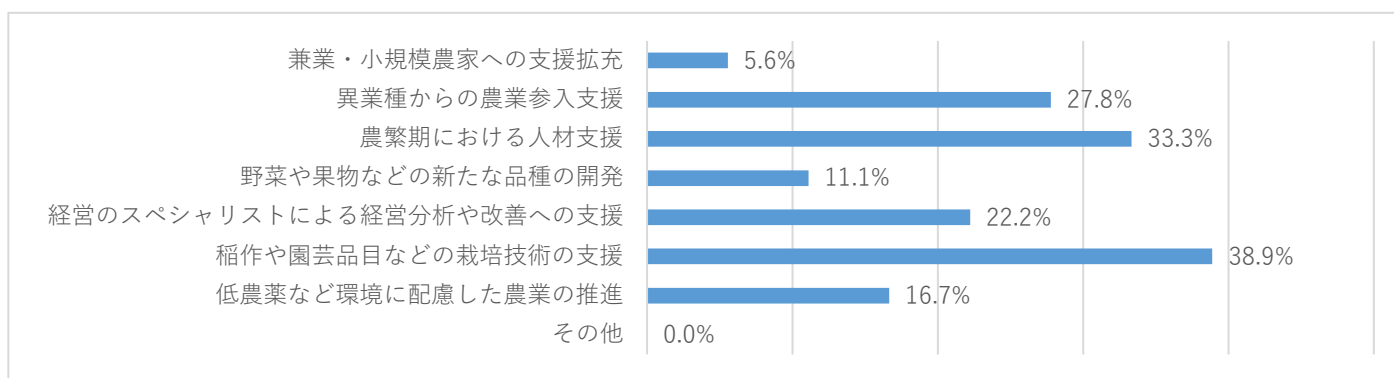
【個人・会社法人】



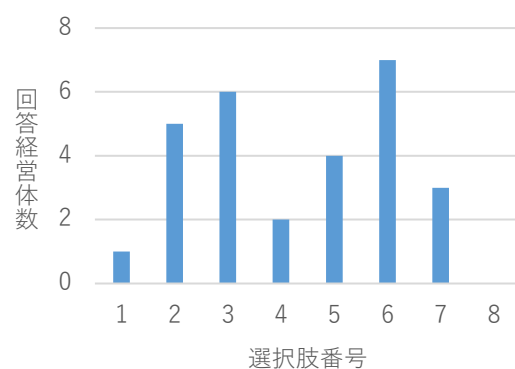
選択肢	内容	総数	53
1	兼業・小規模農家への支援拡充	17	
2	異業種からの農業参入支援	8	
3	農繁期における人材支援	12	
4	野菜や果物などの新たな品種の開発	4	
5	経営のスペシャリストによる経営分析や改善への支援	1	
6	稲作や園芸品目などの栽培技術の支援	9	
7	低農薬など環境に配慮した農業の推進	2	
8	その他	0	



【集落営農】



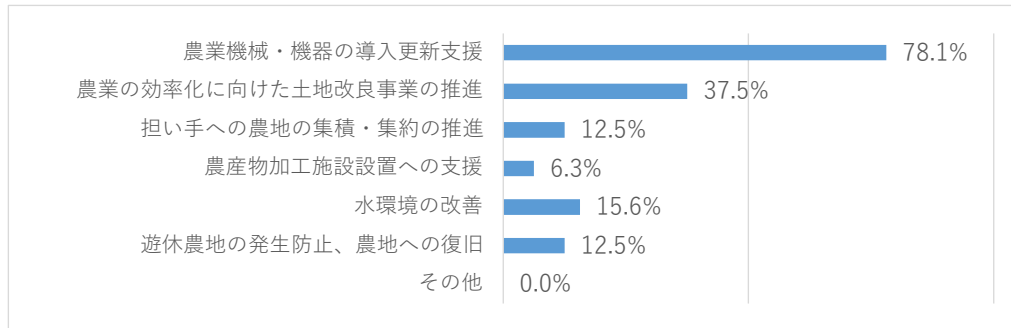
選択肢	内容	総数	28
1	兼業・小規模農家への支援拡充	1	
2	異業種からの農業参入支援	5	
3	農繁期における人材支援	6	
4	野菜や果物などの新たな品種の開発	2	
5	経営のスペシャリストによる経営分析や改善への支援	4	
6	稲作や園芸品目などの栽培技術の支援	7	
7	低農薬など環境に配慮した農業の推進	3	
8	その他	0	



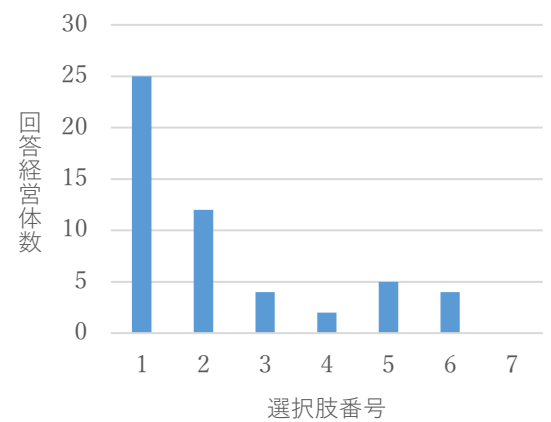
【個人・会社法人】は、「兼業・小規模農家への支援拡充」と「農繁期における人材支援」の回答が多かった。

基盤整備

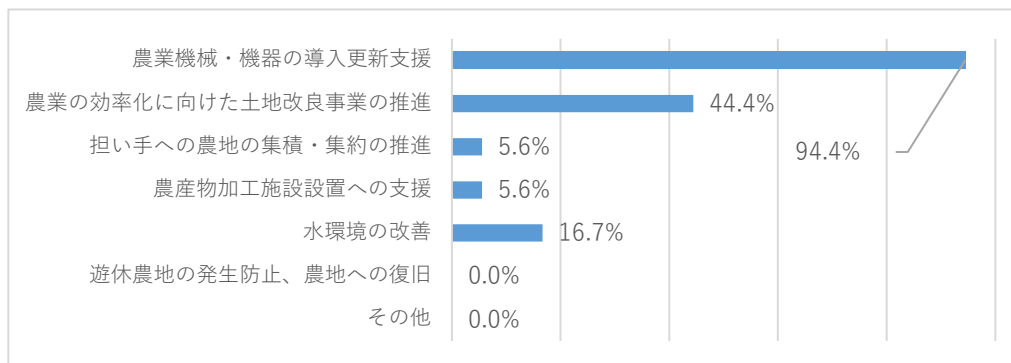
【個人・会社法人】



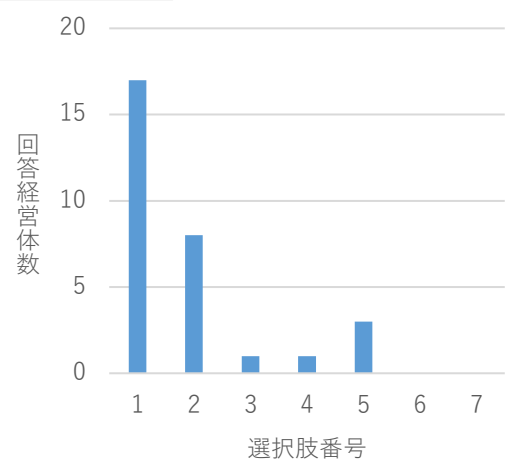
選択肢	内容	総数	割合
1	農業機械・機器の導入更新支援	25	78.1%
2	農業の効率化に向けた土地改良事業の推進	12	37.5%
3	担い手への農地の集積・集約の推進	4	12.5%
4	農産物加工施設設置への支援	2	6.3%
5	水環境の改善	5	15.6%
6	遊休農地の発生防止、農地への復旧	4	12.5%
7	その他	0	0.0%



【集落営農】



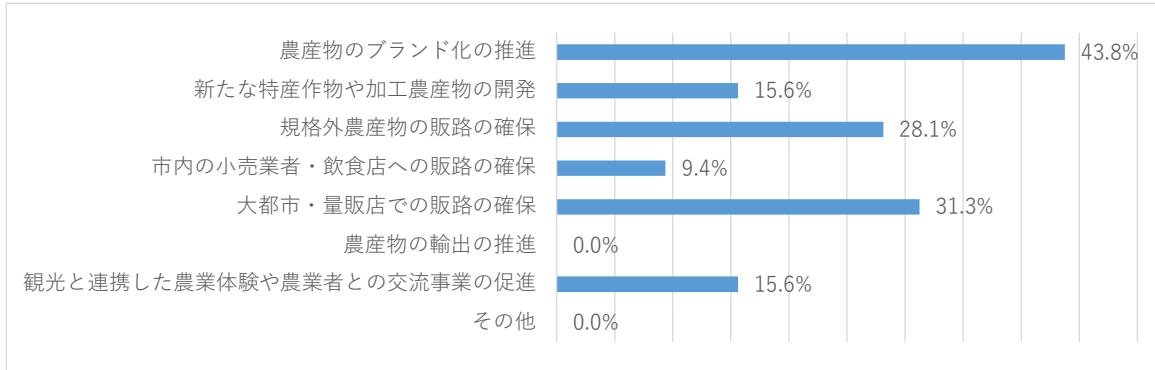
選択肢	内容	総数	割合
1	農業機械・機器の導入更新支援	17	44.4%
2	農業の効率化に向けた土地改良事業の推進	8	44.4%
3	担い手への農地の集積・集約の推進	1	5.6%
4	農産物加工施設設置への支援	1	5.6%
5	水環境の改善	3	16.7%
6	遊休農地の発生防止、農地への復旧	0	0.0%
7	その他	0	0.0%



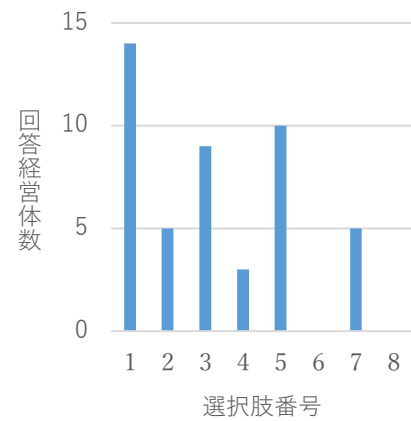
【個人・会社法人】、【集落営農】ともに、「農業機械・機器の導入更新支援」を上げる経営体が最も多く、機械や設備の更新が大きな負担となっていることがうかがえる。

販売支援

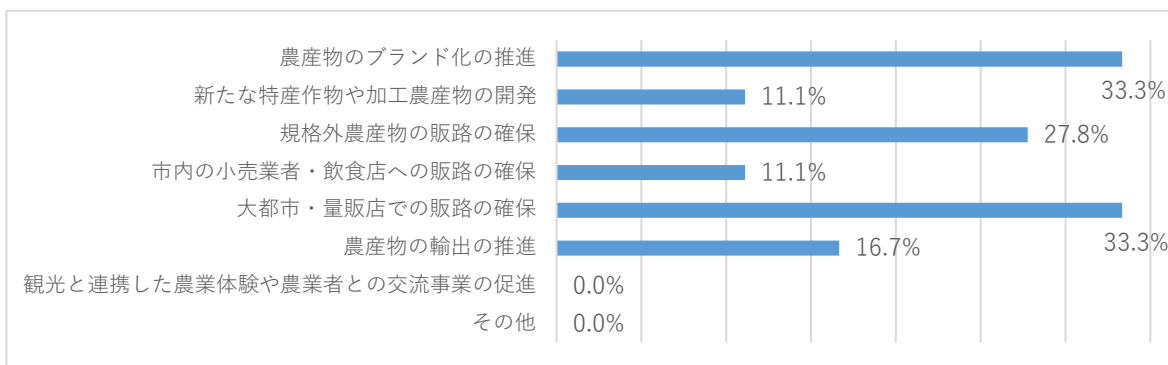
【個人・会社法人】



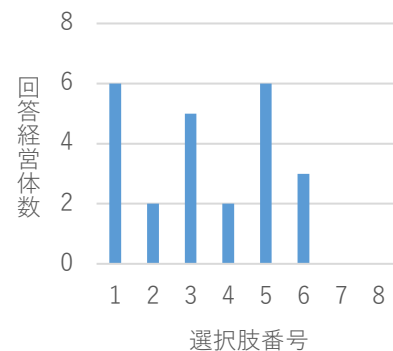
選択肢	総数	46
1 農産物のブランド化の推進	14	
2 新たな特産作物や加工農産物の開発	5	
3 規格外農産物の販路の確保	9	
4 市内の小売業者・飲食店への販路の確保	3	
5 大都市・量販店での販路の確保	10	
6 農産物の輸出の推進	0	
7 観光と連携した農業体験や農業者との交流事業の促進	5	
8 その他	0	



【集落営農】



選択肢	総数	24
1 農産物のブランド化の推進	6	
2 新たな特産作物や加工農産物の開発	2	
3 規格外農産物の販路の確保	5	
4 市内の小売業者・飲食店への販路の確保	2	
5 大都市・量販店での販路の確保	6	
6 農産物の輸出の推進	3	
7 観光と連携した農業体験や農業者との交流事業の促進	0	
8 その他	0	

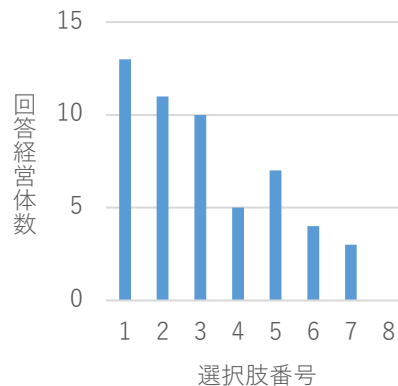


【個人・会社法人】では、「農産物のブランド化の推進」を選ぶ経営体が多かったが、【集落営農】では、突出した選択肢はなかった。

【鳥獣害防止に対する支援】

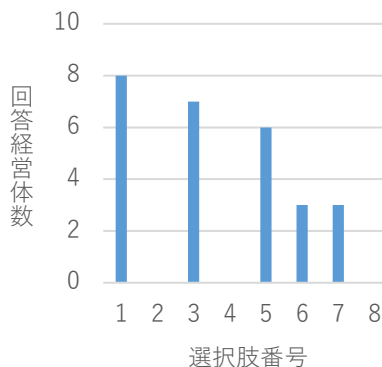
【個人・会社法人】

選択肢		総数	53
1	侵入防止柵を新設（更新）する際の支援	13	
2	狩猟者の育成	11	
3	集落を超えた広域の侵入防止柵設置の推進	10	
4	捕獲檻の設置	5	
5	獣害防止対策の集落間の連携促進に向けた支援	7	
6	狩猟免許取得に対する支援	4	
7	鳥獣害防止対策に関する研修会の開催	3	
8	その他	0	



【集落営農】

選択肢		総数	27
1	侵入防止柵を新設（更新）する際の支援	8	
2	狩猟者の育成	0	
3	集落を超えた広域の侵入防止柵設置の推進	7	
4	捕獲檻の設置	0	
5	獣害防止対策の集落間の連携促進に向けた支援	6	
6	狩猟免許取得に対する支援	3	
7	鳥獣害防止対策に関する研修会の開催	3	
8	その他	0	



【個人・会社法人】は、狩猟者の育成、捕獲檻の設置を上げる経営体があったが、【集落営農】では、いなかった。

担い手アンケート

4-5 自由意見

個人・会社法人	<p>昨今のコロナ禍において、消費者の嗜好も変化してきている為、先が読みにくい コロナが蔓延すると人員の確保も難しくなるので、その対策も急務になっている。</p> <p>集落の農業を守るためには、新型コロナウイルスが早く終わって、コメの価格が安定して転作が少なく、コメ余りをなくして、生活がしやすい環境を作り、若い世代の人が農業に参加してもらえる環境づくり促進していきたいと思います。</p> <p>担い手が農業で生活できる支援があればよい。</p> <p>阪谷で田んぼの面積も小さいし、草刈りの面積も多いので、作業が困難で多くの面積を作るのは難しい。面積を多く作らないと収入も上がらない。それで農業をする人がいなくなる、だから支援が必要とする</p> <p>市内にはコメ作りの技術者がいるのにうまく活用されていない。</p> <p>福井県はコシヒカリ発祥の地なのに、今は、他県より遅れているように思います。</p> <p>GAPに対すことも弱いのでは？</p> <p>農地の集約化は進んでいるが、今後は個人の集約から組織等の経営面積の大きい集約に移っていいと思うので、それに対応できる経営体（もしくは人材）の育成が必要だと思う。</p> <p>又、大規模化に伴い今後の農政事情によっては、倒産や廃業など一般企業と同様なことが起こりうるので行政としてもそれに備えた対策が必要ではないかと思う</p> <p>地域を維持していくためにも、稼げる小規模農家を増やすことが必要だと思う</p> <p>農業経験のある人材の確保は今後ますます難しくなっていくと思います。他産業の企業と連携した雇用のシェアや外国人の採用など労働力を確保する仕組みが必要になってくると思います。</p>
---------	---

4-5 地域農業や担い手確保について自由意見

集落営農	<p>園芸等、施設（大型ハウス）に頼らない。積雪を利用した特産物の開発を</p> <p>集落営農組織、生産組合の場合、役割使命として農地の保全環境保全管理文化継承がある。そのなかで経営運営するので大変である。（金、物、人）</p> <p>現在、集落人は、全員企業で働いている。定年が延長となり定年後の農業従事がなくなった。70歳過ぎてからの人は経営戦力としては無理である</p> <p>年間雇用のできる集落営農組合について考えたい。</p> <p>集落での年間作業の確保、経営運営者をどのように確保育成、老化離農農地の保全管理</p> <p>若年層への農業の魅力を公演してほしい。ただし、土、日でないと若者が参集してこれない。特に現在の生産組合の現状を分析したうえでの公演であれば若年層も農業になびくのではないか。</p> <p>また、現状の分析では特に金銭面における分析が必要と思われる</p> <p>山間地域の集落営農が限界に近付いている。人口減少、若者が戻ってこない。65歳や70歳近くになっても、仕事を継続している。人手不足におちいる。若者がいても農業に興味を示さない。</p> <p>世代交代が進まない。一部の人に集中し負担が大きい。また、条件、規約、書類が多すぎる。今の若者はついてこない。</p>
------	---

食関係アンケート調査の概要

「越前おおの型 食・農業・農村ビジョン」(以下ビジョン)の改訂にあたり、様々な立場の市民の食を通じた農や文化(食・祭事等)に対する現状についてアンケート調査を行いました。調査結果などの概要は以下のとおりです。

アンケート対象 **【大人】** 19歳から70歳以上の市民 680人
 【子ども】 小学6年生、中学3年生、16歳から18歳の市民 332人

アンケート回収状況

【大人】

10代(19歳)	7人	
20代(20~29歳)	34人	
30代(30~39歳)	48人	
40代(40~49歳)	46人	
50代(50~59歳)	44人	
60代(60~69歳)	57人	
70代以上(70歳~)	49人	
未回答	3人	
合計	288人	回収率 42.4%

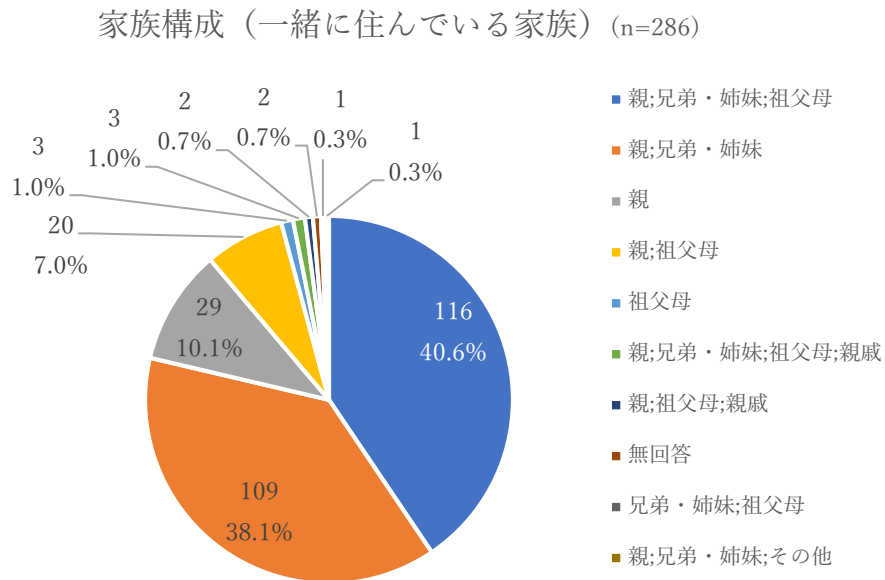
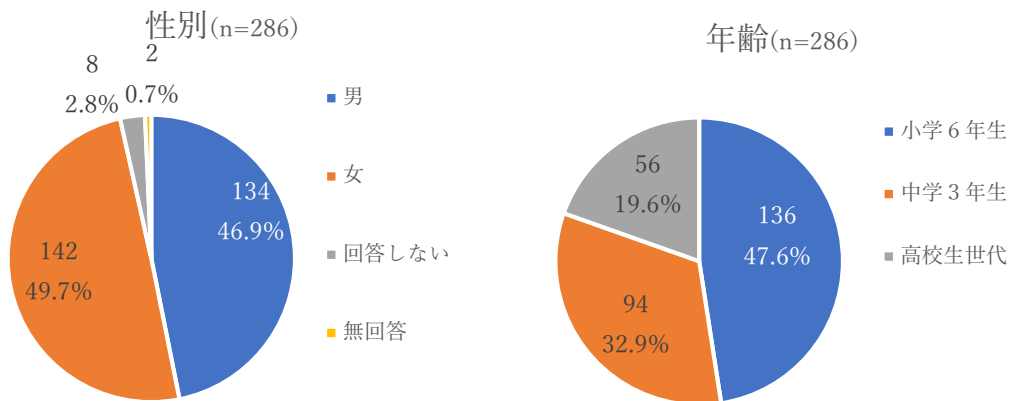
【子ども】

小学6年生	136人	
中学3年生	94人	
高校生世代(16~18歳)	56人	
合計	286人	回収率 86.1%

食関係アンケート（子ども）

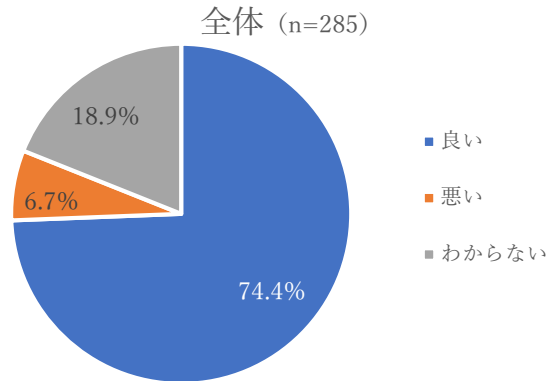
※調査結果の各グラフ中に記載しているnの値は、各質問に対する回答者数であり、比率算出の母数である。ただし、複数回答できる質問については、nの値は「対象者属性」中に示されている回答者数かつ比率算出の母数としており、対象者を限定している質問については、nの値はその対象者数かつ比率算出の母数としている。

対象者属性



農業との関わりについて

① 農業について、良いイメージと悪いイメージ、どちらを持っていますか



■ 良い理由 ※原文例

- ・みんなの食べ物を作ってくれるから。(小学6年生・男)
- ・おいしい野菜や米を食べれるから。(小学6年生・男)
- ・農業は大変だけど、その苦勞が野菜の味に出てくると思う。(小学6年生・女)
- ・家に畑があっておじいちゃんが育ててくれているから。(小学6年生・女)
- ・農業があることで生活が豊かになっているから。(小学6年生・女)
- ・おいしい野菜をいつも食べているから。(中学3年生・男)
- ・どっちもおじいちゃんおばあちゃんがしているから。(中学3年生・女)
- ・地域の人を支えているイメージがあったからです。(中学3年生・女)
- ・自然の豊かさをあらわしていると思うから。(中学3年生・女)
- ・農業(農家)さんのおかげで私たちはおいしいご飯をたべているから。(中学3年生・男)
- ・季節感を感じられ、自然が豊かになるから。(高校生世代・女)
- ・おいしいおいしい野菜や米を作ってくれている。(高校生世代・女)
- ・祖父母が営んでおり、生活を支えてもらっているから。(高校生世代・男)
- ・健康にいいし、いつも野菜をたべているから。(高校生世代・男)
- ・学校で農業の体験をしており、自分の作ったものを収穫でき楽しい。(高校生世代・男)

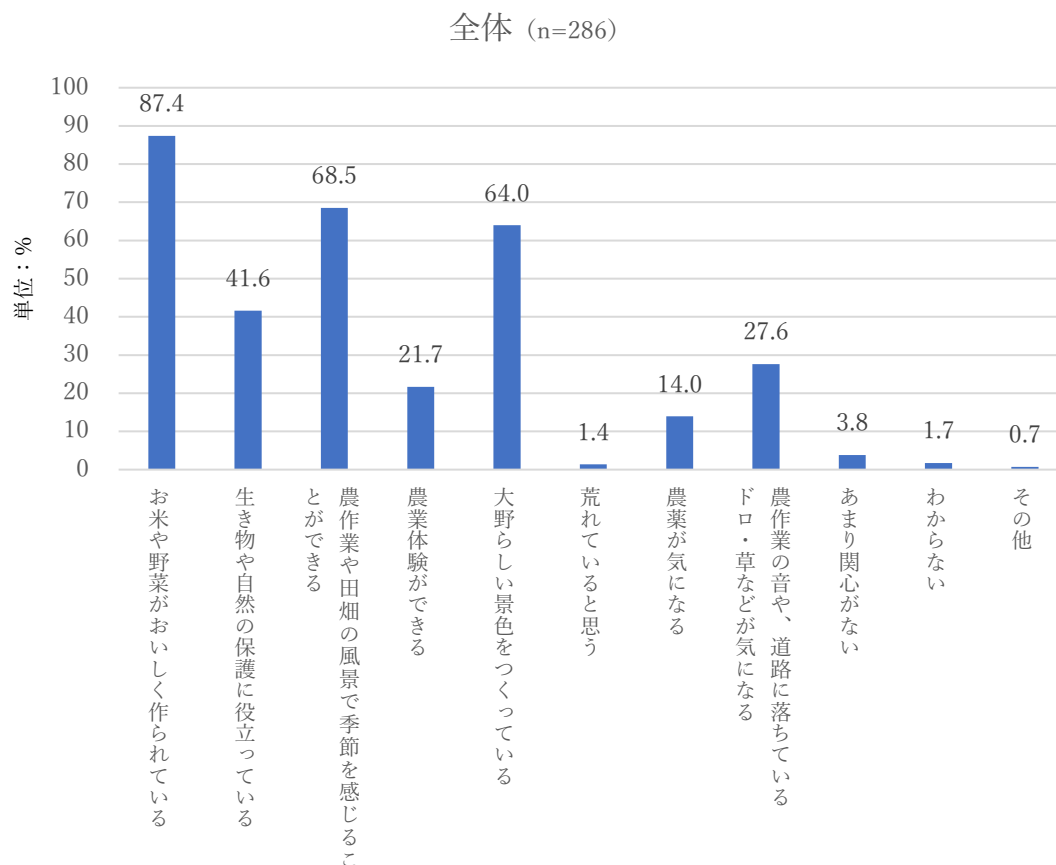
■ 悪い理由 ※原文例

- ・くさいから(ふんくさい)。(小学6年生・男)
- ・虫がきらいだから。(中学3年生・回答しない)
- ・きつい、あまりもうからない、天候に左右される。(高校生世代・男)

■ わからない理由 ※原文例

- ・大変で悪いイメージもあるし、みんなのために働いているよいイメージもある。(小学6年生・女)
- ・家で農業をしていないので農業についてあまりよく知りません。(中学3年生・女)
- ・特に何をしているか分からないから。(高校生世代・男)

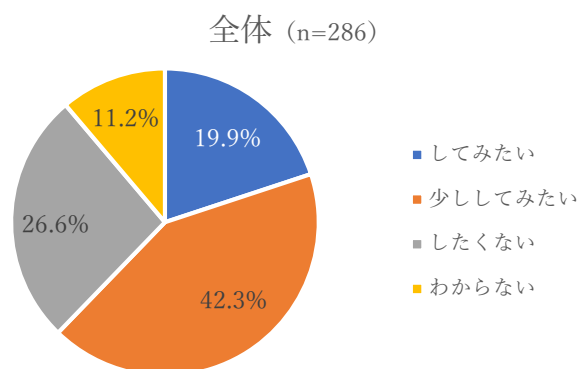
② 大野市の農業や農地に対して感じていることは何ですか 大野市の農業や田畑についてどう思いますか ※あてはまるもの全て



(その他意見)

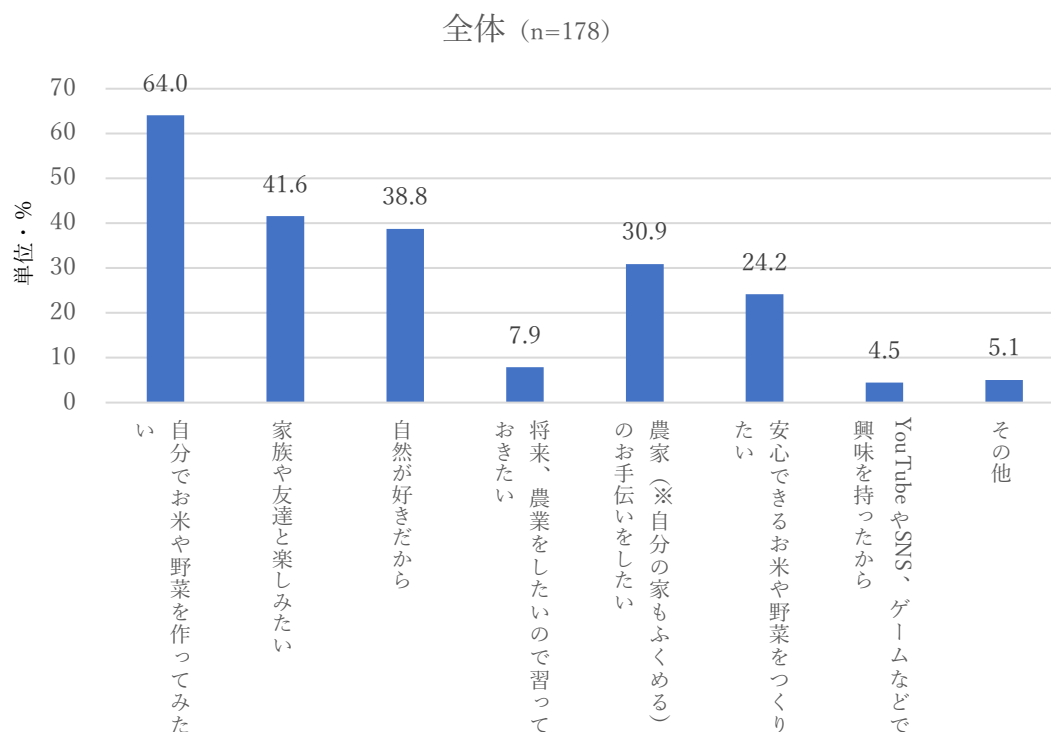
- ・田畑が多すぎる。(小学6年生・女)
- ・ヘリコプターで農薬をやるのが気になる。(小学6年生・女)

③ 農作業（農業）をしたいと思えますか



④ 理由はなんですか ※あてはまるもの全て

回答：対象③で「してみたい」「少ししてみたい」を選んだ人

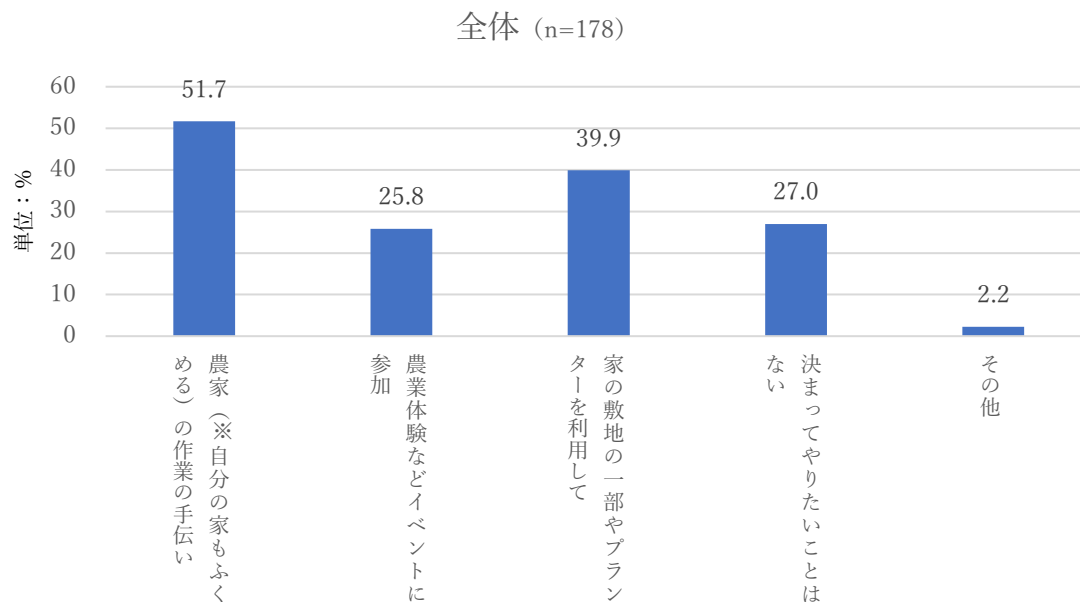


(その他意見)

- ・私の祖父母が田畑(農業)をやっているから。(小学6年生・女)
- ・かじゅえん。(小学6年生・女)
- ・自給自足してみたい。(小学6年生・女)
- ・大野の景色を続けていきたいから。(小学6年生・女)
- ・昔はいたらしい田んぼの生き物を自分の田んぼで生きてほしいから。(中学3年生・女)
- ・料理人になりたいからいろいろな知識を実際に見てみたいから。(中学3年生・男)
- ・少しでも人の役に立てるようなことをしてみたいから。(中学3年生・女)
- ・なんとなくしてみたい。(中学3年生・男)
- ・単純にたのしそう。(高校生世代・女)

⑤ どのような農作業をやりたい（どのような農作業ならやりたい）と思いますか

回答：対象③で「してみたい」「少ししてみたい」を選んだ人 ※あてはまるもの全て

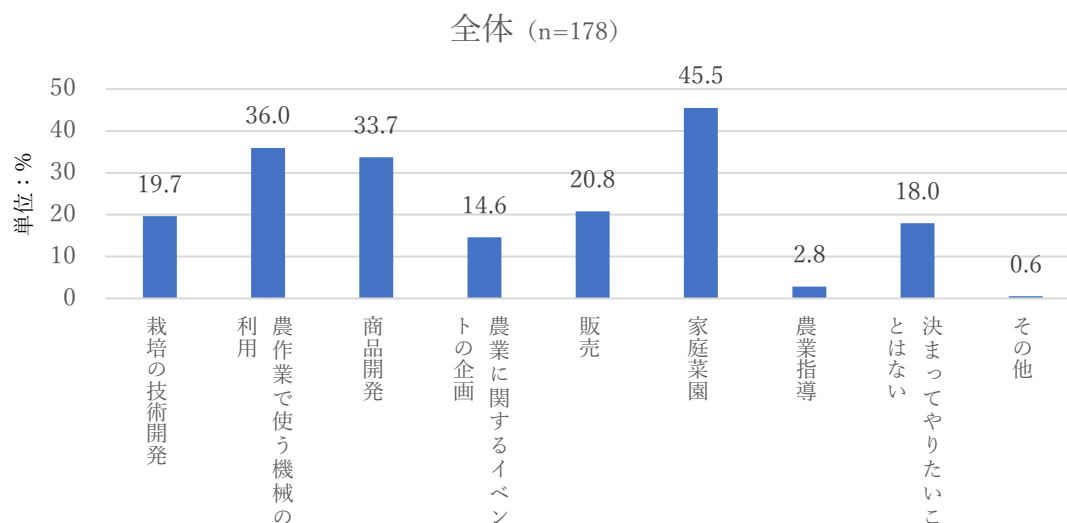


(その他意見)

- ・殺虫剤を使わない農業。(小学6年生・男) ・米作り。(小学6年生・男)
- ・手作業で田植え。(中学3年生・女) ・重機の操縦。(高校生世代・女)

⑥ 農業に関して、いつかしてみたいと思うものはありますか

回答：対象③で「してみたい」「少ししてみたい」を選んだ人 ※あてはまるもの全て

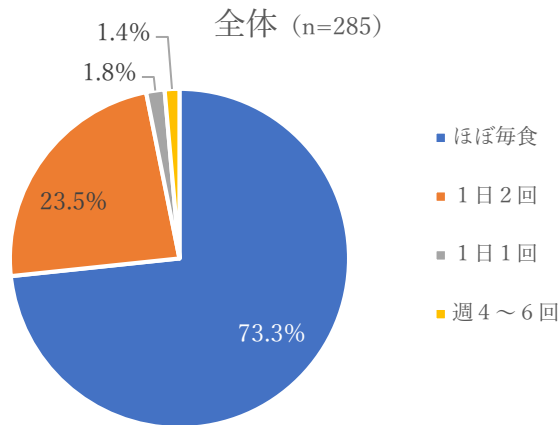


(その他意見)

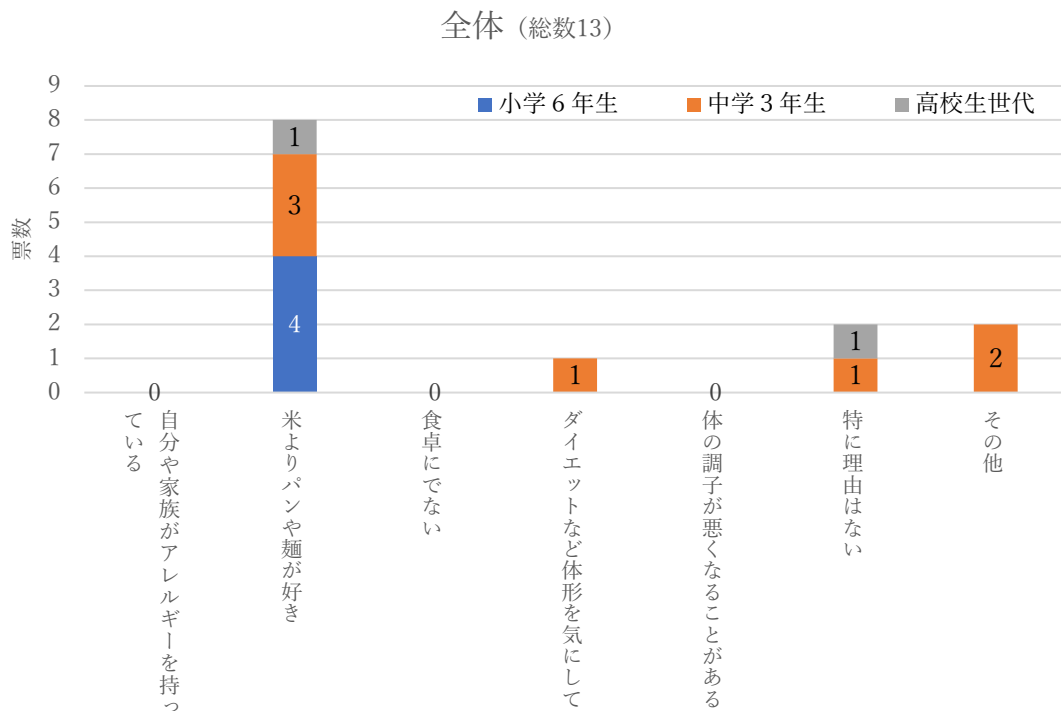
- ・さくらんぼをそだてたい。(小学6年生・女)

地元産品の利用（地産地消）について…お米

① 普段お米を食べていますか



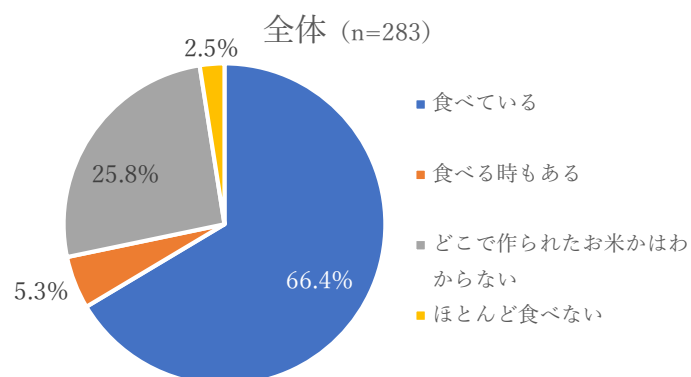
- ② お米を食べない人に聞きます。お米を食べない理由はなんですか ※あてはまるもの全て
 ※「ほとんど食べない」「全く食べない」がいなかったため、米を食べている人でも、食べない場合は
 どのような理由からかを参考に付けます。



(その他意見)

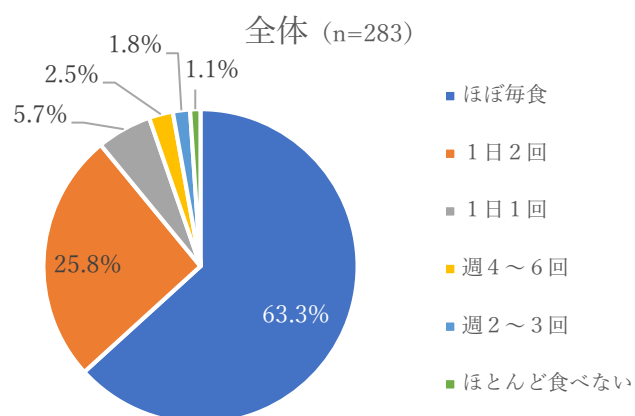
- ・お米だけがおいしくない（なんかついてたらOK）。(中学3年生・女)
- ・お米単体ではおいしいと感じれない。(中学3年生・男)

③ お米を食べている方に聞きます。大野市で作ったお米を食べていますか

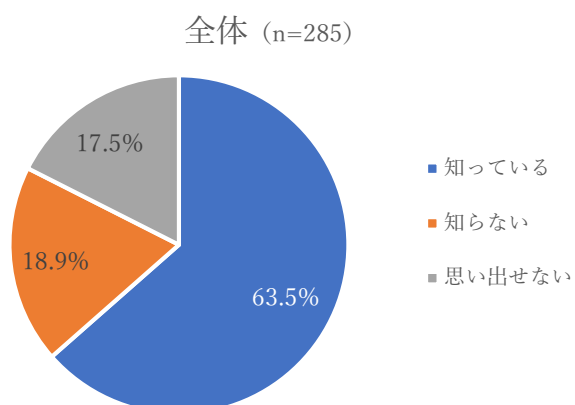


地元産品の利用（地産地消）について…野菜

① 普段野菜を食べていますか

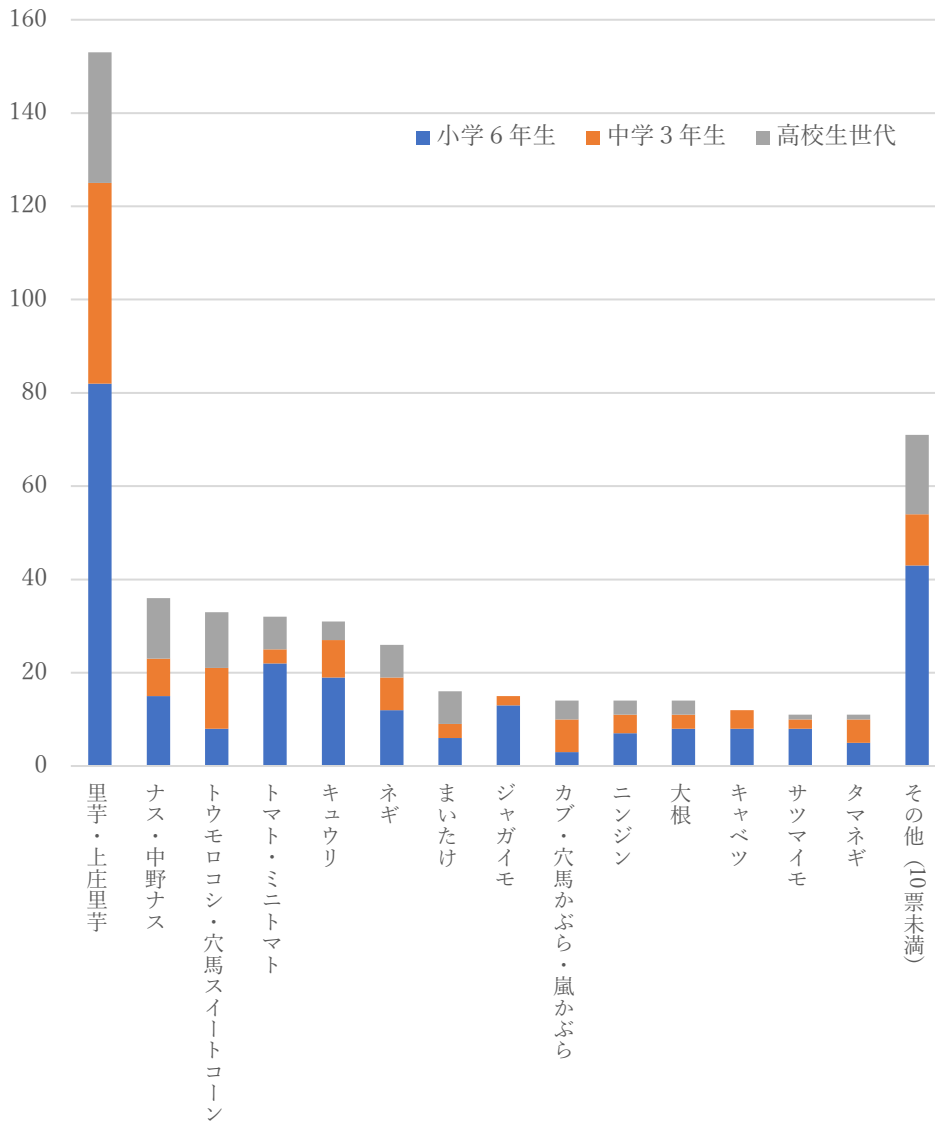


② 大野市ではどんな野菜が作られているか知っていますか



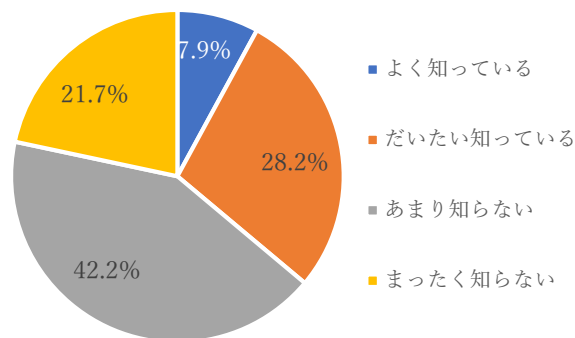
(知っている野菜)

全体 (総数489)

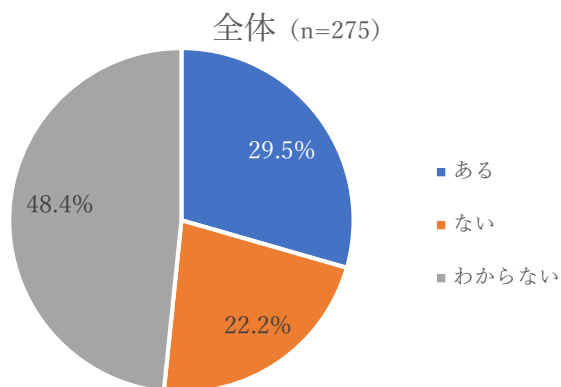


③ 大野市で作られている野菜のおいしい時期を知っていますか

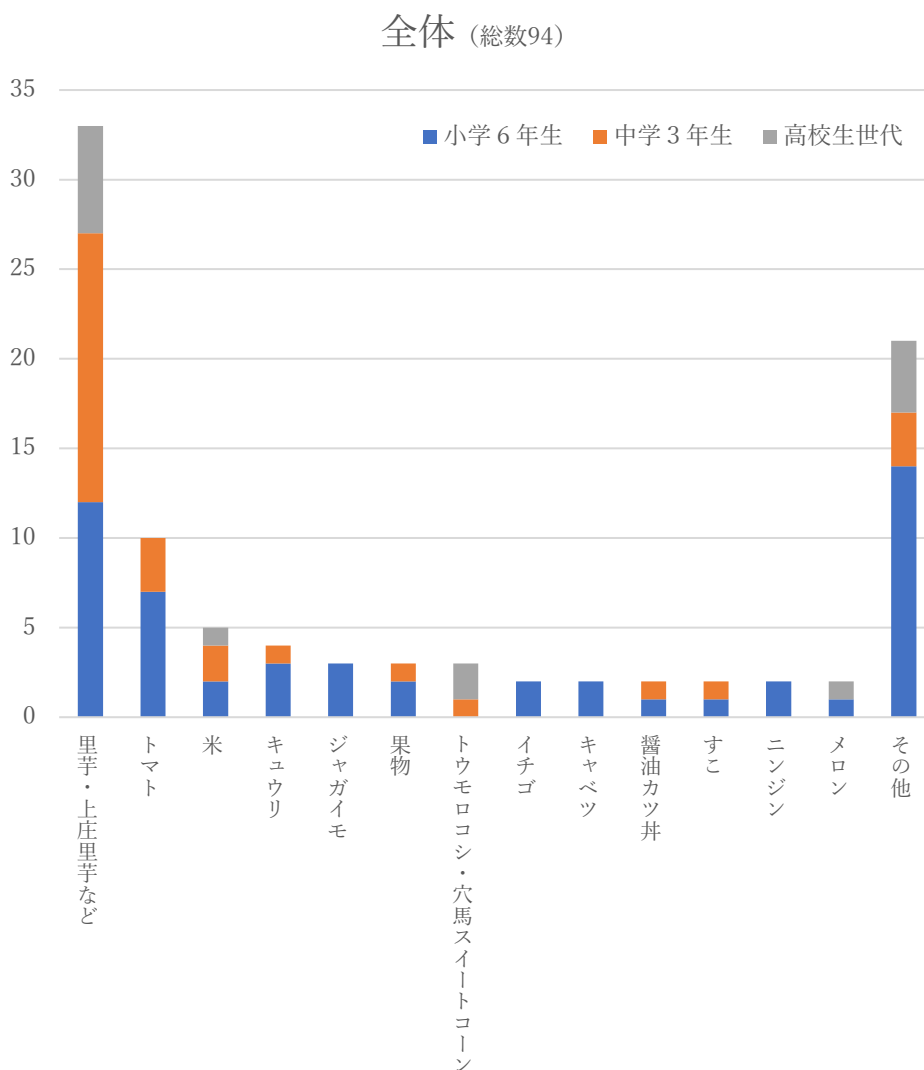
全体 (n=277)



④ 大野市の特産品（大野市で作られていて、多くの人が知っているもの）になったらいい
 と思う農作物はありますか

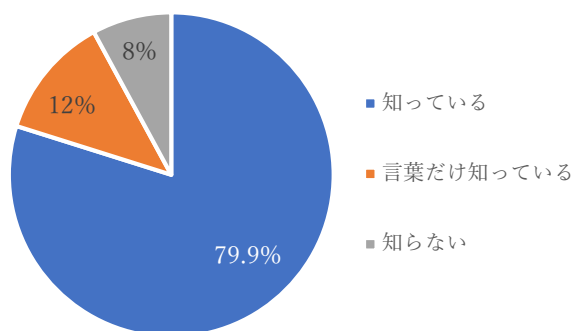


(特産品案)



⑤ 「地産地消」という言葉の意味を知っていますか

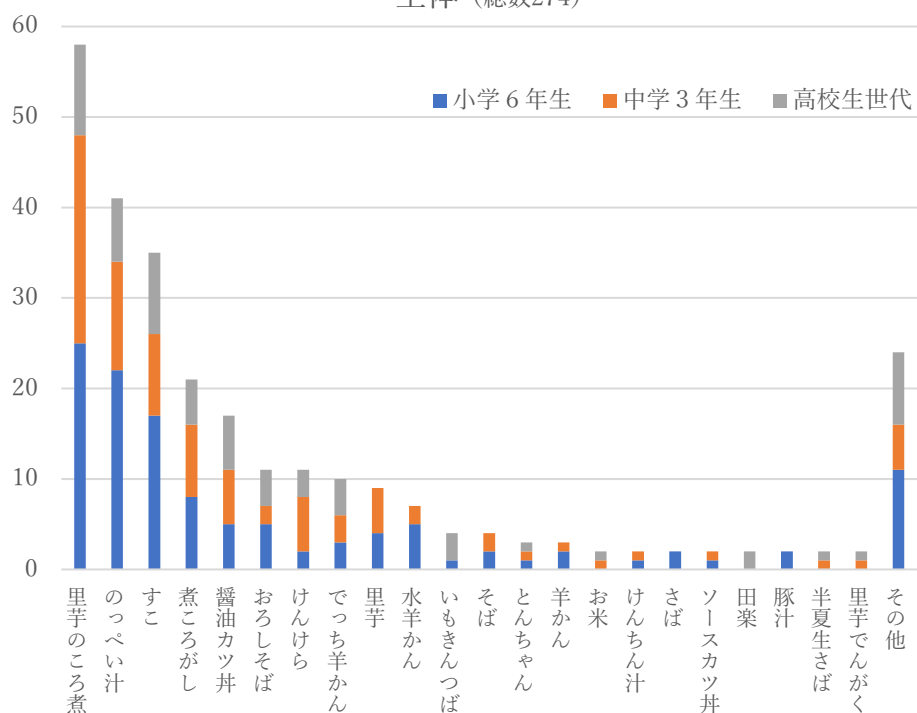
全体 (n=278)



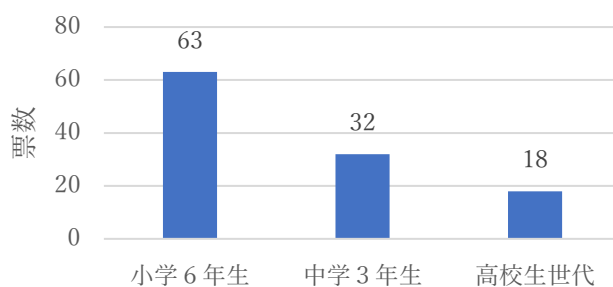
食文化について

① あなたが知っている郷土料理（大野で昔から食べられている料理）を教えてください

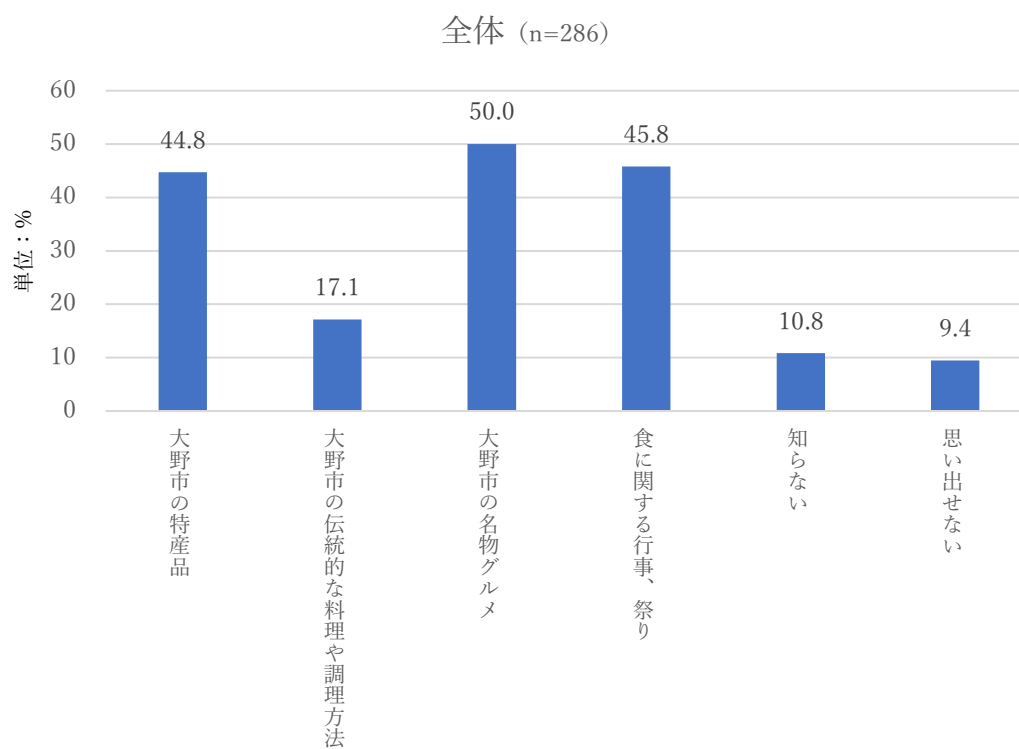
全体 (総数274)



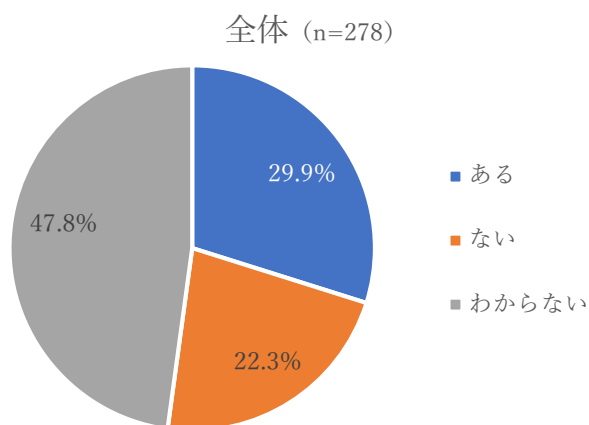
「知らない」と答えた人 (n=113)



② 大野の食文化で知っているものを選んでください ※あてはまるもの全て

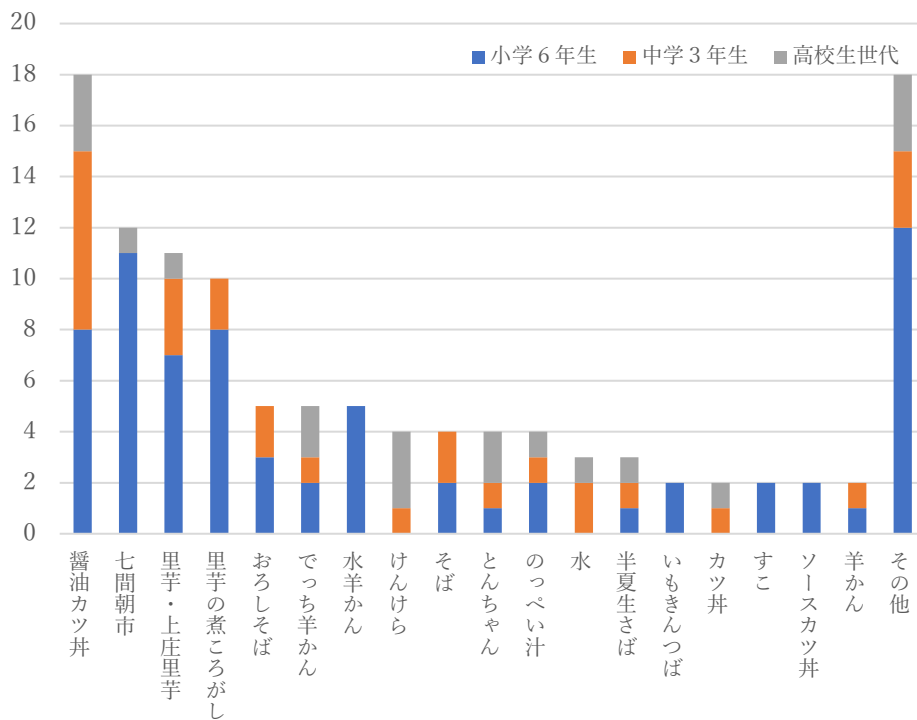


③ 市外の人におすすめしたい大野市の食文化はありますか



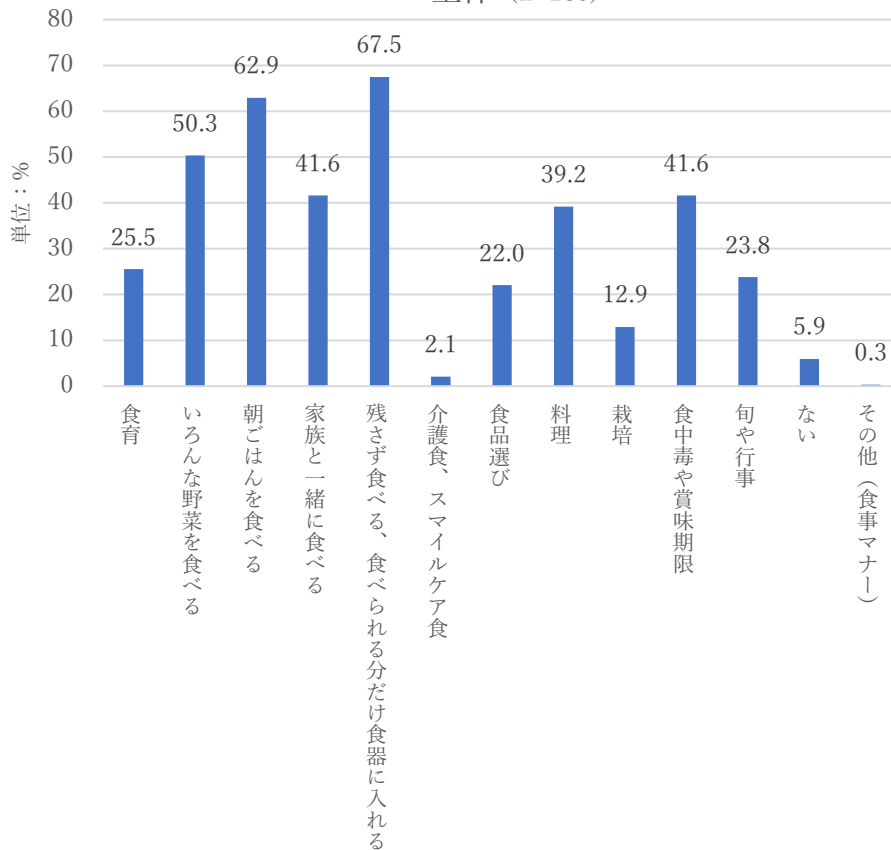
(おすすめしたい食文化)

全体 (総数116)



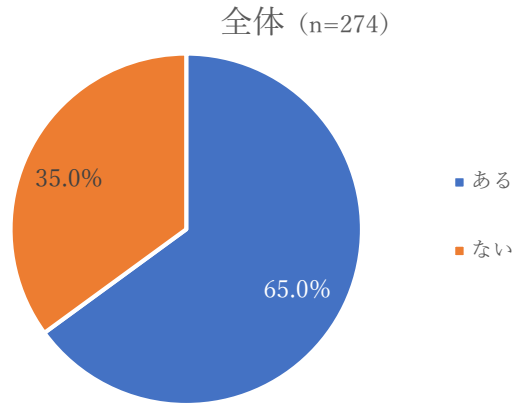
④ 食について気をつけていること、興味があることは何ですか ※あてはまるもの全て

全体 (n=286)

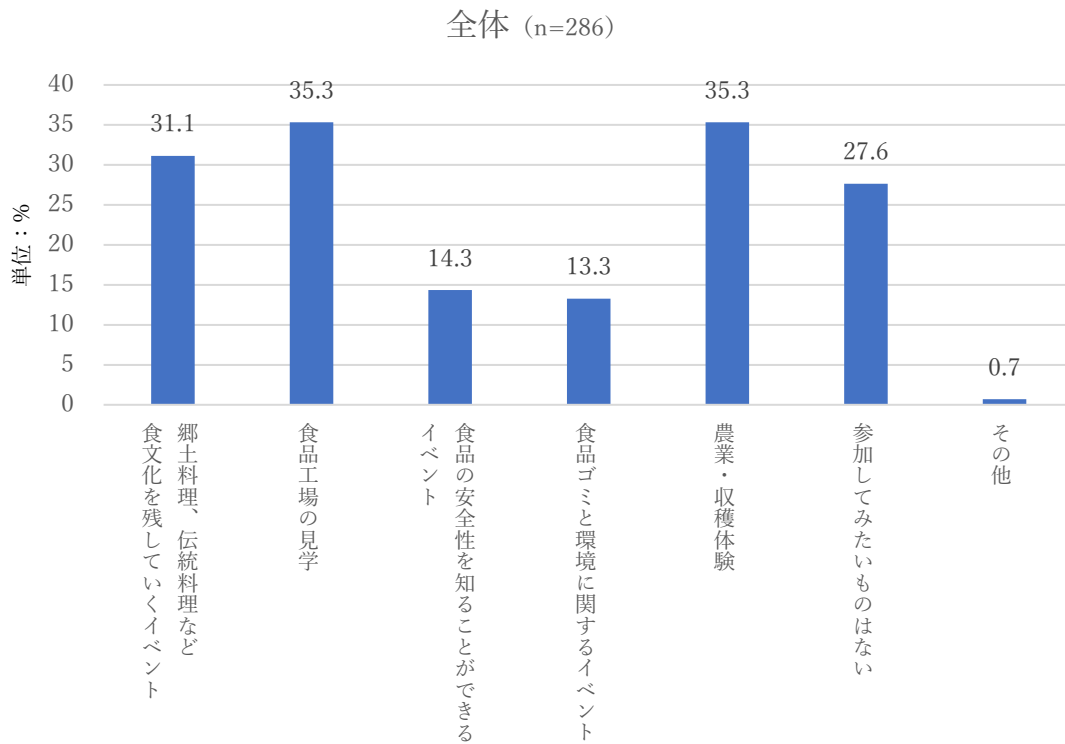


その他

① 農業や食に関するイベントに参加したことがありますか



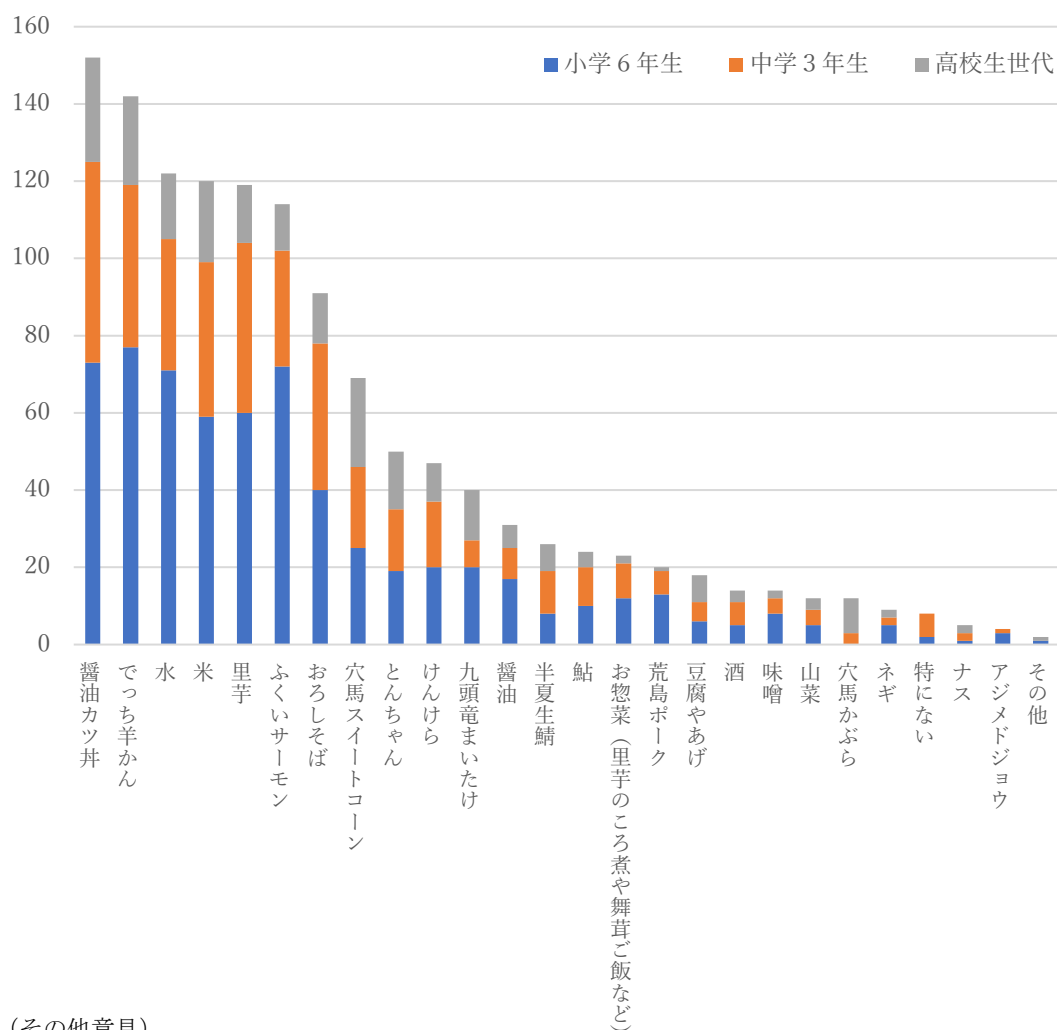
② 農業や食に関するイベントで参加してみたいものはありますか ※3つまで



(その他意見)

- ・料理づくり。(小学6年生)
- ・食物の食べ比べ。(中学3年生)

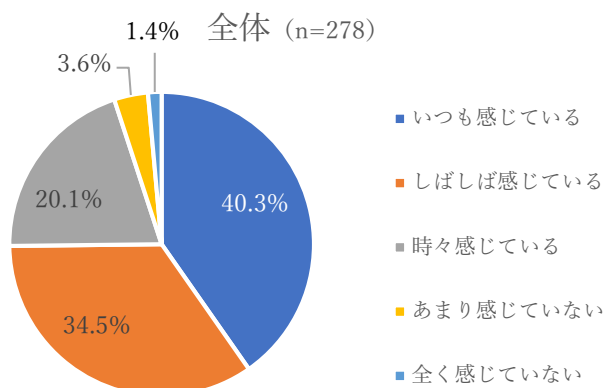
③ 大野の食で市外の人に食べてもらいたいものは何ですか ※5つまで
全体 (総数1,288)



(その他意見)

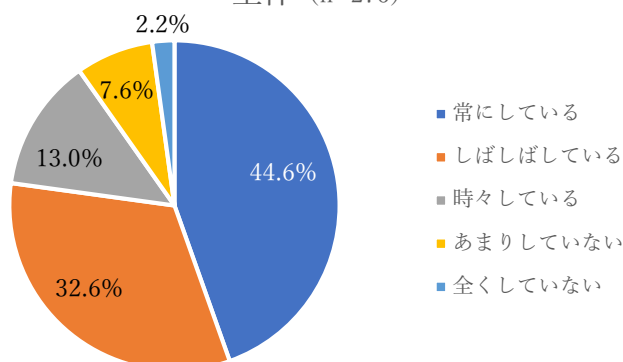
- ・いもきんつば。(小学6年生)
- ・ぜいたく煮。(高校生世代)

④ 給食や家庭での食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日ごろから「もったない」「気を付けよう」と感じることはありますか



⑤ 食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしていますか

全体 (n=276)



意見

○農家について

- ・いつもおいしい野菜をありがとう!
- ・農家の方々、いつもお疲れ様です!おいしいお米や野菜をありがとうございます。

○農地について

- ・田畑を少し減らしてほしい。

○農業について

- ・農業をもっと広げてほしい
- ・大野でしか収穫することができない農作物を生産すべきだ。

○食について

- ・しもむらのボルガライスがとてもおいしいので大野の特産品としてもっと広めてほしいです。(いろんなところで食べたいです)
- ・私たちが食べている料理はだれかがいっしょうけんめい育てている物だから残さないようにしたい。また、残したら食品ロスにもなってしまうので、きちんと食べたい。
- ・すごくおいしい。食文化はいろいろ知れていいと思う。
- ・郷土料理を改良して、新しい商品を作ったり、特産品を使ったスイーツをもっと考案してほしい。
- ・おいしい ・おいしいものが食べたい。
- ・家庭内での食事の管理はとても大切だと思います。例えば親御さんたちがバランスのよい食事を作ってください家族にだすみたいな管理が必要だと思います。また大野の特産品をもっと市外、他県の人々にアピールする機会があるといいかなと思います。

○販売について

- ・関係ないけど道の駅大好きです。

○教育について

- ・学校行事として農業に触れられる機会があればいいなと思った。

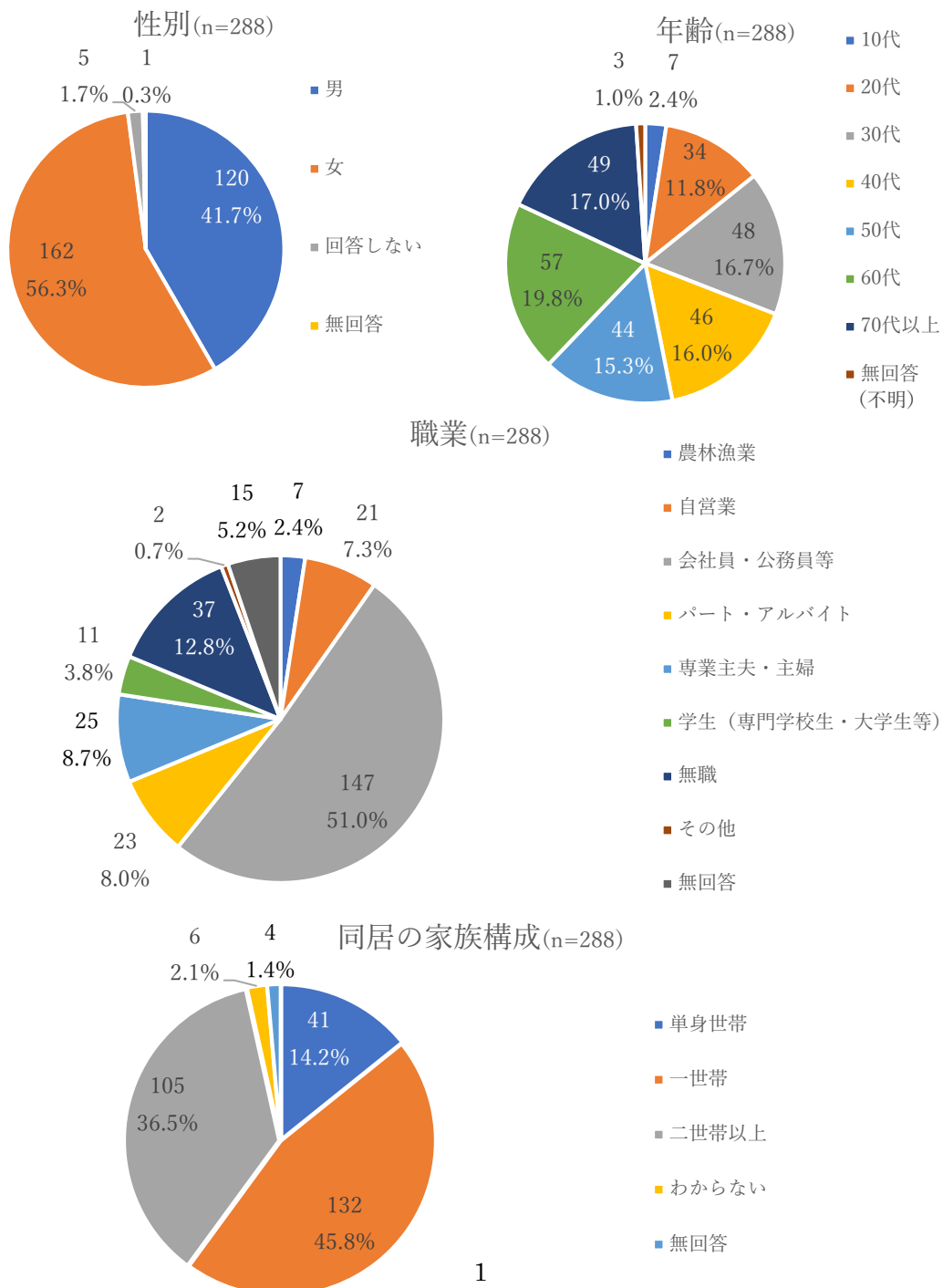
○その他

- ・大野の名産品があまり知られていない。とくに学生など。
- ・「もったいない」をもっと意識できると色々変わると思う。

食関係アンケート（大人）

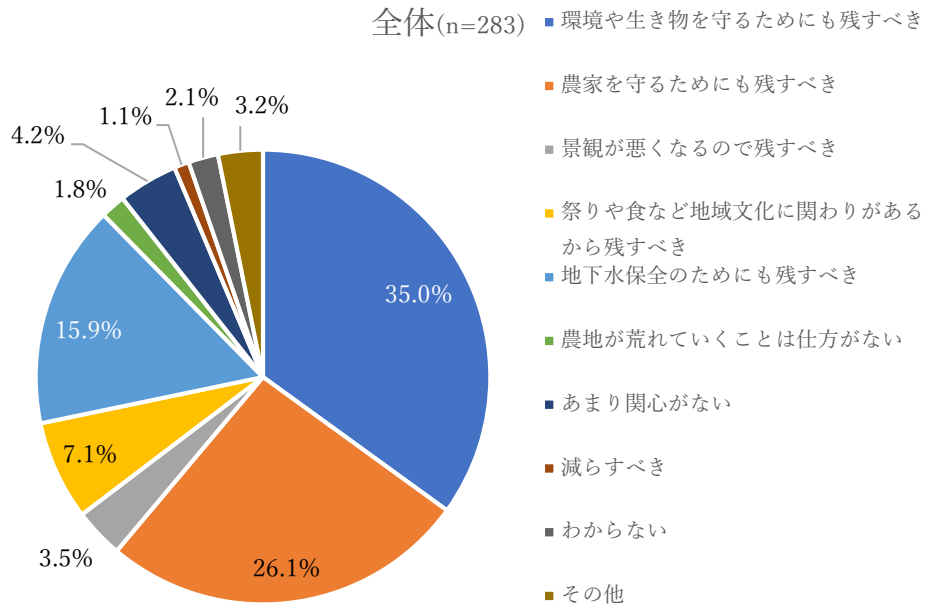
※調査結果の各グラフ中に記載しているnの値は、各質問に対する回答者数であり、比率算出の母数である。ただし、複数回答できる質問については、nの値は「対象者属性」中に示されている回答者数かつ比率算出の母数としており、対象者を限定している質問については、nの値はその対象者数かつ比率算出の母数としている。

対象者属性



農業との関わりについて

① 大野市内にある田や畑（農地）についてどのようにお考えですか ※特に1つ



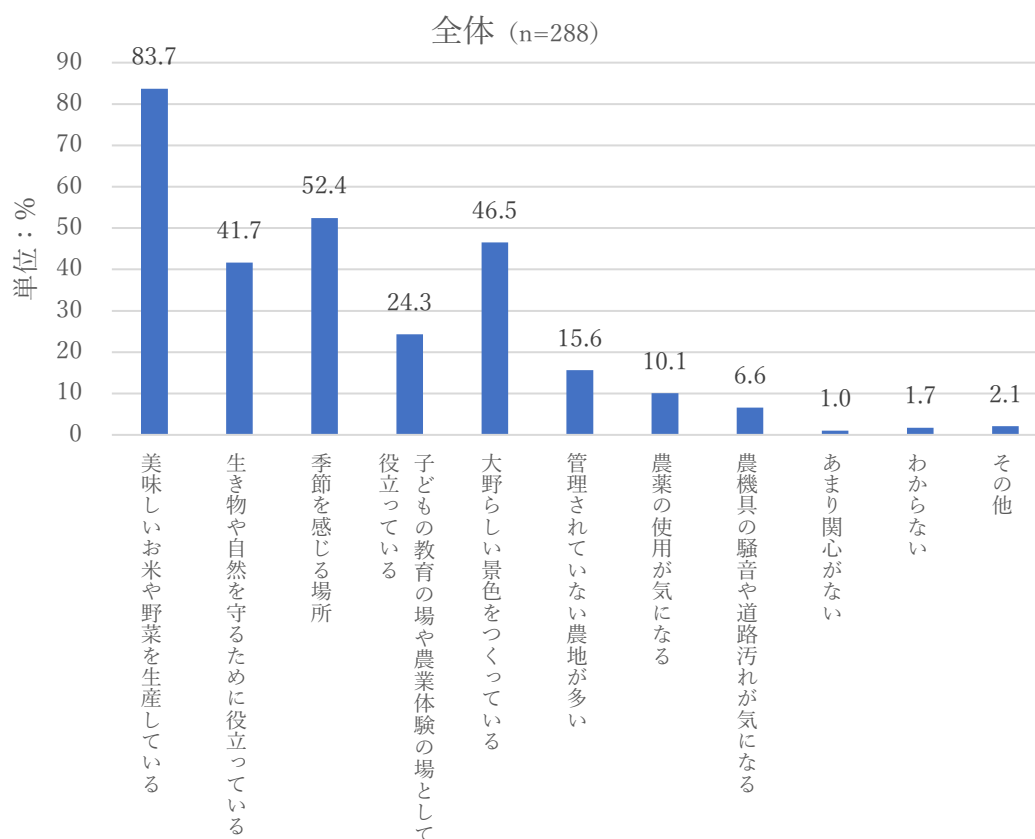
(減らすべき：理由)

- ・地権者本人が管理できていない農地が多すぎるため。(30代・男)
- ・中山間地域の維持は効率が悪く、人員も今後確保が難しい。(40代・男)
- ・荒地なだけだから。(40代・男)

(その他意見)

- ・担い手が農作業を効率的に行えるためにも、大区画化が必要だと思う。(20代・男)
- ・農地を減らすと地域ごとの特色がなくなる。どの地域も同じになる。(20代・男)
- ・残すか残さないかというより、必要だからあるんだろうなと思っている。(40代・女)
- ・生きていくためには欠かせないもの。(50代・男)
- ・他に活用できないのであれば管理農地は維持すべき。(50代・男)
- ・多くの農地を使用しない時は何に使うのか考えてほしい。(60代・男)
- ・用水路に流れ込む下水の整備が先だと思います。生活用水がそのまま川に流れ込むなんてとんでもないこと！(60代・女)
- ・作る人がいないのか、荒れているところが多くなってきた。草がのび放題。(70代以上・女)

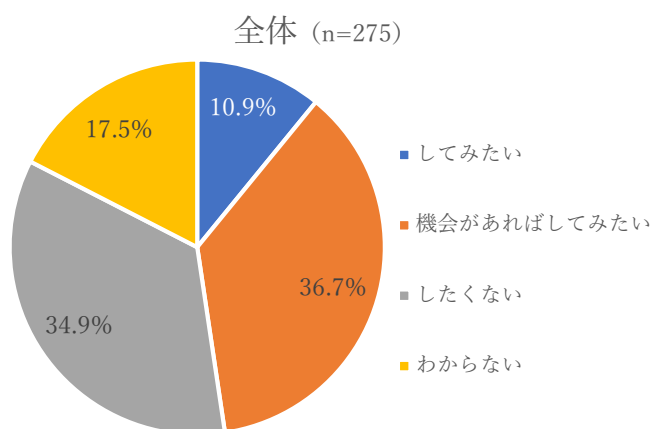
② 大野市の農業や農地に対して感じていることは何ですか ※あてはまるもの全て



(その他意見)

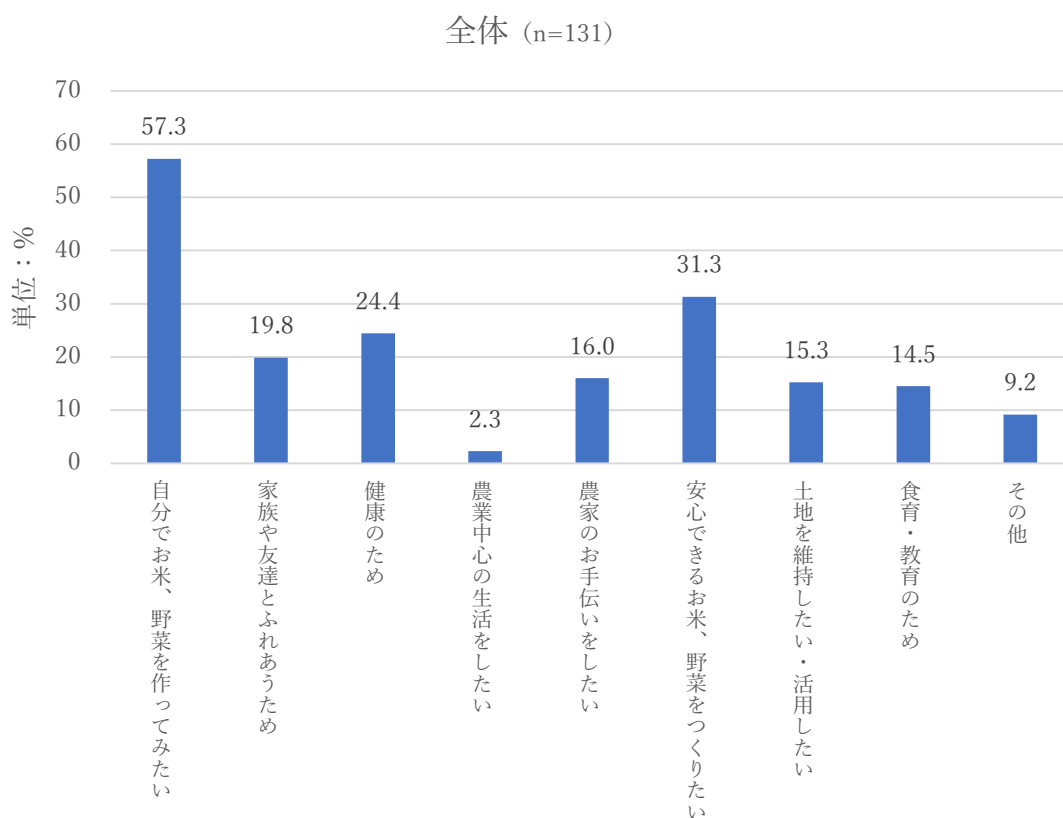
- ・高齢化や後継者不在などよく聞くので、将来を思うと心配になる。(20代・男)
- ・農業を兼業なら兼業としてのやり方を確立、専業なら専業としてのやり方を確立できるようにしたい。(20代・男)
- ・兼業農家や高齢者だけで作っている農家が多いので知識や技術が伝承されず、何台もの機械の入れ替えを売上が見合わず赤字で休む暇もないので若い人がしないのはしかたがない。機械のリースや共同購入、小グループでの共同農業(運搬車での農機具移動が困難。価格的にも見合わず、辞めていく人がいるので)許可してもらいたい。(30代・女)
- ・農地で作物を作る大事さを知ってほしい。(60代・男)
- ・地域のひとのつながりを大切にしながら農業が行われている野菜や米がたくさんあるので食糧危機に強いと思う。(60代・回答しない)
- ・地場の野菜等食したいです。(70代以上・女)

③ 農作業（農業）をしたいと思いませんか



④ どんな理由で農作業をしてみたいと考えていますか ※あてはまるもの全て

回答：対象③で「してみたい」「機会があればしてみたい」を選んだ人



(その他意見)

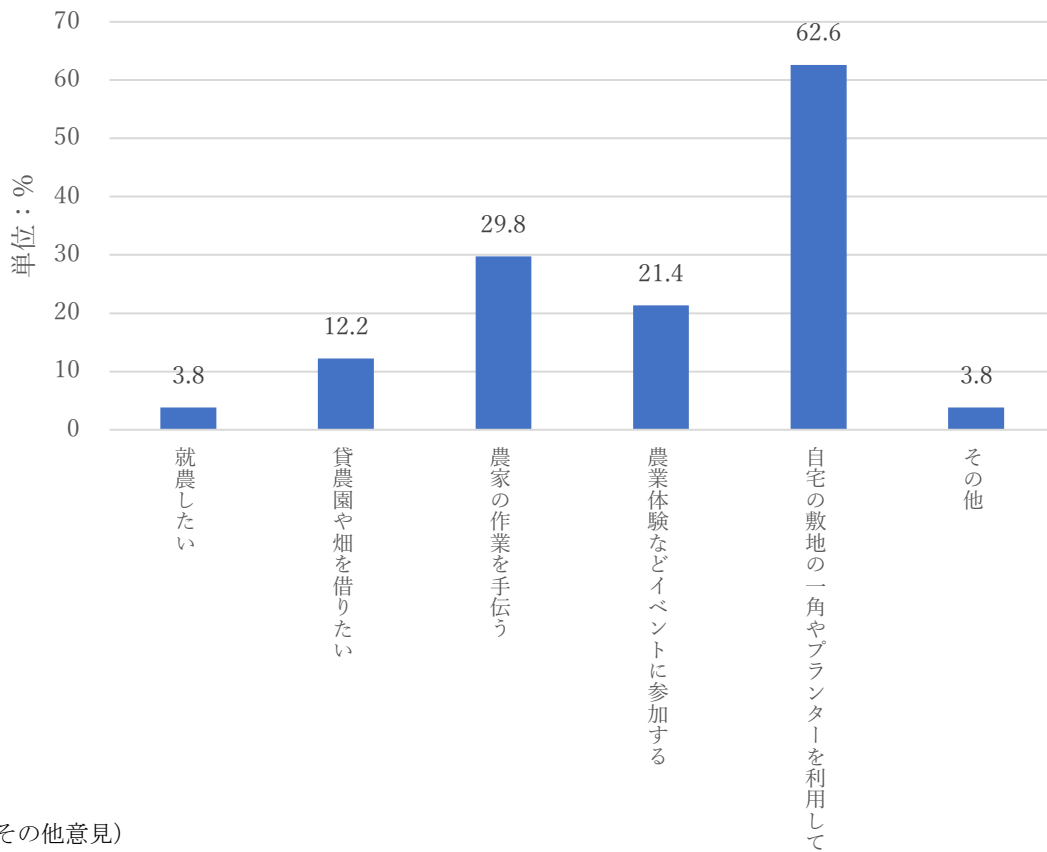
- ・老後の暇潰し。(20代・女) ・相続すると農地を所有することになるので。(20代・男)
- ・生活の安定。(今はよくても20年、30年先の生活)(20代・女)
- ・農業をしている。(計3者)(60代・男) ・していた。(60代・女)
- ・してみたいが高齢のためできない。(70代以上・女)

- ・畑が荒れるからしているが、かなり重労働になっている。草取りが大変である。(70代以上・女)
- ・野菜がとれたとき食するのは楽しみである。(70代以上・女)
- ・10代～50代でしたのでもうしたくない。体が動かないのでできない。(70代以上・女)
- ・生まれが農家だったので。(70代以上・女)
- ・私たちの命を維持し、守るために必要。社会や地域で生活すること、日本で生きることの根本を理解し、維持農業自身とその環境を守るために大事だと考える。(70代以上・女)

⑤ どのような農作業をしてみたいと思いますか ※あてはまるもの全て

回答：対象③で「してみたい」「機会があればしてみたい」を選んだ人

全体 (n=131)

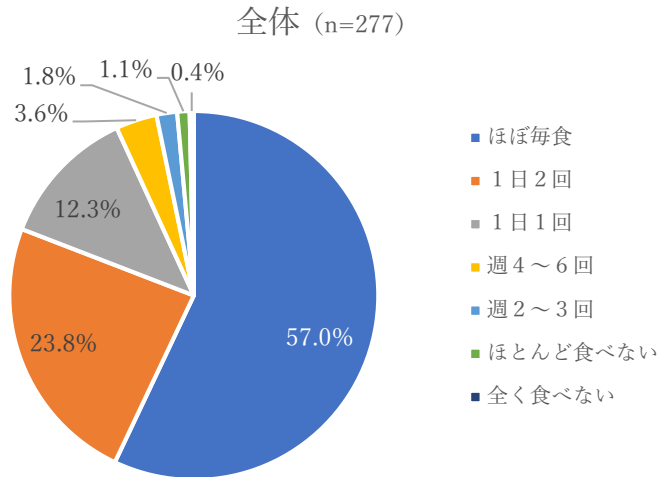


(その他意見)

- ・兼業で、一般的な農家の農地面積の約2haを週1日の管理で耕作できる農作業。(やり方や工夫があれば)(20代・男)
- ・自分の土地で畑をやってます。(50代・女)
- ・自分で好きな野菜を育てる楽しみ、食する楽しみ。(60代・女)
- ・現在プランターで行っている。トマト、ピーマン、きゅうり等。(60代・女)
- ・現在は、近所の方が畑を貸してくださっていて、色々教えてくださる。そのことを通して地域の人たちとより親しくなる。農家の方は誠にごんばっておられることに感動し、尊敬しています。農業とそのための作業を知る必要があると思います。(70代以上・女)

地元産品の利用（地産地消）について…お米

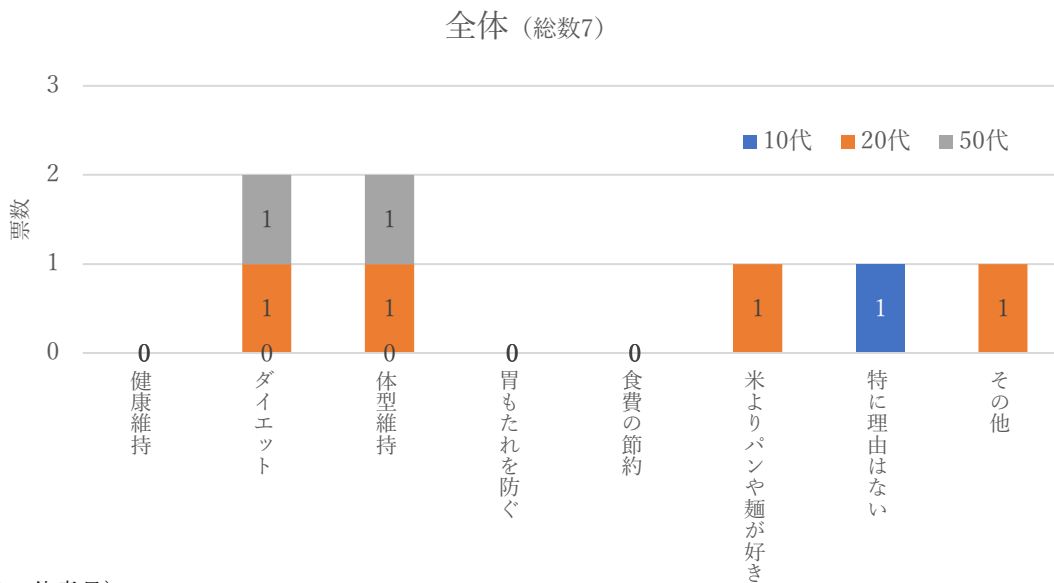
① 普段お米を食べていますか



② お米を食べない人にお聞きします。お米を食べない理由はなんですか

※あてはまるもの全て

回答：「ほとんど食べない」「全く食べない」と回答した人を「お米を食べない人」として集計。

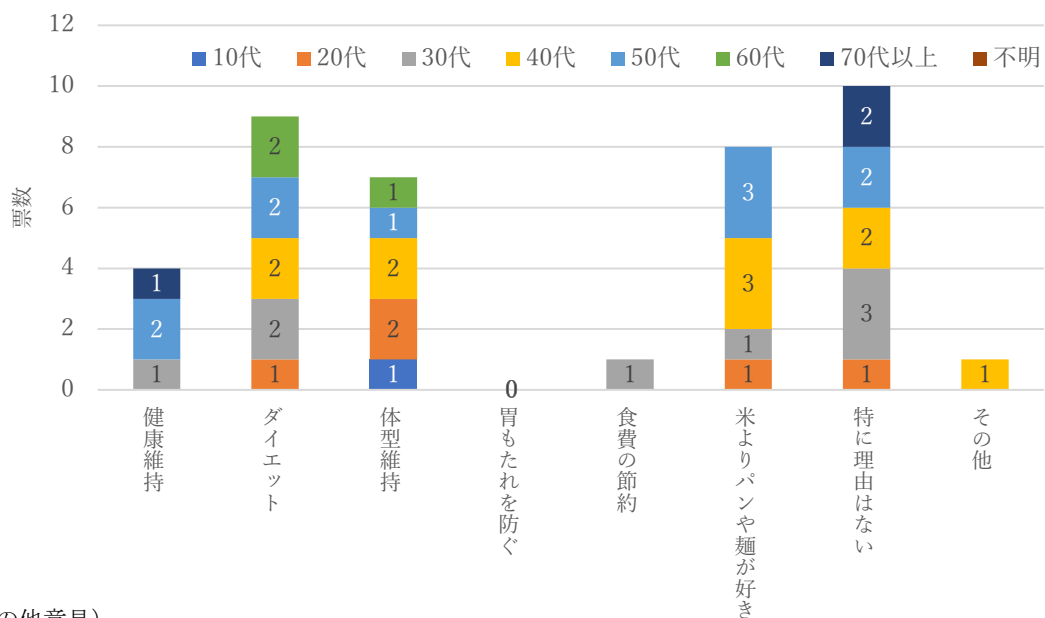


(その他意見)

- ・味がついていないと食べられない。小さい時からパンばかり食べていたため。(20代・女)

補足※米を食べている人が食べない場合の理由

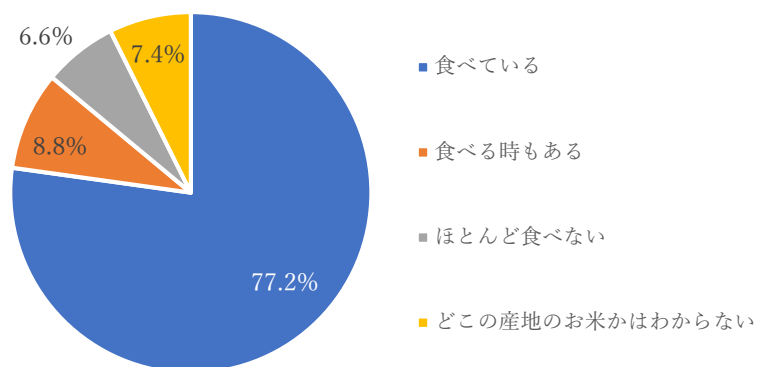
全体（総数40）



・夕食は日本酒を飲むので、ご飯を食べない。お酒がご飯の代わりです。(40代・男)

③ お米を食べている方にお聞きします。大野市産のお米を食べていますか

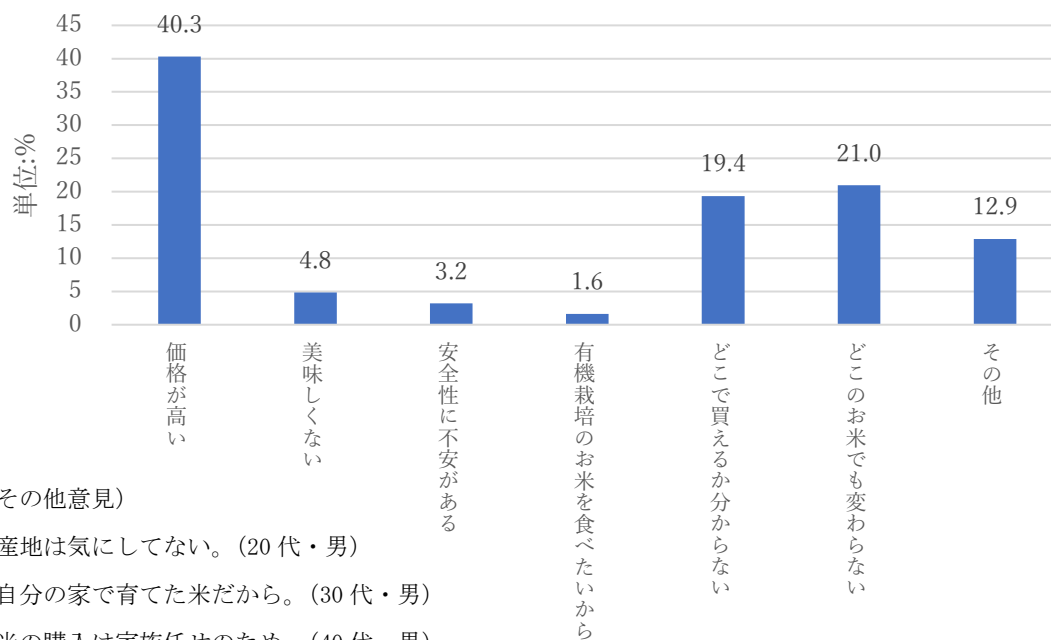
全体 (n=272)



④ 大野市産のお米を食べない理由

回答：③で「食べている」を選んだ以外の人 ※あてはまるもの全て

全体 (n=62)

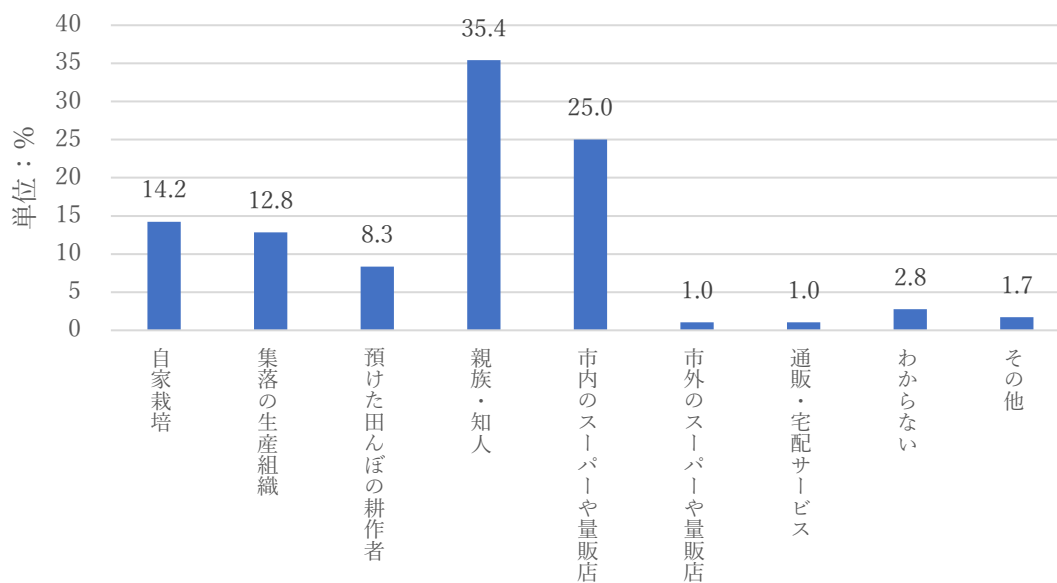


(その他意見)

- ・産地は気にしてない。(20代・男)
- ・自分の家で育てた米だから。(30代・男)
- ・米の購入は家族任せのため。(40代・男)
- ・県産米として買っている。(40代・女) ・いちほまれが好きだから (50代・男)
- ・下水の整備が整っていないくて市内のお米など気持ち悪くて食べられません。(60代・女)
- ・2kgくらいしか買わないのでスーパーで2kg袋を買っている。(60代・回答しない)
- ・スーパーで福井県産を買います。(70代以上・女)

⑤ 普段、お米はどこで入手していますか (もらっていますか) ※あてはまるもの全て

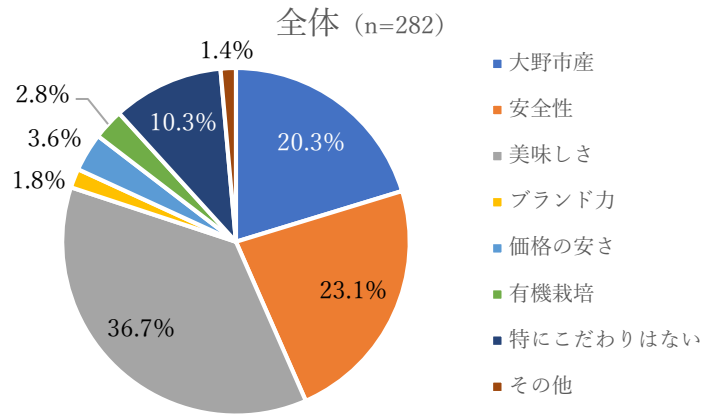
全体 (n=288)



(その他意見)

- ・食料支援サービス。(30代・女) ・アバンセ。(40代・男)
- ・お米屋さん。(計2者)(50代・女) ・道の駅。(60代・男)

⑥ 普段食べるお米に関して求めていることはなんですか ※一番重要なものだと思うもの1つ

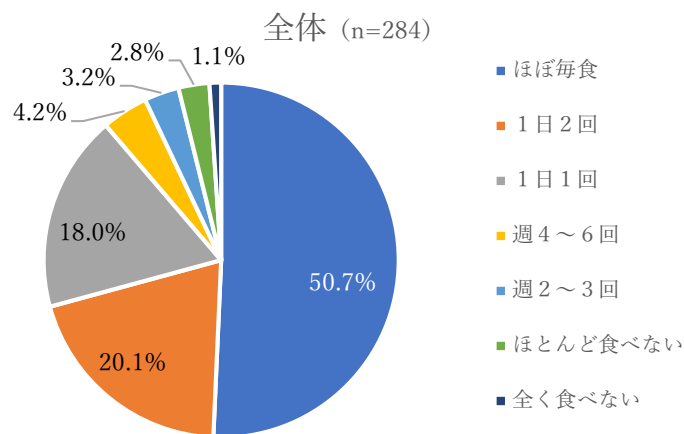


(その他意見)

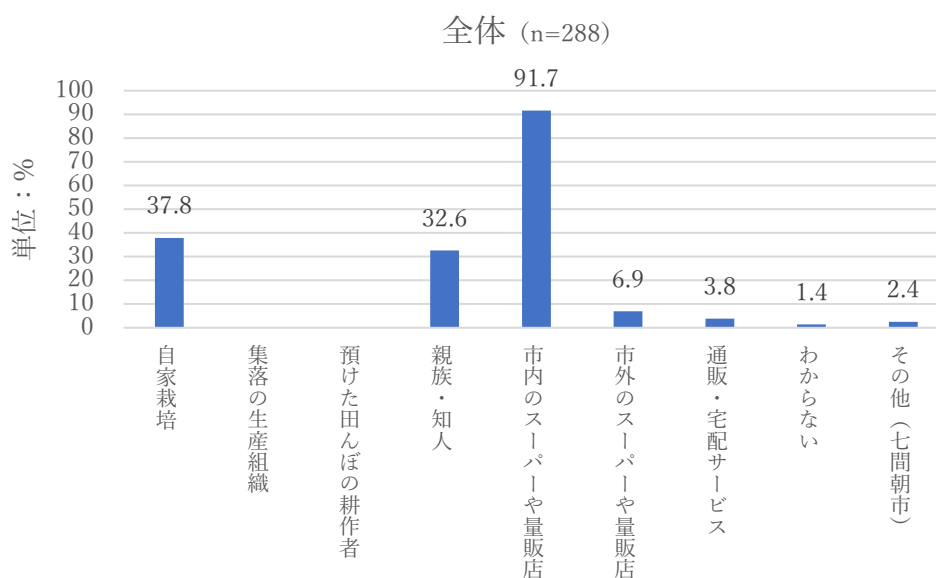
- ・自家栽培しているお米を食べること。(20代・男) ・自分の家で作ったものを食べている。(20代・男)
- ・耕作者を知っている。(30代・女) ・生産組合アバンセのお米。(70代以上・女)

地元産品の利用（地産地消）について…野菜

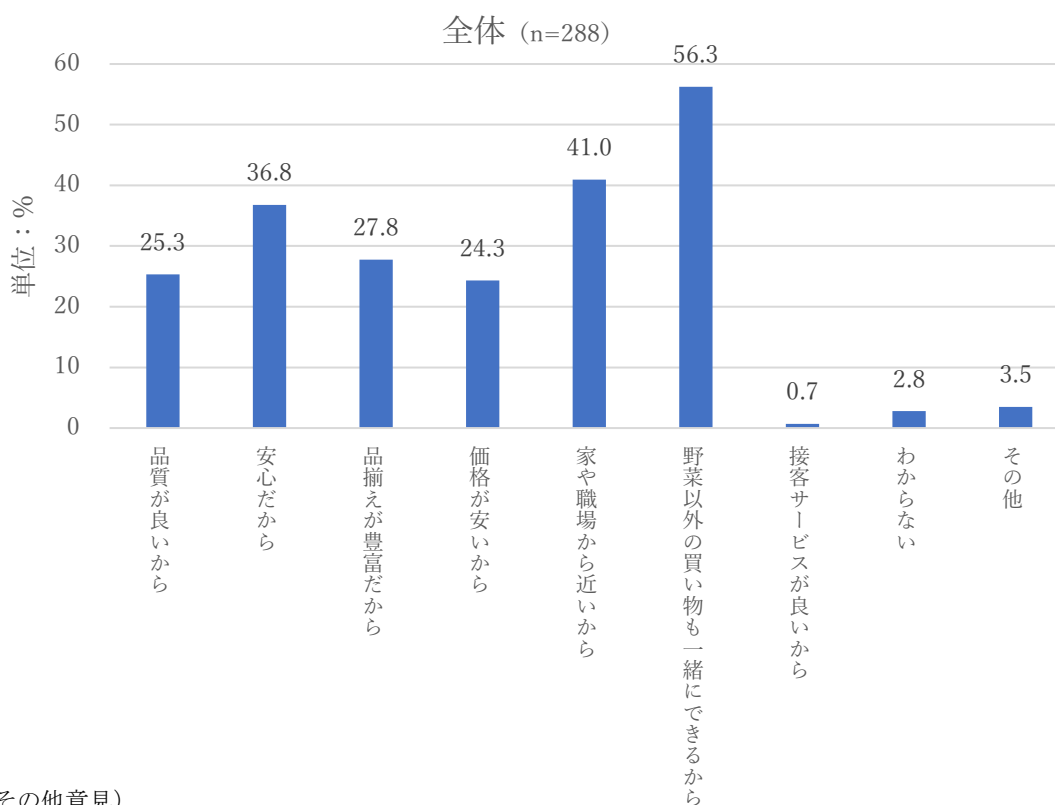
① 普段野菜を食べていますか



② 普段野菜はどこで入手することが多いですか ※多いもの3つまで



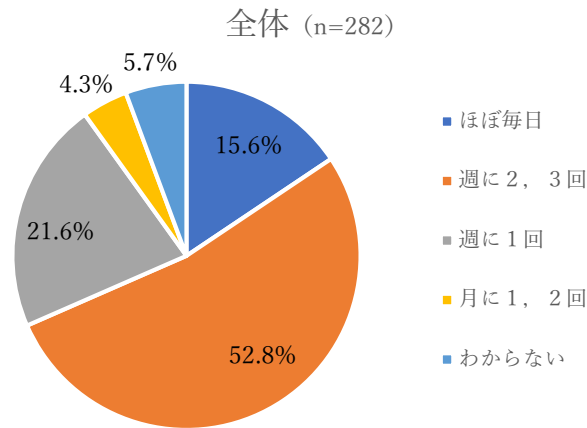
③ 上記で野菜を入手されている理由は何ですか ※あてはまるもの全て



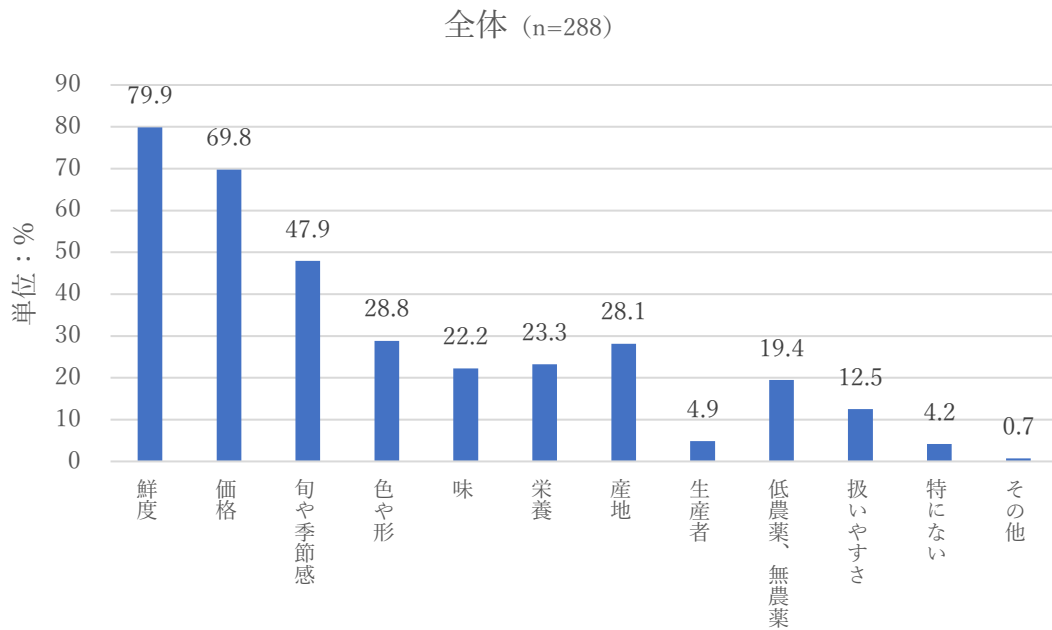
- ・苦勞せずに直ぐに入手できる点。(20代・男)
- ・足りないものは購入するため。(40代・男)
- ・親戚等からもらえるから。(計3者)(40代・男)
- ・自家栽培の野菜を消費する為。(40代・女)
- ・買う所がそこだけだから。(50代・男)
- ・家がないものを買う。(60代・男)

- ・考えても仕方ない、時間もなく、近所のスーパーで購入。(60代・女)
- ・いただきものは無駄にせず、大事にいただきたい。旬の白米は豊富だから余ったり、くさったりさせないようにいただくことが大事だと思います。(70代以上・女)

④ 野菜を購入する頻度はどれくらいですか



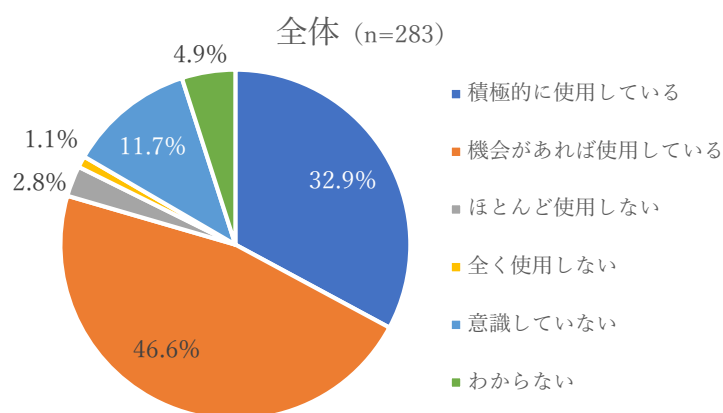
⑤ 野菜を購入する際に、どのようなことに注意して選んでいますか ※あてはまるもの全て



(その他意見)

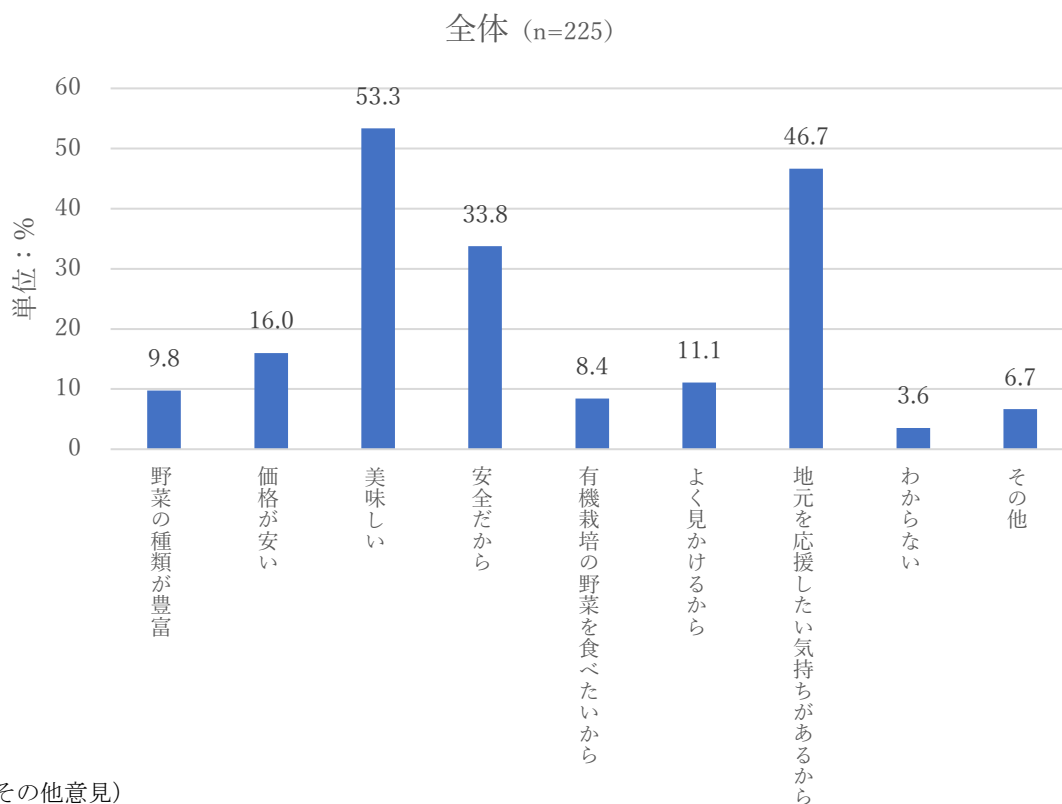
- ・自分で作っている野菜を殆んど使用。(70代以上・女)
- ・経済的なこともあるのであまりこだわらずにいただきたいと考えています。(70代以上・女)

⑥ 大野市産の野菜の使用について



⑦ 大野市産の野菜を使用する理由

回答：⑥で「積極的に使用している」「機会があれば使用している」を選んだ人※あてはまるもの全て



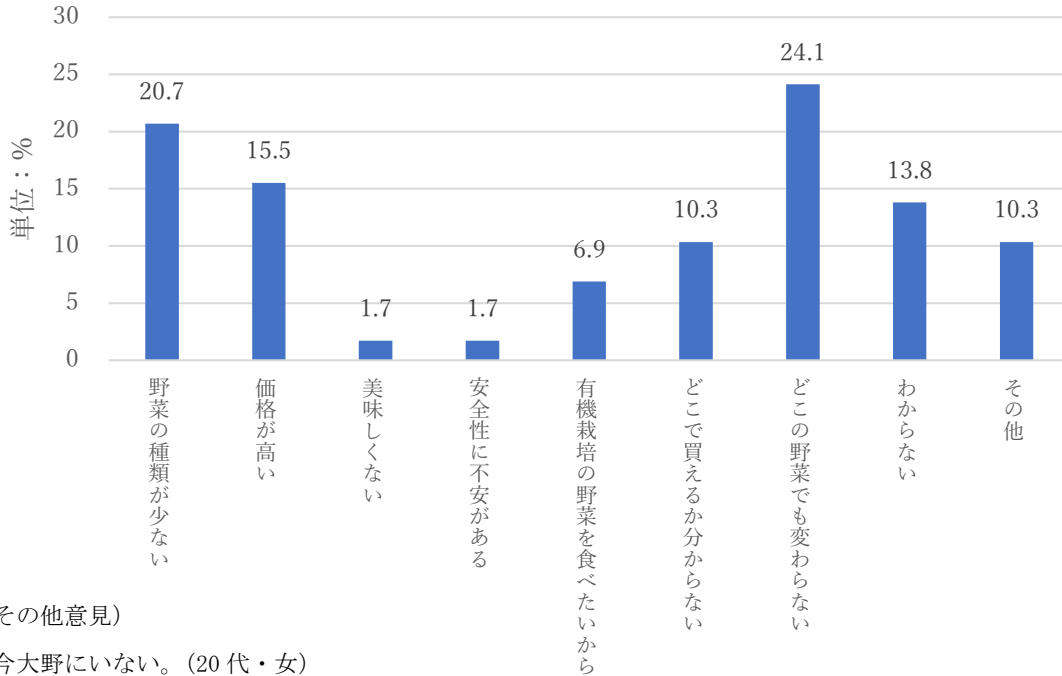
(その他意見)

- ・家族が栽培しているから。(20代・男) ・自家栽培しているから。(計2者)(30代・女・男)
- ・新鮮だから。(40代・女) ・自家栽培しているから。(40代・女)
- ・親戚等からもらえるから。(計3者)(40代・男) ・いただきもの。(40代・女)
- ・栽培しているから。(50代・男) ・親戚の方から頂く。(50代・男)
- ・自家栽培の野菜を使用。(60代・女) ・新鮮。(60代・男) ・スーパー。(70代以上・女)
- ・地元で作っていただけるものを大事にしたい。(70代以上・女)

⑧ 大野市産の野菜を使用しない理由 ※あてはまるもの全て

回答：⑥で「積極的に使用している」「機会があれば使用している」を選んだ以外の人

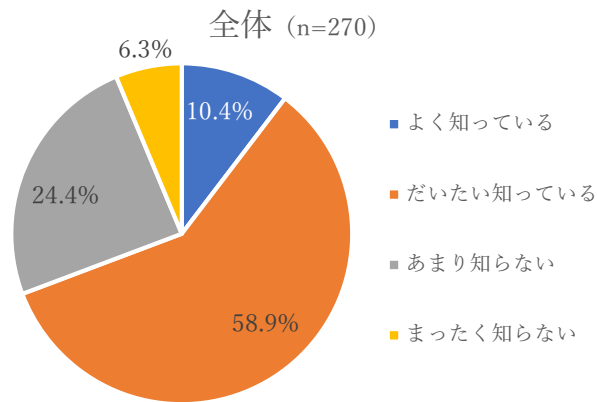
全体 (n=58)



(その他意見)

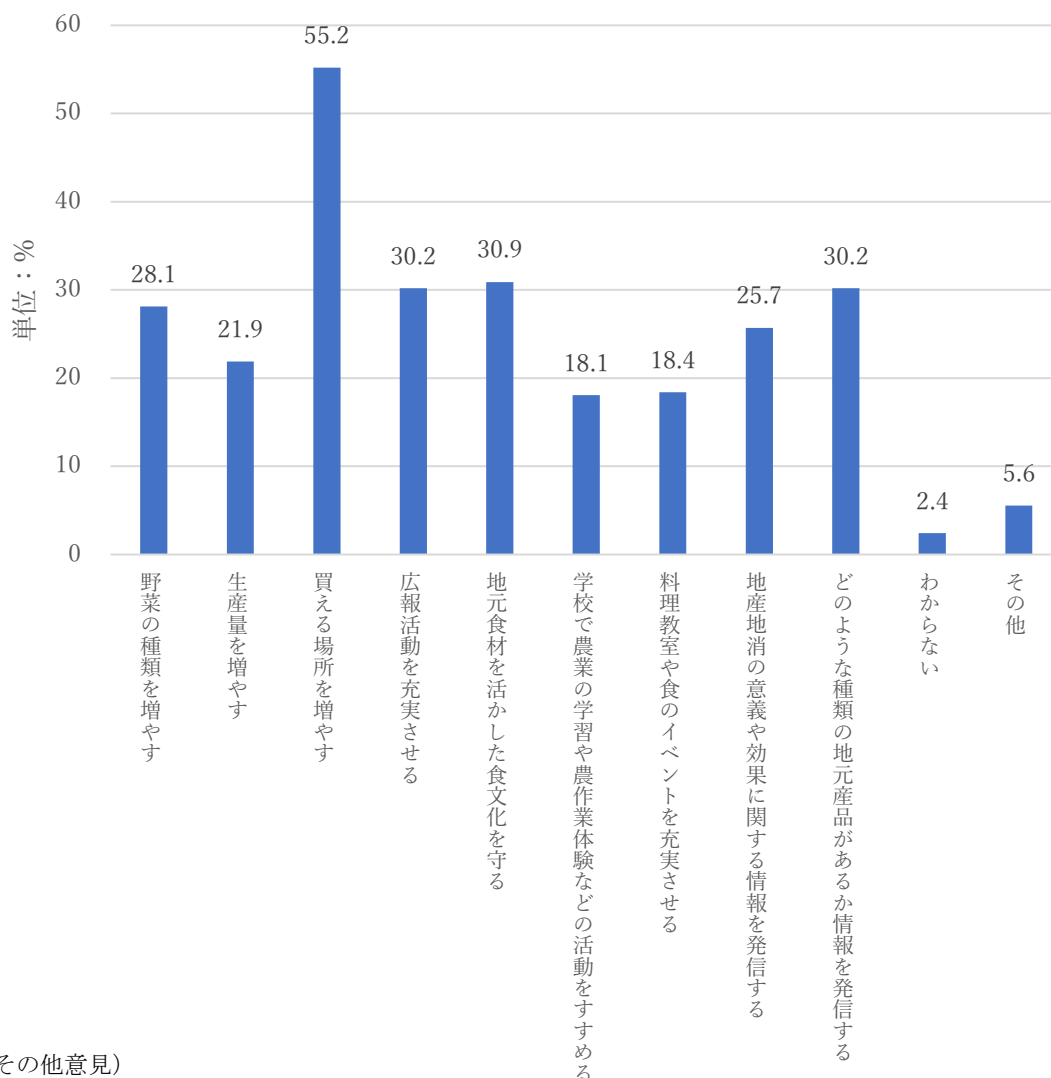
- ・今大野にいない。(20代・女)
- ・産地を気にしてない。(20代・男)
- ・自家栽培だから必要な野菜は大抵県外産になる。(40代・男) ・親戚の方から頂く。(50代・男)
- ・ねんりん等に行ってもほとんど野菜もなく意味がない。(50代・男)
- ・年寄りの昔感覚で作る田畑の仕事を見ているから。畑で尿をしたり、痰を吐いたり、衛生面が不潔。(60代・女)

⑨ 大野市産の野菜の旬の時期をご存じですか



⑩ 地産地消のために、どんなことが必要だと思いますか ※あてはまるもの全て

全体 (n=288)



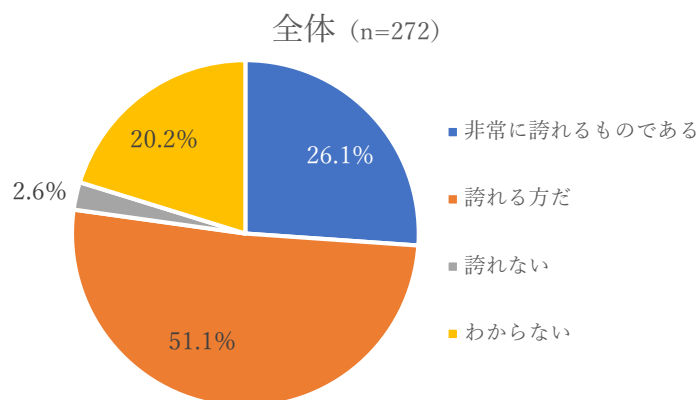
(その他意見)

- ・発信力のあるシェフなどを活用して地元の食材を使った料理をつくってもらおう。(20代・男)
- ・珍しい種類の野菜を食べ方と一緒に売って欲しいです。(20代・女)
- ・消費量を予測する。(30代・男) ・メリットが見当たらない。(30代・女)
- ・食べられればよいという人が多いのでその意識改革からだと思う。(40代・男)
- ・価格をおさえる。(40代・女) ・低価格での提供。(40代・男)
- ・加工品、新商品を作る。(40代・女) ・普段使いやすい、低価格でレアな野菜栽培。(50代・男)
- ・値段を安くする。(50代・男) ・価格を安くする。(60代・男)
- ・価格を他産地より安いか同等にする。(60代・女) ・価格が高い場合がある。(60代・女)
- ・価格をもっと安くしてほしい。(70代以上・女)
- ・もう少し値が安くなるとよい。(形が変形していてもよい) (70代以上・女)
- ・まず、大野市民の第一次産業を維持し、発展させることに大野市民が全面的に協力できるように、生産

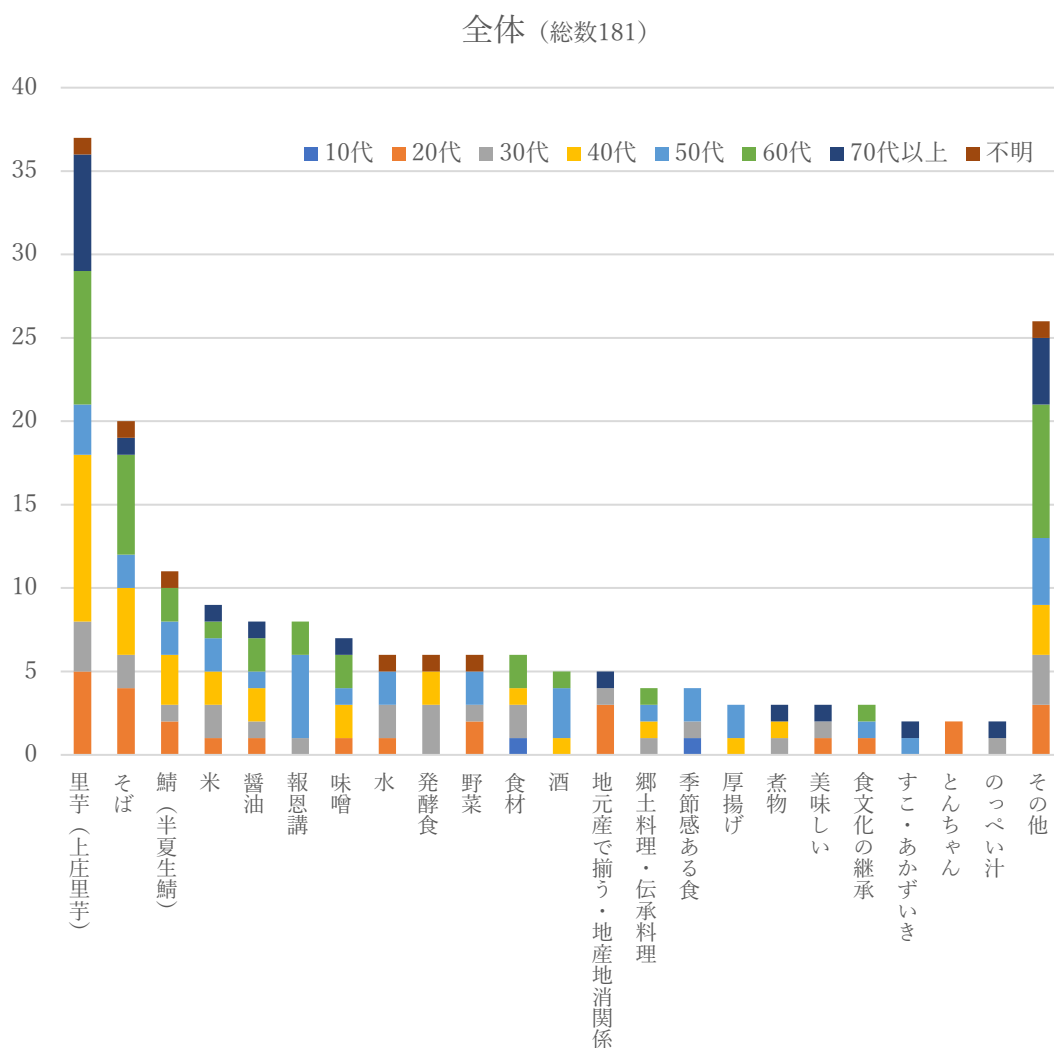
者と消費者側両方大野市が応援(人材、経済などに支援)する仕組みが必要だと思います。大野の産物をまず大野の人が購入できるように。そして大野の第一次産業を支える。(70代以上・女)

食文化について

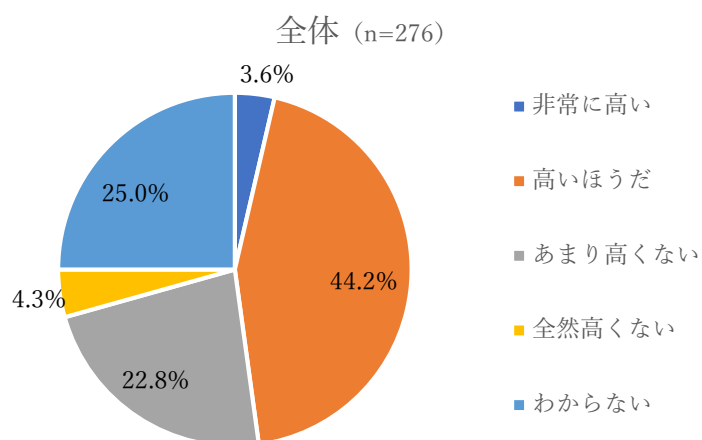
① 大野の食文化は誇れると思いますか※ () 内は誇れる食文化について具体的に教えてください



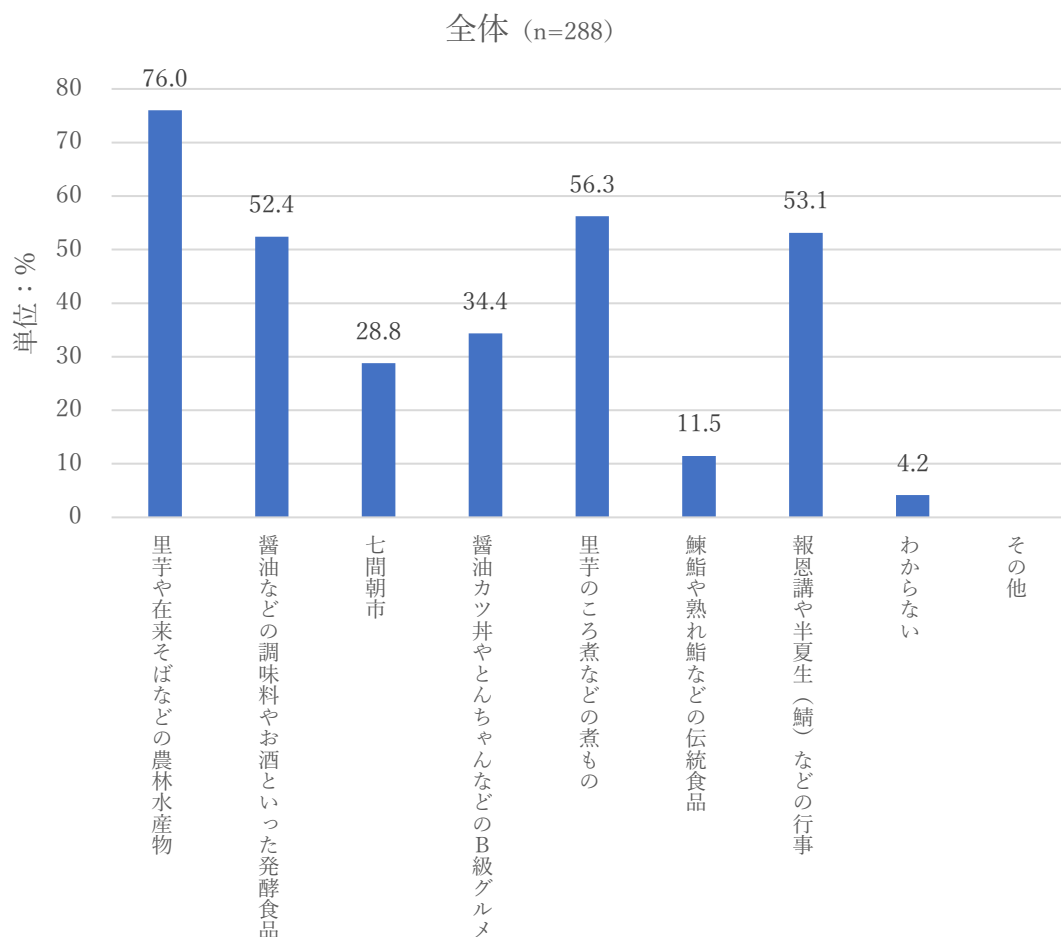
※誇れる食文化として挙げたもの



② 大野市民の食文化に対する意識は高いと思いますか



③ 大野らしい食文化は何だと思いますか ※あてはまるもの全て

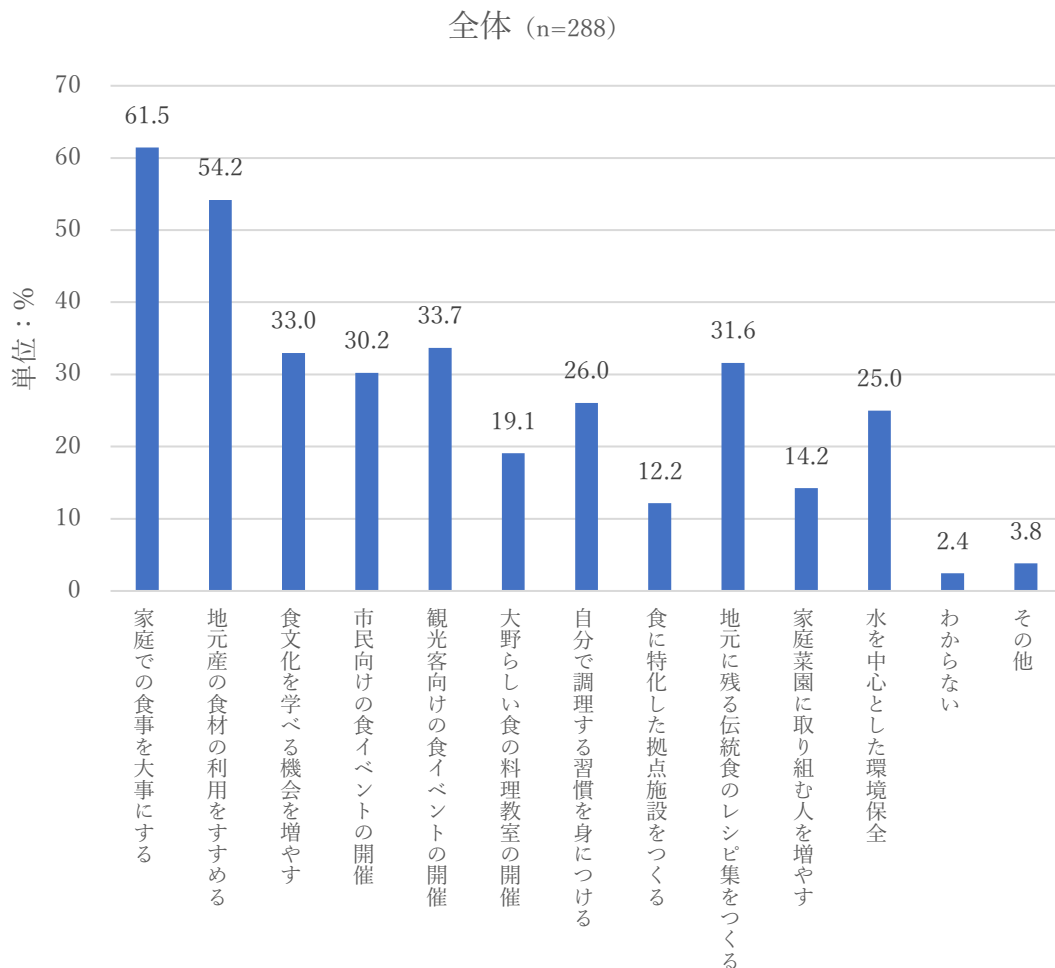


(その他意見)

- ・米菓やスイーツ。(20代・女) ・まったくない。(50代・女)
- ・七間朝市はわざわざ県外者の人々に来てもらうほどのものではない。騙しているようなものだと思う。(60代・女)

- ・評価が上がると価格がすぐに上がる。行事、イベント価格も高いから買いにくい。(60代・女)
- ・水。(60代・男)
- ・自分もあまり知らないので申し訳ないですが、少し高いような気もしないでない。(70代以上・女)

④ 未来に大野の食文化を伝えるために必要なことは何だと思えますか※あてはまるもの全て



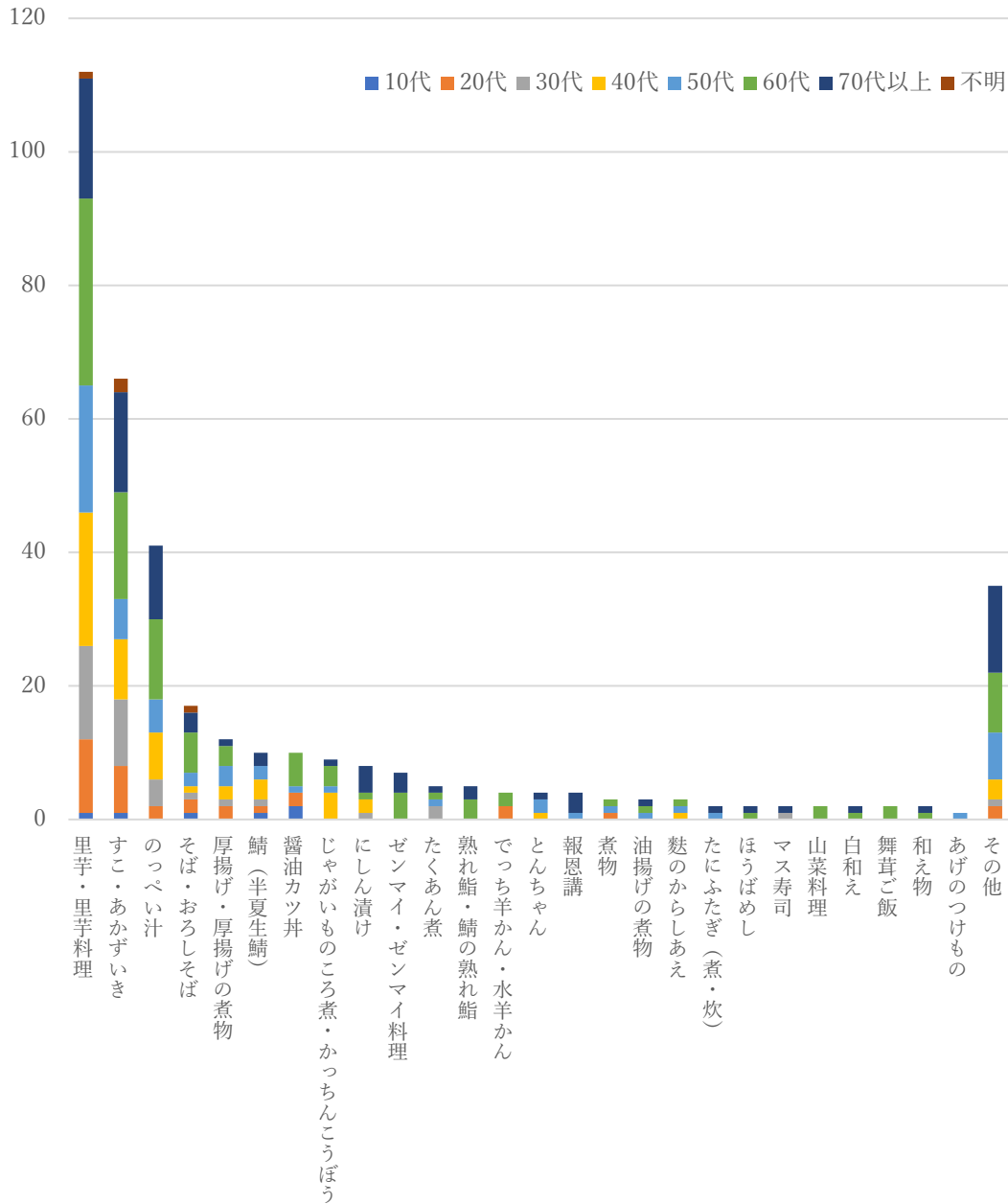
(その他意見)

- ・飲食店が伝承し続ける。(20代・男)
- ・大野の食材を使った料理がでてくる回転ずしのテーマパークを建設。(20代・男)
- ・SNSでのレシピの発信。(20代・女) ・やる気を起こさせる。(きっかけが欲しい) (20代・女)
- ・子供に大事だと伝える。(30代・男) ・食博へ参加するなどしては？ (40代・男)
- ・奥越地域以外の人達に大野の食材や調味料を使った家庭料理を広める動画配信や大都市圏の料理店に大野の食材を使って貰って料理を提出する。(40代・男)
- ・子供たちが食べる機会を増やす。(60代・男) ・学校給食で地元産使用はいいことだ。(60代・女)
- ・食に特化した拠点施設は既にあるのにまた施設？おかしい。(60代・女)
- ・給食や家庭科の学習を通した小中学校教育がもっとも大切。食べるものを作り、維持し、発展させるこ

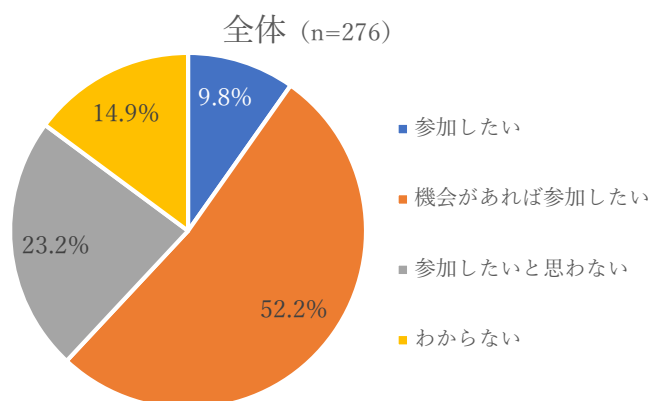
とはそこに住む人の生活を守り、人の集団である地域を守り、発展させることにつながる。また、地域の人々の新しいつながりを作る。助け合うことができる。(70代以上・女)

⑤ あなたが知っている郷土料理を教えてください

全体 (総数373)

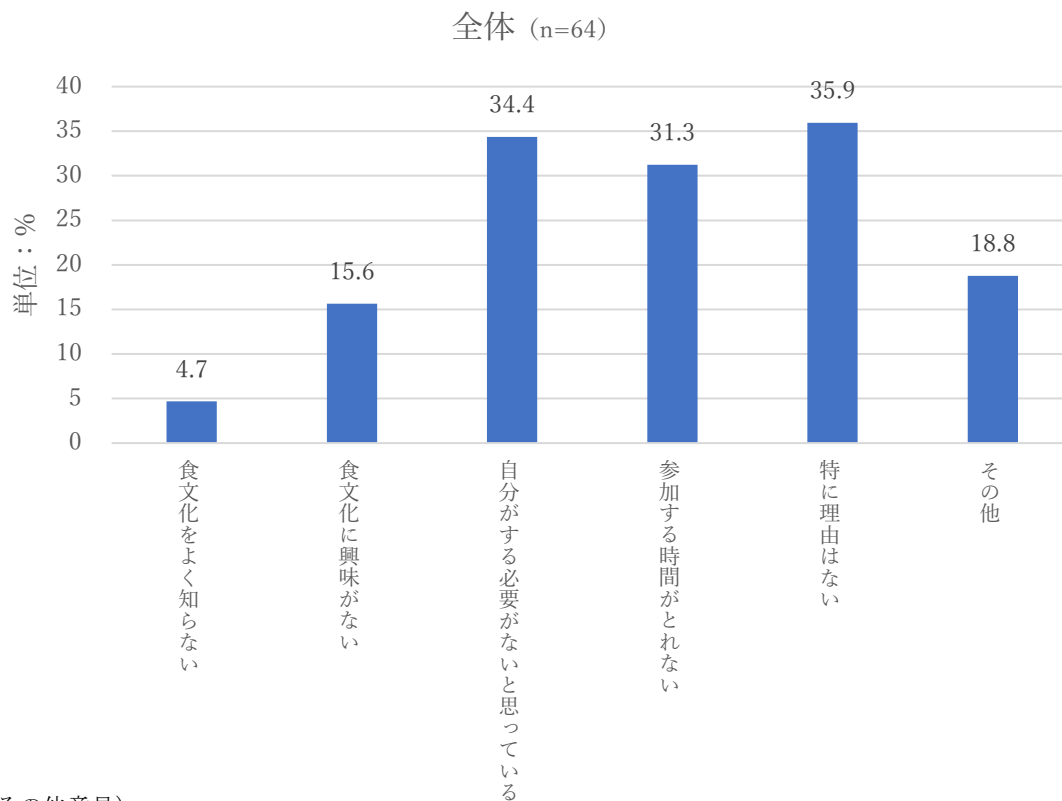


⑥ 大野の食文化についての講座があれば参加しますか



⑦ 参加したいと思わない理由は何ですか

回答：※⑥で「思わない」を選んだ人 ※あてはまるもの全て

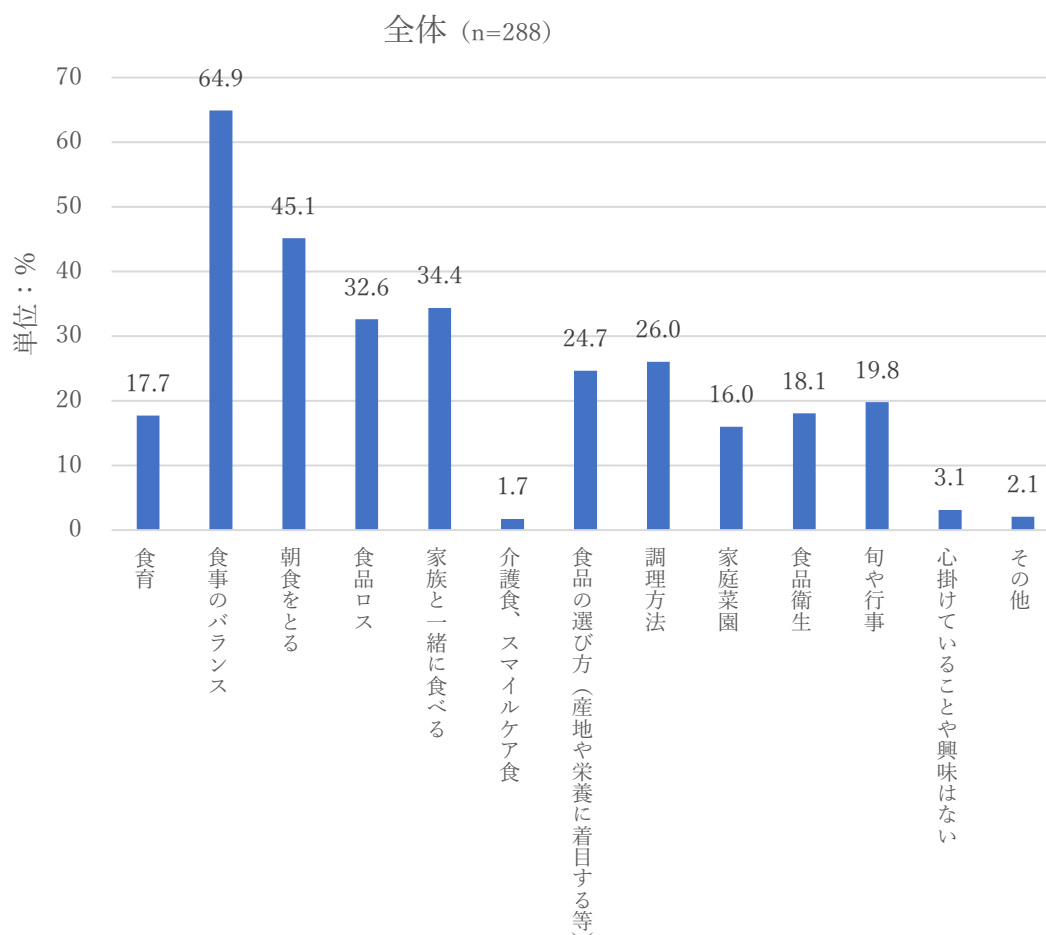


(その他意見)

- ・郷土野菜を使ったアレンジレシピ、写真映えするものなら参加したいです。(20代・女)
- ・めんどくさい。(20代・男) ・外食できないから。(30代・女)
- ・農家なので家から学んでいる。(30代・男)
- ・調理方法はネットで調べれば簡単にできるものが、たくさんある為。(30代・女)
- ・家で気軽に見れるHPやYouTubeなどでしてほしい。(30代・女) ・まずは試食。(40代・女)
- ・おいしいものがない。レシピが単純。(50代・女) ・レシピ本があれば良い。(60代・女)

- ・リウマチを患って、手で料理ができない。同居しているお嫁さんに作ってもらっている。(70代以上・女)
- ・年だから。(計2者)(70代以上・女)

⑧ 食について心掛けていること、興味があることは何ですか ※あてはまるもの全て

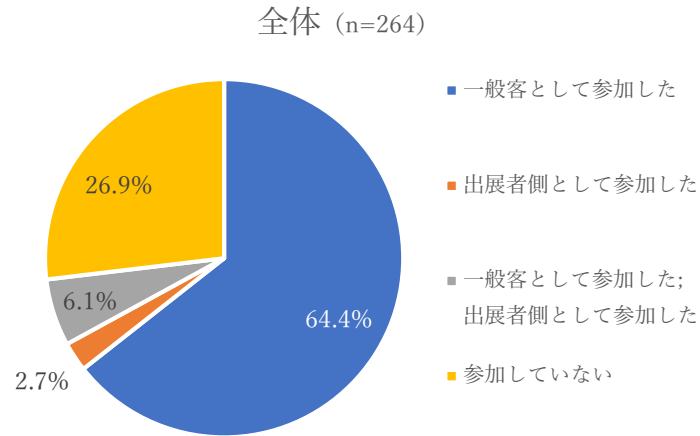


(その他意見)

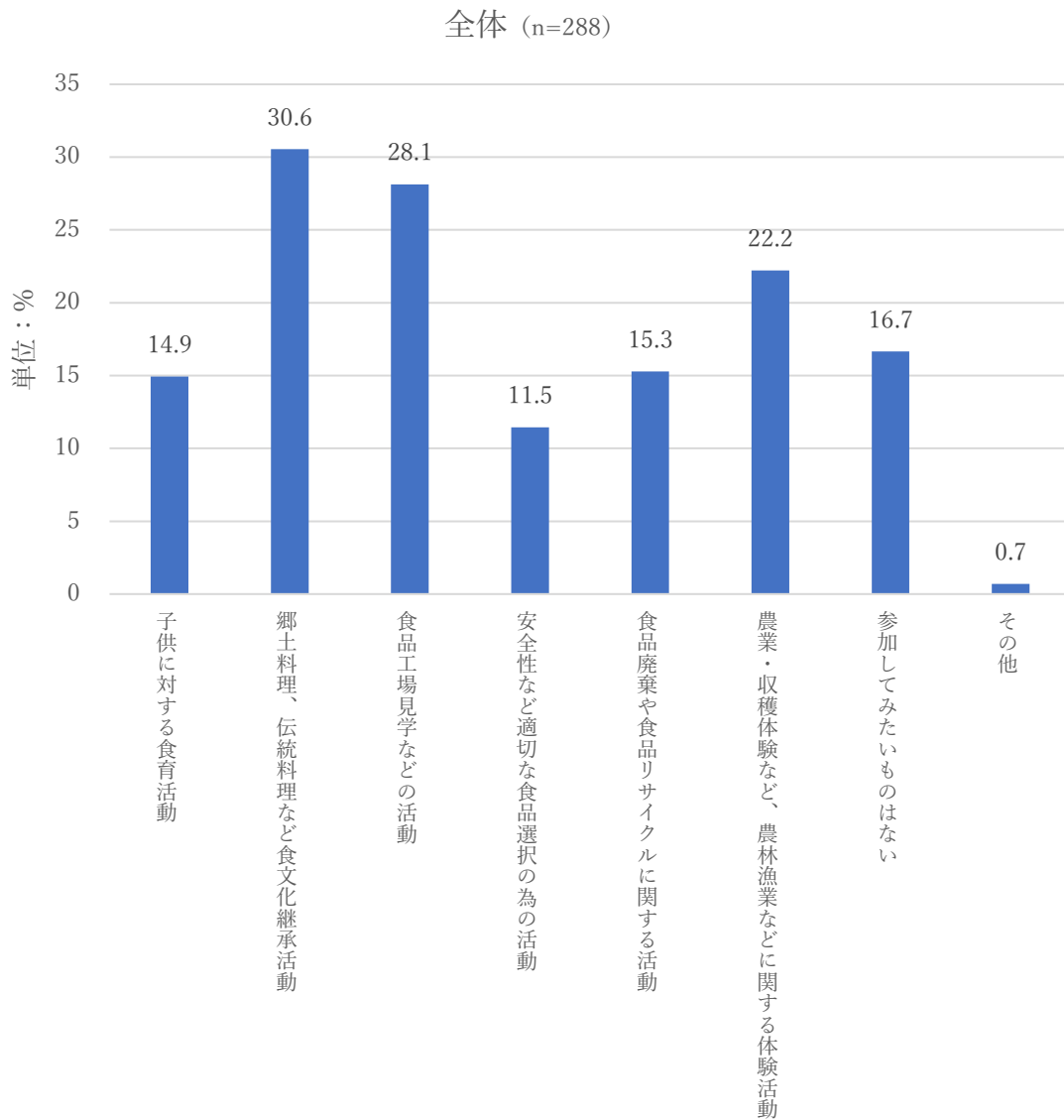
- ・不自然な食品(添加物)、体質に合わないものを食べない。(30代・女) ・健康。(30代・男)
- ・発酵食品に興味があり、自ら麴などを作り、食に取り入れている。(60代・女)
- ・食べ過ぎに注意している。(60代・男) ・なるべく薄味にする。(70代以上・女)
- ・食事のバランス考えていますが、なかなかそのようにはいきません。(70代以上・女)

その他

① 農や食のイベントに参加したことがありますか



② 参加してみたい活動はありますか ※3つまで

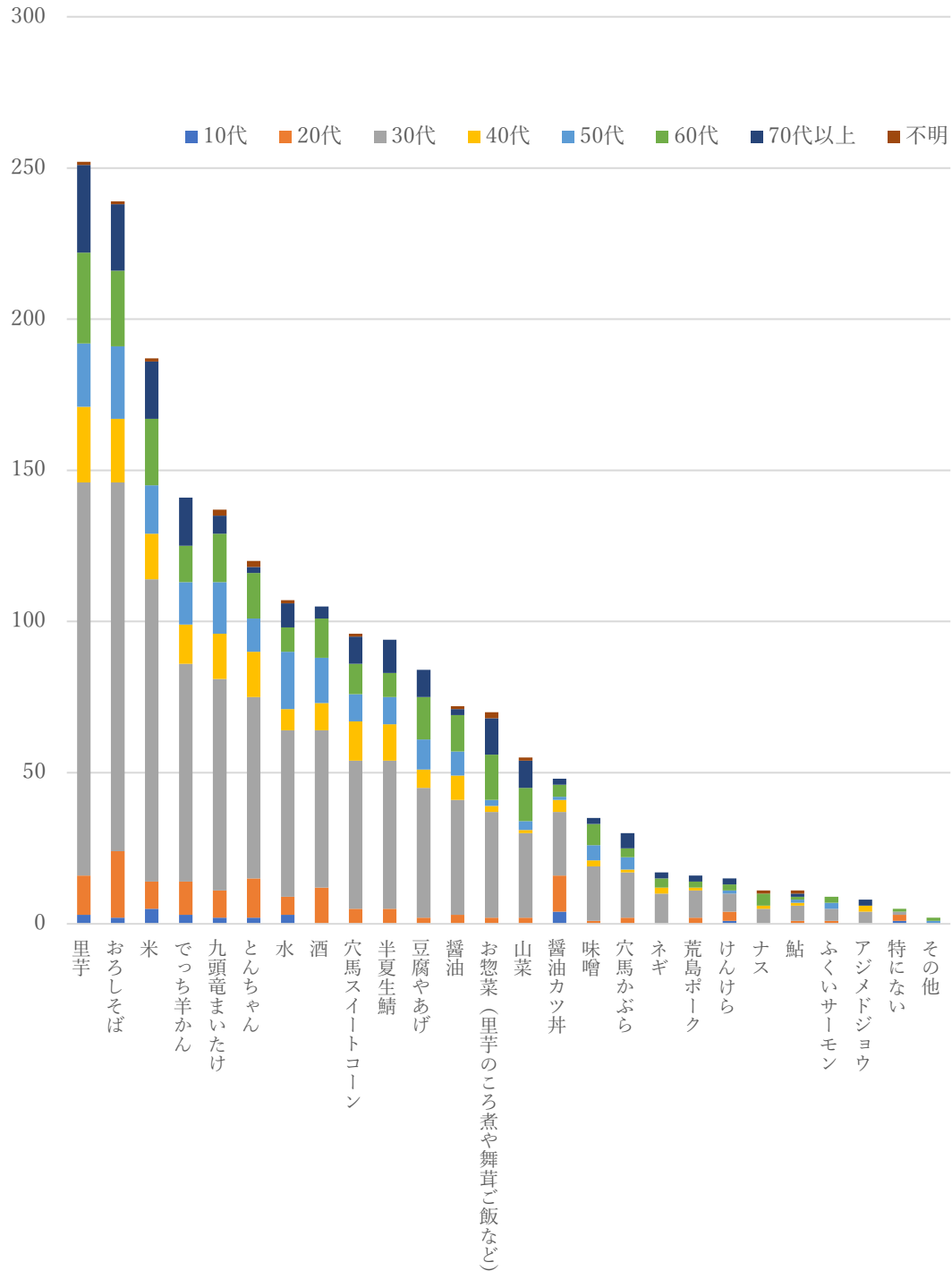


(その他意見)

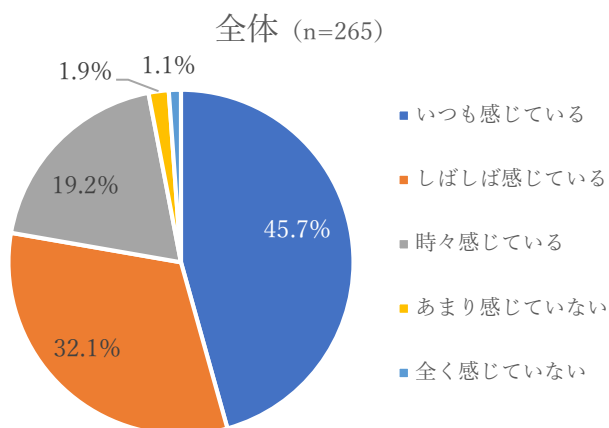
- ・野菜の育て方講座。(30代・男)
- ・活動はできないが応援したい。(60代・男)

③ 大野の食で、市外の人に食べてもらいたいものは何ですか ※5つまで

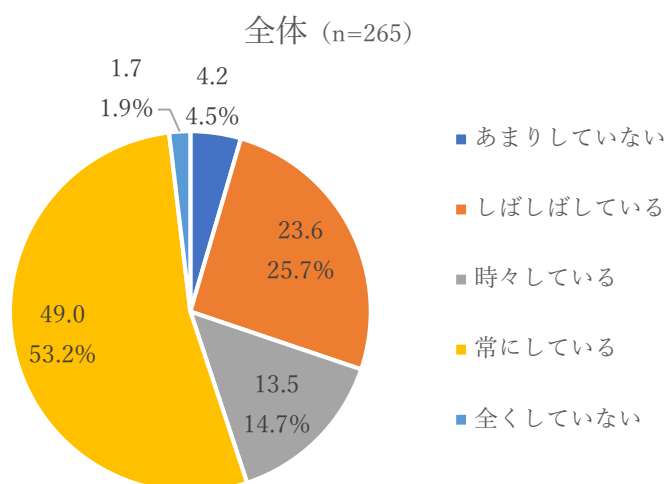
全体 (総数1,966)



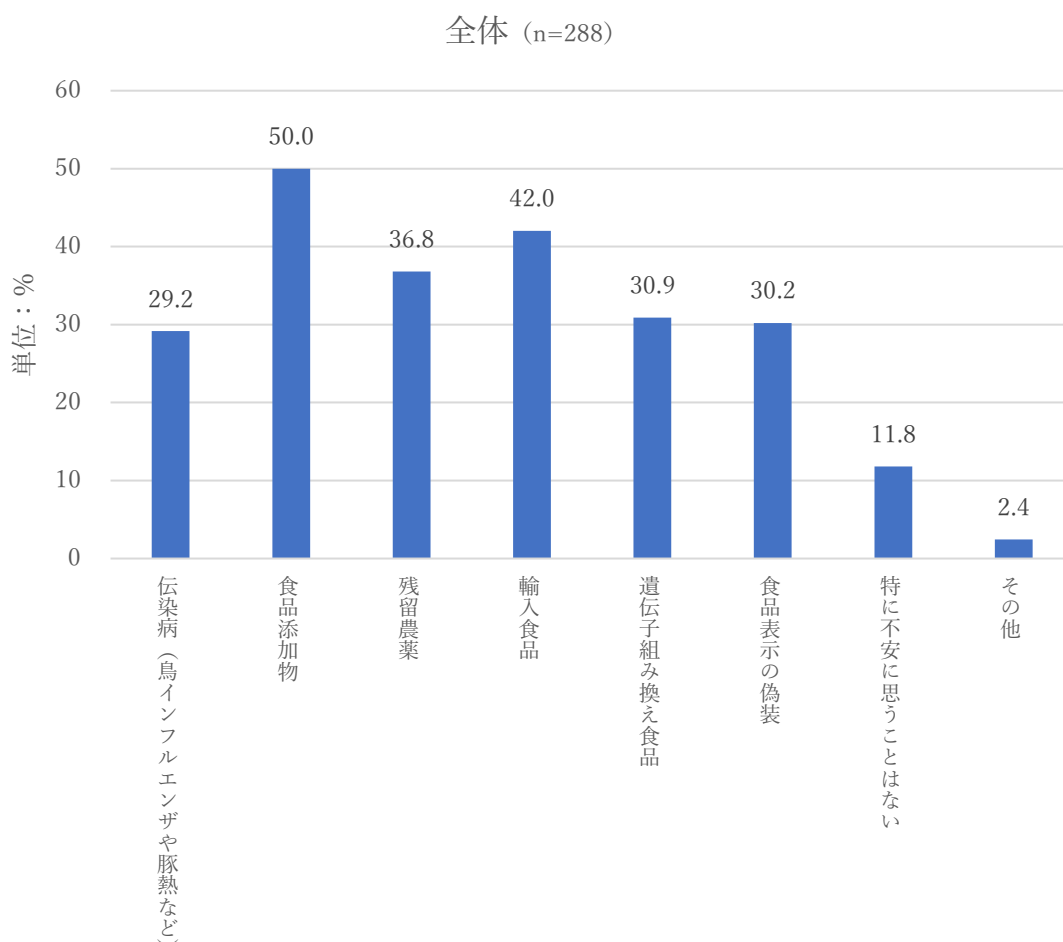
- ④ 会社（事業所）や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日ごろから「もったない」「気を付けよう」と感じることはありますか



- ⑤ 食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしていますか



⑥ 日頃、食の安全に関して不安に思うことは何ですか ※あてはまるもの全て



(その他意見)

- ・食中毒。(20代・男) ・異物混入。(20代・女) ・産地。(30代・男)
- ・不安に思うものは買わないようにしている。(60代・女)
- ・除草剤を使っている人がとても多いので気になる。地下水、作物に影響ないのか。(60代・回答しない)
- ・糖の少ないものに気をつけています。塩分。(70代以上・女)
- ・商売や経済が優先するととても心配。人というものは日常になれていくからだんだんと「仕方ない時代だから」と言い訳をしながら気をつけなくなっていくから。神経質な人もたくさんいてほしい。(70代以上・女)

意見

○農政について

- ・新たに事業をするにも手間と時間と人手がいると思います。大変だと思いますが、これからの大野のために協力もしていきますのでともに頑張りましょう。
- ・大野のものを県外で見かけると誇らしい気持ちになります。広報頑張ってください。

- ・市や県、ひいては国が全国の農家を守るため惜しみない協力をお願いしたい。
- ・宣伝をするといいと思います。
- ・農業後継者が不足していくことに不安がある。組織化した農業推進で、会社のように休日、勤務時間が明確化した会社組織の確立と農地を持っていなくとも就業できる体制が整うことが理想だと考えている。

○農家について

- ・農業をつぐ人がいないのが心配です。
- ・農業を経営する方が黒字になるとよい。
- ・農業をする人が年々少なくなっていること

○農地について

- ・集落の生産組合も後継者不足で行き詰まるのではないかと心配になる。農地を守り、食を守っていく取り組みを、この現状では皆での行動は難しいので、個人個人が小さな取り組みをしていくべきだと思います。情報の発信をよろしくお願いします。
- ・農地など放置されている。(高齢化などにより)土地がある場合、マッチングアプリ形式で土地を貸したい人と借りたい人がうまくマッチングできるようなものがあるといいと思います。
- ・山沿いの(小さい)田が荒れないよう気をつけたい。
- ・まわりを見ていると、田畑を作る人がいないのか荒れているところが多く見られるようになってきたのが、すごく残念でかなしい。大野がこの先心配です。

○農業について

- ・農産物は無農薬で生産して欲しい。
- ・農業は自然相手の仕事で天候に左右されやすいが収穫の楽しみもある。
- ・新しい野菜があればいいと思います。栄養価の高い野菜があればいいと思います。

○食について

- ・大野の食材を使って、お料理しているところをホームページなどで紹介する(郷土料理、伝統料理など)。レシピ紹介でもいいと思う。
- ・大学で県外に出たことで、初めて大野の食べ物はとても美味しいと実感しました。以前の僕と同じように、県外に出ている大野市出身の方々に、地元の食材の誇りを実感してもらえる取り組みなんかは良いのではないかなと感じました。
- ・地元の食のポテンシャルは高いと思います。押し付けではなく、楽しく後世に伝えていけるといいですね。
- ・新しい料理があればいいと思います。リーズナブルな食べ物があればいいと思います。
- ・大野の食を応援してくれる大野人サポーターをたくさん募り、みんなで盛り上げる雰囲気を作っていくと市民の食への関心が高くなると思う。
- ・大野の長い食文化の歴史の中で廃れたものや新しく事業として成り立つもの、今現在ネットの中ではものがあふれています。その中で埋もれた特産品や食文化を発信すること

の難しさはあるように思います。しかしながら、もう目の前に大野を豊にしてくれる人の流れが始まります。地元の食文化による地域起こしは絶好のチャンスです。どうぞ全国の成功例を見習い、多くの若い人を集め頑張ってください。

- ・サロンなどみんなが集まって食べることにする行事をしてみんなで食すことが大切だと思います。
- ・自分が作った作物を食べるのが楽しみです。
- ・大野の食材を利用した料理などを県内外に発信して広めていけたらよいと思います。
- ・自家菜園で野菜を育ててみて、食にするまでには大変な苦労がある。だから作った方のお顔を思い浮かべながら食品をロスにしないようにいただくことが大切だと思います。また、個食、孤食と言われて久しいですが、栄養の偏りやコミュニケーション不足で心身の健康にもつながることなので共食は大切なことだと思います。
- ・食材を無駄なく使うための調理方法や、保存方法、自然の味を生かした料理など、地元の食文化について、学校教育の中で出前授業という形で実践し、子供たちへつないでいけるようなことが可能になるとよいと思います。
- ・年だから、煮物を多く食べます。
- ・食文化については、身近にプランター栽培できる野菜等も多くあるので「家庭で一品作ろう」などの提案をしてみたらどうか。

○イベントについて

- ・そばばかりのお祭りに参加した記憶があります。またできるといいですね。
- ・一生懸命大野の野菜を作ってくださっている人を守るイベント、手伝いイベントの機会を作って欲しい。
- ・大野産の食品を使ったアウトドア料理の講座やイベントを開いてほしい。モンベルとコラボして。
- ・親しみがわき、楽しめるイベントを通して食文化を市内、市外に伝えて行くと良いと思います。
- ・イベントが減って、もっと増やしてほしい。花火、お祭り、学校の運動会、小さな子供が散歩しているにぎやかな町にしてほしい。

○販売について

- ・体が悪いのでどこも出かけないようにしている。買い物には目で見えておいしそうなものを買っている。
- ・大野産の野菜を買える場所を増やして欲しいです。また、買える場所がわからない。
- ・道の駅はすごく良かったです。
- ・地元産の野菜などの価格が産地なのに高すぎる。
- ・むずかしい事は分からないけど、毎日でも買える値段で、大野の美味しい物をたべて暮らしたら良いな？

- ・よく無人販売を利用します。価格が安い、量が多い等の理由です。見栄えの悪いものでも買います。
- ・スーパーや量販店に大野産のコーナーを増やしてもらおう。
- ・スーパーなどに地場の品数が少ないと思います。
- ・七間朝市でも何となくさみしい 人が少ない 知人が出店しているのを見るとうれしい つい買う事がある。

○教育について

- ・小学生の夏休みの朝顔観察がミニトマトや、オクラ、ピーマン作りだったりしたら野菜嫌いが少しは減るかな？と考えたりします。
- ・食材を無駄なく使うための調理方法や、保存方法、自然の味を生かした料理など、地元の食文化について、学校教育の中で出前授業という形で実践し、子供たちへつないでいけるようなことが可能になるとよいなと思います。

○生活について

- ・確実にこれから先、国は貧しくなっていくので自給自足をして自身の生活をしていかないとやっていけなくなると思う。20代30代のうちから田んぼなどをやっていくと後々よいんじゃないのかと思う。食文化以前にそれが心配。
- ・私は県外から大野市に戻り、大野市の大自然で育まれるお米や野菜の魅力に改めて気づきました。現在は家族や道の駅で購入した地元の食材を積極的に利用しています。また、めいりんの料理教室に通い、食を通して地域の方と楽しくコミュニケーションをとっています。
- ・少しばかりの畑で色々野菜を作っていますが、草との戦いで毎日大変です。でも、おかげさまで土いじりして体の方も健康でいられ、とれたものを自分で料理し、余れば近所へ配り喜ばれています。そんな毎日に感謝しています。
- ・今まで仕事ばかりであり農業に関心はなかったけれど、家にいることが増え庭の草取りから少しずつ野菜作りを始めています。隣の人に聞いたり見よう見まねで取り組んでいます。ほとんど無農薬で安心だと思っています。
- ・コロナに世界中が右往左往している昨今、今まで生きてきた私たちに時代幸せ過ぎたのだと思う。生きるということを考えなければいけない時代を与えられたのかもしれない。まず食べること、自分で考え、口にしなければ手に入らなくなるのかも。食べられる工夫が必要になっていくのでは。

○水について

- ・水とすべての人を大切にする環境作りを早く進める。
- ・水がおいしいので料理もおいしい。水の保全が大切と思う。
- ・とにかく上下水道を完全に整えてほしいです。名水といわれることが不思議です。山の水が地下水になっていることは分かりますが、家の前の用水など、生活水が流れ込み、田んぼに揚げているなんて考えられません。魚も九頭竜川のものは汚いと思います。

- ・名水を中心にしての食文化を広めていく。

○その他

- ・傷ついたり形が悪いものなど、市内の料理店などに安く提供しては。コンビニのフードロスも、生活の苦しい世帯に配布するなど地域で何か取り組めないか。
- ・兼業で田んぼの水管理が難しいので水路調整を家から自動で出きるようにしてほしい。
(いっぱいになったら止めるセンサー付きで) 田んぼが小さく、何個もあるため朝、晩何回も水回りしている。近所の人水門を触るとさらに何回も行くことになるため、大変な思いをしている。年をとるにつれ、できなくなる人が増えてくる。苗を育てているが、仕事に行く前に2人でビニールをめくって水やりを1時間以上している。手がなくなればできなくなる。植える長さの苗は単価が高くて買えないので安くするかボランティアがいてほしい。小さい田んぼが何枚かあって生産組合の機械もはいらず、請け負ってくれない。農地開拓で小さい田数枚を1枚の大きな田んぼにしてほしい。学校や施設(老人、保育園)などおおきなところが冷凍や真空パックのもので地域のものを使わないため、大野の生産も落ちてきている(豆腐なども冷凍で地元のものを使っていない) そのため、あとを継ぐ人がおらず、私の好きだったそば、醤油屋がなくなり、豆腐屋も一代で終わる。大変な割に売上が合わないから若い人が継がないのだと思う。いちほまれのようにブランド化して大野のものをなんでもPRして売上が伸びてほしい。大野のさといものころ煮を県外の人に出すといつも好評なので煮たものを真空にしてPRするとよいのではないかと思う。
- ・SNSや動画配信などを活用して、農業の大切さや生産者の思いや食文化を広める為の講座や蕎麦打ちや伝統料理や食材を使った料理調理法を広める、食材は特設ネットショップで買える様にするとか、大野に来て貰える方法を官民一体で考え実行するのはどうでしょうか？
- ・加工場があると便利。
- ・人の「いのち」つまり「人が生きていく」と言う点でとても大切な問題だと思いますので、社会が続く限り考えつづけて人間をより長く健康で生かしてもらえよう関わっていかねばならないと思います。農業や食はほとんどが「恵み」のものであると思いますが、「恵み」人がどのように関わっていくか恵みの人の関係、が未来の社会を良きにも悪きにもつくっていくのではないかと感じています。若い方に日本の農業をふくむ第一次産業に関わっていただきたいなと心から願っています。自然の恵みに本当に感謝せねばと思います。アンケートさせていただきありがとうございました。